社会
V模擬問題集
大問4（歴史）

名前

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

学問の発展・発達はその時代の政治や社会，産業と大きく関連している。たとえば，古代国家においては，中国に積極的に留学生や留学僧が送られ，彼らの学んだ知識が律令(りつりょう)国家の構築に大いに役立てられた。(1) 中世においては，主な学問の担い手は貴族であったが，それ以外にも禅宗(ぜんしゅう)の僧侶が大きな役割を果たしていた。(2) これらの事象は，各時代に記された数々の記録，日記などで確認することができる。

江戸(えど)時代になると，幕府は朱子学(しゅしがく)を官学とし，身分などの秩序を基本とする治世のしくみをつくりあげた。一方，各種の産業が発展し，土台となる農業では農具や耕作法が改善され，これらも学問としてまとめられ，書物なども著された。また，商業の発達による取り引きの増加などの必要性から，和算(わさん)と呼ばれる数学が発展し，関孝和(せきたかかず)などの著名な数学者もあらわれた。(3) そして，武士の子弟は藩校(はんこう)，庶民の子弟は寺子屋(てらこや)で熱心に学問を学んだ。さらに，ヨーロッパの学問を学ぶことも盛んになり，医学や測量術などの実用的なものを中心に学ばれた。(4)

〔問１〕 古代国家においては，中国に積極的に留学生や留学僧が送られ，彼らの学んだ知識が律令(りつりょう)国家の構築に大いに役立てられた。(1) とあるが，次の**ア**～**エ**は，古代における中国と日本との関係について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア 隋(ずい)と対等な立場で国交を結び，隋の進んだ政治制度や仏教などを取り入れるために，聖徳太子(しょうとくたいし)は，小野妹子(おのののいもこ)を遣隋使(けんずいし)として派遣し，多くの留学生や留学僧を同行させた。

イ 遣唐使(けんとうし)に任命された菅原道真(すがわらのみちざね)は，唐(とう)が衰えていることや，唐までの航海が危険なことなどを理由に遣唐使の停止を進言し，これが認められて遣唐使の派遣はとりやめられた。

ウ 中国の高僧の鑑真(がんじん)は，日本に渡ろうとして何度も遭難し，ついには失明してしまったが，ようやく渡航に成功して正式な戒律(かいりつ)を日本に伝え，唐招提寺(とうしょうだいじ)を建てた。

エ 最澄(さいちょう)と空海(くうかい)は，中国で新しい仏教を学び，帰国後，最澄は，天台宗(てんだいしゅう)を開いて比叡山(ひえいざん)に延暦寺(えんりゃくじ)を建て，空海は，真言宗(しんごんしゅう)を開いて高野山(こうやさん)に金剛峯寺(こんごうぶじ)を建てた。

〔問２〕 それ以外にも禅宗(ぜんしゅう)の僧侶が大きな役割を果たしていた。(2) とあるが，禅宗の寺院の様式を武家の住居に取り入れた建築様式を書院造(しょいんづくり)という。室町(むろまち)幕府８代将軍の足利義政(あしかがよしまさ)が，書院造の様式を取り入れて建てた建築物は，次の**ア**～**エ**のうちのどれか。

ア（鹿苑寺(ろくおんじ)金閣(きんかく)）



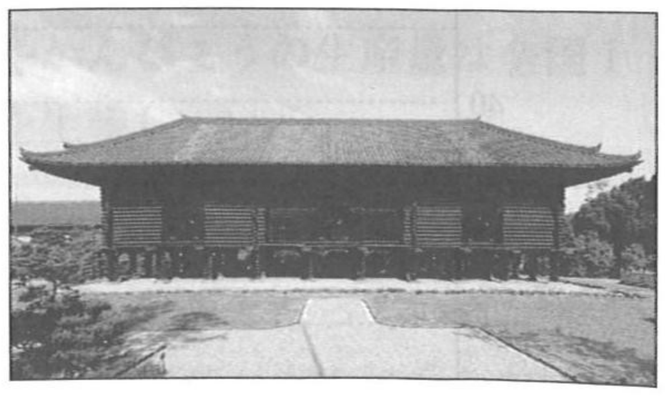
イ（慈照寺(じしょうじ)銀閣(ぎんかく)）



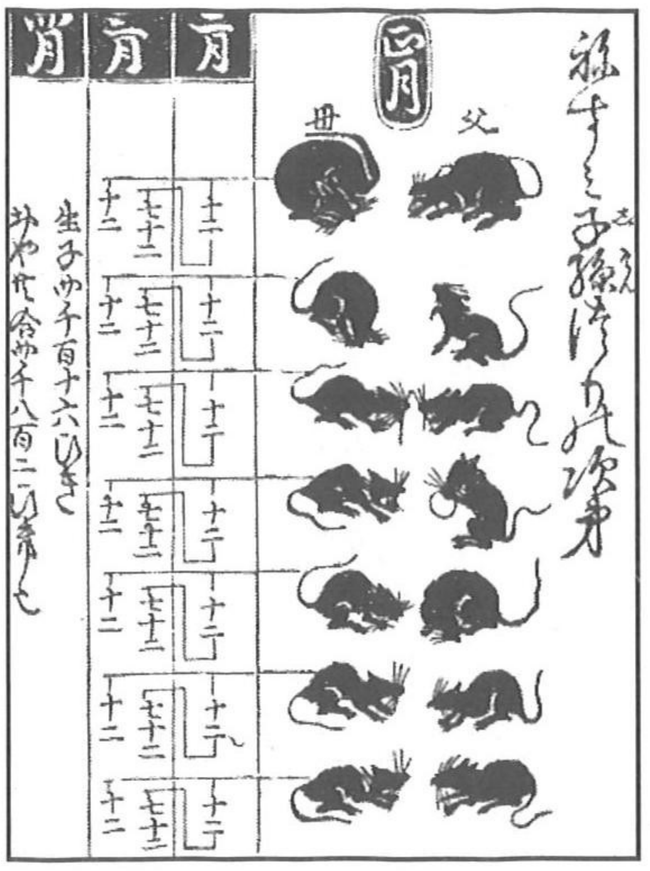
ウ（平等院鳳凰堂(びょうどういんほうおうどう)）



エ（東大寺正倉院(とうだいじしょうそういん)）



〔問３〕 商業の発達による取り引きの増加などの必要性から，和算(3)と呼ばれる数学が発展し，関孝和などの著名な数学者もあらわれた。とあるが，右の資料は，江戸時代前期の和算家の吉田光由が著した『塵劫記』の中にある「ねずみ算」の挿絵である。和算が盛んになった背景にある，江戸時代の商業の発展に関することがらについて述べているのは，次の**ア**～**エ**のうちではどれか。



ア　自由な商業活動を行うことで商業を盛んにしようとして，城下町に楽市・楽座の制度が定められた。また，各地の関所も廃止された。

イ　勘合貿易によって大量にもたらされた宋銭や明銭が取り引きに使用され，同業者ごとに座が組織されて幕府や領主に営業税を納めていた。また，馬借などの運送業者も活躍した。

ウ　都に設けられた東と西の二つの市では，各地から送られてきた産物が売買された。また，中国にならって，和同開珎などの貨幣も発行された。

エ　大阪に蔵屋敷が置かれ，全国から年貢米が集められて，出入りの商人によって取り引きされた。全国から物資が集まる大阪は，「天下の台所」と呼ばれた。

〔問４〕 ヨーロッパの学問を学ぶことも盛んになり，医学や測量術などの実用的なものを中心に学ばれた(4)。とあるが，Ⅰの文章は，ヨーロッパの学問が盛んになるきっかけとなった出来事について述べたものである。Ⅱの略年表は，室町時代から江戸時代の主な出来事をまとめたものである。Ⅰの文章の出来事が起こった時期に当てはまるのは，Ⅱの略年表中の**ア**～**エ**のうちのどれか。

Ⅰ

幕府の財政難が続く中，御三家の一つの紀伊徳川家から将軍となった徳川吉宗が，武士に質素・倹約をすすめ，公事方御定書という裁判の基準になる法律を定めるなどの享保の改革を行った。この改革の中で，吉宗は，キリスト教に関係しない漢訳された洋書の輸入を認めたことから，ヨーロッパの学問を学ぶことが盛んになった。

Ⅱ

西暦	室町時代から江戸時代の主な出来事	
1467	●応仁の乱が起こる。	ア
1485	●山城国一揆が起こる。	ア
1600	●関ヶ原の戦いが起こる。	イ
1615	●大阪夏の陣が起こり，豊臣氏が滅亡する。	イ
1669	●アイヌのシャクシャインが蜂起する。	ウ
1685	●生類憐みの令が出される。	ウ
1782	●天明のききんが起こる。	エ
1783	●浅間山が噴火する。	エ
1867	●徳川慶喜が大政奉還を行い江戸幕府が滅びる。	

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

８世紀初め，武蔵国秩父郡(現在の埼玉県秩父市)で銅鉱が発見され，都に献上されたことから，国産の貨幣である「和同開珎」がつくられた。(1)８世紀中ごろにつくられた東大寺の大仏には，熟銅(精錬した銅)がおよそ500トンも使われたという。その後も，日本各地で銅をはじめとする様々な鉱山が発見されて，盛んに採掘されるようになった。(2)室町時代から江戸時代にかけて，日本では特に銅と銀の産出量が豊富で，その多くは海外に輸出された。全国を支配した江戸幕府は，各地の鉱山を直轄地とし，その採掘権を独占した。明治政府も鉱山の開発を積極的に行い，明治中期以降，開発された鉱山は次々と民間企業に払い下げられた。(3)これらの企業は鉱山経営を軸に様々な事業を展開し，日本経済を牽引する財閥へと成長していった。財閥は，後に政党政治家と結びつき，政党に政治資金を提供するなどしたが，これに対する批判が強まっていき，(4)政党や財閥を倒して強力な軍事政権をつくり，国家を改造しようという動きが活発になった。

〔問１〕(1)８世紀中ごろにつくられた東大寺の大仏には，熟銅(精錬した銅)がおよそ500トンも使われたという。とあるが，東大寺の大仏がつくられたのと同時期に行われたことがらについて述べているのは，次の**ア**～**エ**のうちではどれか。

ア 人口の増加などにより口分田が不足してきたため，人々に開墾をすすめようとして，開墾した土地の永久の私有を認める墾田永年私財法が出された。

イ 家柄に関係なく能力のある人物を役人に取り立てようとして冠位十二階の制度が定められ，役人に政治の心得を示すために十七条の憲法が定められた。

ウ 貴族や僧の勢力争いが激しくなったことなどから律令政治が乱れてきたため，新しい都で政治を立て直そうとして，平安京という新しい都がつくられた。

エ 蘇我氏を倒して天皇中心の新しい政治を行う改革がすすめられ，全国の土地と人々とを，公地・公民として国家が直接支配する方針などが示された。

〔問２〕(2)室町時代から江戸時代にかけて，日本では特に銅と銀の産出量が豊富で，その多くは海外に輸出された。とあるが，次の**ア**～**エ**は，室町時代から江戸時代にかけての，日本と海外との貿易の様子について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア 長崎の出島を唯一の窓口としてオランダとの貿易が行われた。日本からは金，銀，銅や俵物と呼ばれた海産物などが輸出され，生糸や絹織物，砂糖などが輸入された。

イ 倭寇と呼ばれる海賊ではないことを証明するために，勘合と呼ばれる合い札を使った貿易が行われた。日本から銅，硫黄，刀剣などが輸出され，銅銭，生糸，絹織物などが輸入された。

ウ 横浜などの５港を開いて貿易が行われ，日本からは主に生糸が輸出され，毛織物や綿織物が輸入された。日本と外国との金銀の交換比率の違いから日本の金貨が大量に海外に流出した。

エ 南蛮人と呼ばれるスペイン人やポルトガル人が平戸や長崎などに来航し，盛んに貿易が行われた。日本からは大量の銀が輸出され，鉄砲や火薬，ガラス製品などが輸入された。

〔問３〕(3)これらの企業は鉱山経営を軸に様々な事業を展開し，日本経済を牽引する財閥へと成長していった。とあるが，次のア～エは，明治時代から昭和時代にかけての，日本の産業の様子について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア　戦争が長期化したことから，国内の産業は軍需物資の生産が最優先となった。このため，日常生活に必要な物資が不足し，米や砂糖，衣料などは配給制や切符制となった。また，中学生も勤労動員の対象となり，軍需工場などで働かされた。

イ　戦争で得た賠償金をもとに八幡製鉄所が建設されて，日本の重工業発展の土台が築かれた。軽工業では，綿糸の生産量が増大し，輸出量が輸入量を上回るようになった。一方で，工場で働く労働者の大半は女性で，賃金は低く，長時間労働を強いられていた。

ウ　日本は，戦争によって物資が不足した国々に軍需物資などを大量に輸出したことなどから，空前の好景気を迎え，工業生産額が農業生産額を上回り，成金と呼ばれる経営者が続出した。一方で，ストライキなどの労働争議もしきりに起こり，労働運動が活発化した。

エ　産業の近代化を目指す殖産興業政策がすすめられ，富岡製糸場などの官営模範工場が各地につくられた。これらは，外国の技術を取り入れ，外国人技師を工場の指導者として招いて工業生産をすすめた。また，博覧会を開催して，産業技術の普及に努めた。

〔問４〕(4)政党や財閥を倒して強力な軍事政権をつくり，国家を改造しようという動きが活発になった。とあるが，次のⅠの文章は，これに関する出来事について述べたものである。Ⅱの略年表は，明治時代から昭和時代にかけての日本の外交に関する出来事をまとめたものである。Ⅰの文章で述べている出来事が起こった時期に当てはまるのは，Ⅱの略年表中の**ア**～**エ**のうちのどれか。

Ⅰ

ニューヨークの株式市場で株価が大暴落したことをきっかけにアメリカが不景気となり，この不景気が世界中に広がって，多くの国が不景気となる世界恐慌が起こった。日本でも深刻な不景気が発生したが，有効な対策をとらない政党やそれに協力した財閥への不信感が高まった。そして，海軍の青年将校らが首相官邸を襲って犬養毅首相を暗殺する事件や，陸軍の青年将校らが大臣を殺傷し，東京の中心部を一時占拠する事件などが起こった。

Ⅱ

西暦	日本の外交に関する出来事	
1894	●日清戦争が始まる。	
1902	●イギリスと同盟を結ぶ。	ア
1904	●日露戦争が始まる。	
1910	●韓国を併合する。	
1911	●関税自主権の回復に成功する。	
1914	●第一次世界大戦に参戦する。	
1915	●中国に二十一か条の要求を出す。	イ
1919	●ベルサイユ条約が結ばれる。	
1921	●ワシントン会議が開かれる(～22)。	
1931	●満州事変が起こる。	ウ
1937	●日中戦争が始まる。	
1940	●日独伊三国同盟を結ぶ。	エ
1941	●太平洋戦争が始まる。	
1945	●太平洋戦争が終わる。	

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

歴史学は，過去の様々な記録をひもときながら過去の出来事を研究する学問である。そのためには，歴史書をはじめとして，記録，日記，手紙など文書として残されたものは，基本的な史料として貴重である。また，建築物，仏像などの美術品も貴重な史料である。特に，古い時代に描かれた絵画からは，その時代の服装，調度品などの生活様式をうかがい知ることができる。(1) さらに，戦乱などの歴史的な事件を扱った絵画からは，文字の史料だけでは得られない，いきいきとした活動の様子を受け取ることができる。(2)

一方で，戦乱などによって失われた史料も数多くある。特に，意識的に日本の美術品の価値を低く見て，どんどん廃棄していた時代に，多くの貴重な美術品が失われてしまった。(3) 様々な試練をくぐり抜け，幸運にも現代に残された絵画，建築，彫刻などの美術品を改めて見直していくべきであろう。手塚治虫（てづかおさむ）の漫画やアニメなどの作品も，将来，歴史の生き証人としての存在価値を持つ可能性が十分にあるといえる。(4)

〔問１〕 特に，古い時代に描かれた絵画からは，その時代の服装，調度品などの生活様式をうかがい知ることができる。(1) とあるが，右の資料は，「源氏物語絵巻（げんじものがたりえまき）」の一部分である。この絵画の題材となっている「源氏物語」が著されたのと同じ時代の文学について述べているのは，次のア～エのうちではどれか。



ア　経済や文化の中心であった上方（かみがた）で活躍する町人の，金銭に対する欲望などを題材にして，井原西鶴（いはらさいかく）が「日本永代蔵（にっぽんえいたいぐら）」などの浮世草子（うきよぞうし）と呼ばれる小説を著し，町人の人気を得た。

イ　戦いでの武士の活躍の様子をいきいきと描いた軍記物（ぐんきもの）と呼ばれる作品が生まれ，なかでも琵琶法師（びわほうし）によって語り伝えられた「平家物語（へいけものがたり）」は，文字を読めない人々にも親しまれた。

ウ　日本の国のおこりや天皇家の由来などを説明するために，神話や伝承などをもとに「古事記（こじき）」と「日本書紀（にほんしょき）」がつくられ，また，地方の国ごとに自然や産物などを記した「風土記（ふどき）」がつくられた。

エ　漢字を書きくずして，より日本語の発音を表現しやすくした仮名（かな）文字が生まれ，随筆の「枕草子（まくらのそうし）」を著した清少納言（せいしょうなごん）などの女性による仮名文字を使った文学が盛んになった。

〔問２〕 戦乱などの歴史的な事件を扱った絵画からは，文字の史料だけでは得られない，いきいきとした活動の様子を受け取ることができる。(2) とあるが，次のページのア～エは，日本国内で起こった戦乱を描いた絵画である。戦乱が起こった時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア（応仁の乱）



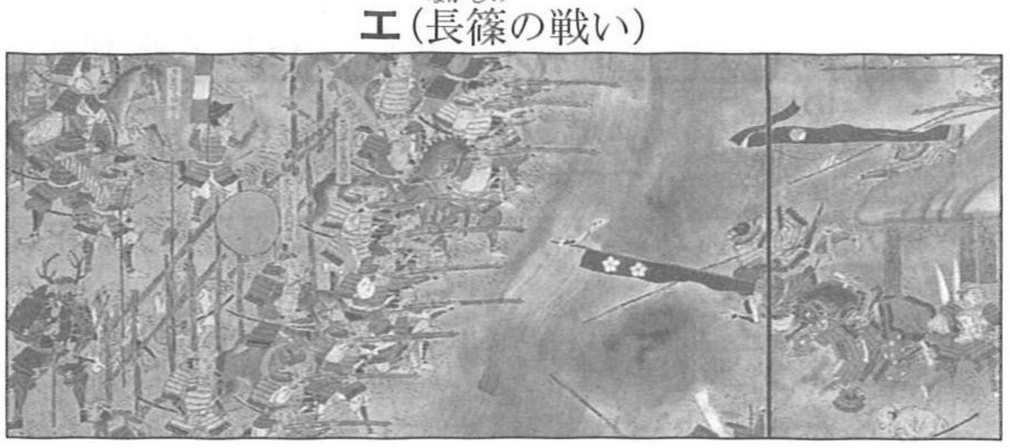
イ（平治の乱）



ウ（文永の役）



エ（長篠の戦い）



〔問３〕 特に，意識的に日本の美術品の価値を低く見て，どんどん廃棄していた時代に，多くの貴重な美術品が失われてしまった。(3) とあるが，次の文章は，この状況に危機感を持ち，積極的に日本の古い美術品の研究や保存に努めたアメリカ人のフェノロサの言葉である。フェノロサが日本で活躍したころの出来事について述べているのは，下の**ア**～**エ**のうちではどれか。

> 奈良は，日本のローマであり，アジアの仏教美術は，奈良において完全なものに仕上がった。……ローマがヨーロッパの模範となりましたように，奈良もきっとアジアの模範となりましょう。ただし，それは，皆様が努めるかどうかにかかっているのであります。

ア　護憲運動の結果成立した加藤高明内閣が，普通選挙法と治安維持法を制定した。

イ　全国の自由民権運動の代表者が大阪に集まり，国会期成同盟が結成された。

ウ　近衛文麿内閣が，「挙国一致」の体制をつくる運動をはじめ，大政翼賛会がつくられた。

エ　尊王攘夷運動を進める長州藩が，関門海峡を通る外国船を砲撃して海峡を封鎖した。

〔問４〕 手塚治虫の漫画やアニメなどの作品も，将来，歴史の生き証人としての存在価値を持つ可能性が十分にあるといえる。(4) とあるが，手塚治虫が活躍したころの日本の経済や社会の様子について述べているのは，次の**ア**～**エ**のうちではどれか。

ア　生活必需品が配給制や切符制となるなど，経済面での国家による統制が進んだ。大学生は学徒動員として戦場に送られ，中学生は勤労動員として軍需工場などで働かされた。

イ　電気・ガス・水道が各家庭に普及しはじめ，食生活では洋食など生活の洋風化が広がった。東京では地下鉄が開業し，洋服を着こなしたモガ・モボと呼ばれる若者が町を闊歩した。

ウ　日本経済は好景気が続き，東京オリンピックの開催などもあって，設備投資が進んだ。「三種の神器」と呼ばれた家庭電化製品が各家庭に急速に普及し，人々の生活が向上した。

エ　バブル経済の崩壊後，長い景気低迷期に入り，リーマンショックや東日本大震災など厳しい事態も発生して，その対応に追われた。AIなどの技術革新や新技術の開発も進んだ。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

近年，「キャッシュレス」という言葉をよく耳にするが，これは，貨幣(現金)を使わずに取り引きなどを行うことをいう。貨幣の歴史は古く，紀元前の中国では宝貝(子安貝)などが貨幣として使われており，秦の始皇帝がつくった，円形で中央に穴の開いた貨幣の形が銅銭の原型になったといわれている。日本では，７世紀ごろに最初の銅銭がつくられたが，あまり流通しなかったため，(1)８世紀には，一定量の銭を蓄えた者に位を与えるという法令が出された。

(2)貨幣が世の中に流通するようになったのは，商業が発展した鎌倉時代や室町時代になってからで，そのころは，中国から輸入された宋銭や明銭が主に使われていた。その後，(3)江戸幕府が全国を治める仕組みをつくりあげると，貨幣についても，統一したものを鋳造する仕組みが整えられた。

明治維新後，近代国家が誕生すると，貨幣制度も近代的なものに変貌し，(4)1871 年に新貨条例が制定されて日本の貨幣単位として「円」が正式に採用され，1882 年に紙幣を発行できる唯一の中央銀行として日本銀行が設立された。

〔問１〕(1)８世紀には，一定量の銭を蓄えた者に位を与えるという法令が出された。とあるが，この法令が出されたころの様子について述べているのは，次の**ア**～**エ**のうちではどれか。

ア 奈良盆地を中心とする地域に生まれた大和政権(ヤマト王権)が，東北地方南部から九州地方に至る各地の豪族を従え，王や豪族の墓として前方後円墳などの古墳が盛んにつくられた。

イ 中臣鎌足の子孫である藤原氏が，娘を天皇の后にしてその子を次の天皇に立てることで勢力を伸ばし，天皇が幼いときには摂政，成人した後は関白の位について政治の実権を握った。

ウ 推古天皇の摂政となった聖徳太子が，蘇我氏と協力しながら，天皇を中心とする政治制度を整えようとして，冠位十二階の制度を定めたり，十七条の憲法を定めるなどした。

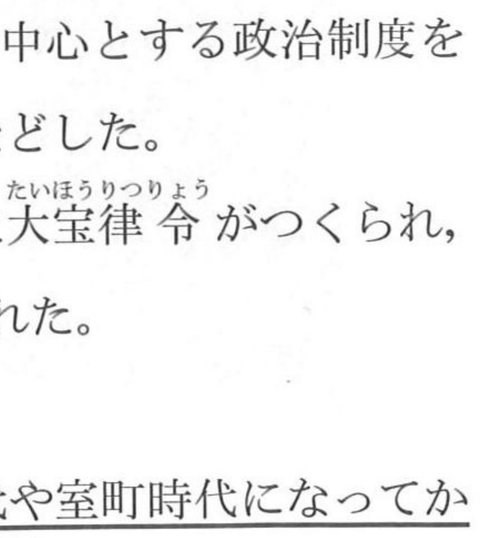
エ 唐の法律にならって，刑罰の決まりや政治を行う上での決まりを定めた大宝律令がつくられ，また，唐の都の長安にならって，律令国家の都として平城京がつくられた。

〔問２〕(2)貨幣が世の中に流通するようになったのは，商業が発展した鎌倉時代や室町時代になってからで，そのころは，中国から輸入された宋銭や明銭が主に使われていた。とあるが，次のⅠの文章は，中国との貿易に関して，日本のある人物が中国の皇帝に宛てて出した国書の一部を示したものである。Ⅱの資料は，この貿易で使われた割符を示したものである。Ⅰの文章とⅡの資料に最も関係の深い人物について述べているのは，次のページの**ア**～**エ**のうちではどれか。

Ⅰ

日本の准三后の私が，国書を大明皇帝陛下に差し上げます。日本国が始まって以来，中国に対してあいさつの使いを送らなかったことはありません。……ここに，特に昔からの方式に従って，商人肥富を僧祖阿に同行させて，親交を結ぶためにお土産として，金千両，馬十匹，扇百本……などを献上します。

Ⅱ



ア　鉄砲を効果的に活用した戦法を用いて長篠の戦いで甲斐の武田氏を破るなどして，中部地方から近畿地方までをほぼ統一したが，家臣の明智光秀に背かれて，京都の本能寺で自害した。

イ　天皇と上皇の間で政治の実権をめぐる対立から起こった保元の乱と，そのすぐ後に起こった平治の乱の二つの戦乱に勝利し，武士として初めて太政大臣に任じられて政治を行った。

ウ　南北朝を統一して60年ほど続いていた争いを終わらせ，朝廷の持っていた権限を幕府に吸収して全国を支配し，京都の室町に豪華な「花の御所」を建てて，そこで政治を行った。

エ　幕府を倒そうとして兵を挙げ，一度は失敗したものの有力な御家人や新興の武士を味方につけてついに幕府を倒し，年号を建武と改めて自ら政治を行ったが，２年余りで失敗に終わった。

〔問３〕(3) 江戸幕府が全国を治める仕組みをつくりあげると，貨幣についても，統一したものを鋳造する仕組みが整えられた。とあるが，次のⅠの略年表は，江戸時代の主な出来事についてまとめたものである。Ⅱの文章で述べている出来事が起こった時期に当てはまるのは，Ⅰの略年表中の**ア**～**エ**の時期のうちではどれか。

Ⅰ

西暦	江戸時代の主な出来事	
1603	● 徳川家康が征夷大将軍となる。	**ア**
1680	● 徳川綱吉が５代将軍となる。	**イ**
1787	● 松平定信が老中となる。	**ウ**
1825	● 異国船打払令が出される。	**エ**
1867	● 徳川慶喜が大政奉還を行う。	

Ⅱ

イギリスはインドに綿織物を輸出し，インド産のアヘンを清に密輸して利益を得る三角貿易を行っていた。このアヘンの被害に苦しんだ清がアヘンを取り締まると，イギリスは艦隊を派遣して清を攻撃し，南京条約を結んで香港を手に入れたほか，上海などの５港で自由貿易を認めさせ，莫大な賠償金を手に入れた。

〔問４〕(4) 1871年に新貨条例が制定されて日本の貨幣単位として「円」が正式に採用され，1882年に紙幣を発行できる唯一の中央銀行として日本銀行が設立された。とあるが，次の**ア**～**エ**は，その後の貨幣に関することがらや社会，経済の様子について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア　戦争の長期化に対して国家総動員法が出され，国の経済が戦争中心に動かされるようになり，物資の不足から臨時通貨法が公布されて，アルミニウムを使った十銭貨などがつくられた。

イ　日清戦争の講和条約の下関条約で得た多額の賠償金を基金として，貨幣法が施行されて金本位制が本格的に採用され，金と交換できる兌換紙幣が発行されるようになった。

ウ　関東大震災の処理のための震災手形が不良債権となっていたが，大蔵大臣の失言から人々が銀行に押しかける騒ぎが起こり，いくつかの銀行が倒産するなどの金融恐慌が起こった。

エ　ブレトンウッズ体制の下，日本の円とアメリカのドルの為替相場は１ドル＝360円で固定され，この円安の影響を受けて輸出が急増し，日本の高度経済成長が進展する一因となった。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

我が国と大陸との間には日本海などの海があり，この海を往来して様々な出来事が繰り広げられてきた。古墳時代には，一族で移り住んできた渡来人と呼ばれる人々が，仏教や儒教，漢字などの文化を日本にもたらした。(1)飛鳥時代には，我が国が大陸に大軍を送り，朝鮮半島で戦ったこともあった。その後，奈良時代から平安時代にかけて我が国から大陸へ何度も使者が送られていたが，平安時代中ごろに公の交流はいったん途絶え，(2)鎌倉時代には，モンゴル帝国の軍隊が我が国に攻め寄せてくるなど，両者の関係が冷え込んだ時期もあった。しかし，この時期にも民間の交流は続けられ，室町時代には，正式な交易が行われるようになった。江戸時代においても，中国との交易は続けられ，朝鮮からは，将軍の代がわりごとに我が国に使者が送られてきていた。

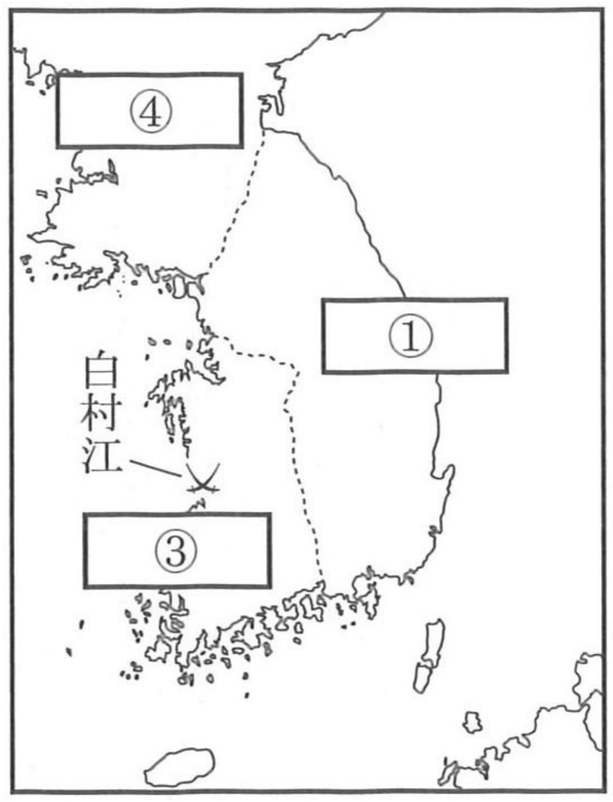
明治維新後，我が国の国力が高まると大陸進出を目指すようになり，(3)明治後期には，日清戦争と日露戦争が起こった。この結果，我が国は朝鮮半島を植民地としたが，(4)大正から昭和初期にかけても，我が国の大陸進出はとどまるところを知らず，ついに，長期にわたる戦争へと発展し，我が国から大勢の軍隊が海を渡って大陸に送り込まれ，激しい戦いが行われた。

〔問１〕(1)飛鳥時代には，我が国が大陸に大軍を送り，朝鮮半島で戦ったこともあった。とあるが，次のⅠの文章は，このときの戦いについて述べたものである。Ⅱの略地図は，この戦いの前の朝鮮半島の様子を示したものである。Ⅰの文章中とⅡの略地図中の［ ① ］～［ ④ ］のそれぞれに当てはまるのは，下の**ア**と**イ**のうちのどれか。

Ⅰ

7世紀後半，朝鮮半島では，東部にあった［ ① ］が，中国の［ ② ］と結んで勢力を拡大し，西部にあった［ ③ ］を滅ぼした。日本は，［ ③ ］の復興を助けるために朝鮮半島に大軍を送ったが，663年の白村江の戦いで，［ ① ］と［ ② ］の連合軍に敗れ，朝鮮半島から手を引いた。その後，［ ① ］と［ ② ］は，北部の［ ④ ］も滅ぼし，やがて［ ① ］は［ ② ］の勢力を追い出して，朝鮮半島を統一した。

Ⅱ



［ ① ］　**ア**　百済　　**イ**　新羅

［ ② ］　**ア**　隋　　**イ**　唐

［ ③ ］　**ア**　百済　　**イ**　新羅

［ ④ ］　**ア**　高句麗　　**イ**　高麗

〔問２〕(2)鎌倉時代には，モンゴル帝国の軍隊が我が国に攻め寄せてくるなど，両者の関係が冷え込んだ時期もあった。とあるが，モンゴル帝国の軍隊が我が国に攻め寄せてきたころの仏教の様子について述べているのは，次のページの**ア**～**エ**のうちではどれか。

ア　中国に渡った最澄と空海は，山奥での修行などを重視する新しい仏教を日本に伝え，最澄は天台宗を伝えて比叡山に延暦寺を建て，空海は真言宗を伝えて高野山に金剛峯寺を建てた。

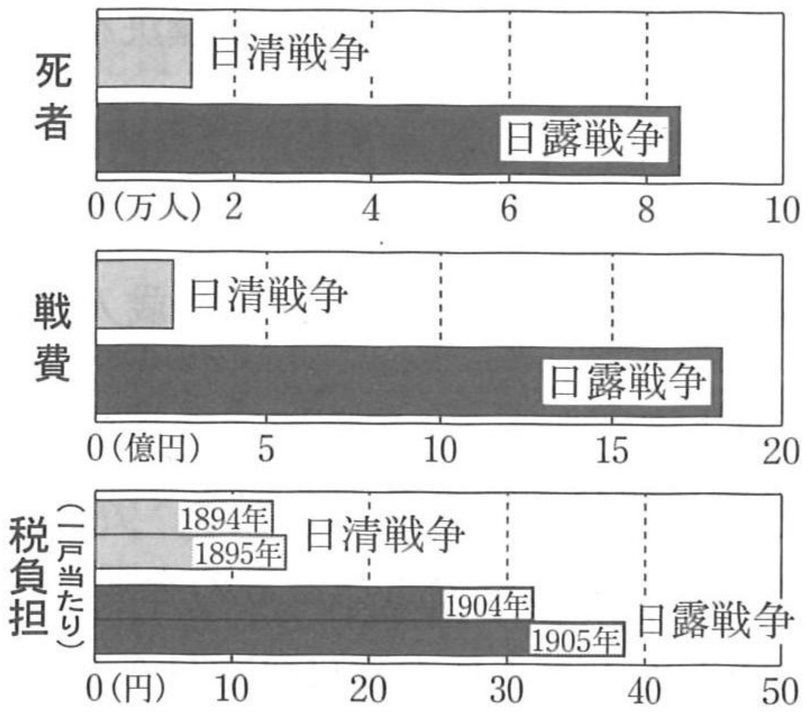
イ　念仏を唱えて阿弥陀如来にすがり，死後に極楽浄土に生まれかわることを願う浄土信仰が広まり，宇治の平等院鳳凰堂や平泉の中尊寺金色堂などの阿弥陀堂が各地につくられた。

ウ　中国の高僧の鑑真は，日本に戒律を伝えるために何度も失敗しながらも来日を果たして唐招提寺を建て，行基は，一般の人々の間で布教し，人々を助けるために橋や用水路をつくった。

エ　日蓮は，法華経の南無妙法蓮華経という題目を唱えれば，人も国も救われると説いて日蓮宗（法華宗）を開き，道元は，座禅により自分の力で悟りを開こうとする曹洞宗を中国から伝えた。

〔問３〕 (3)明治後期には，日清戦争と日露戦争が起こった。とあるが，次のⅠのグラフは，日清戦争と日露戦争を比較したものである。Ⅱの資料は，日露戦争の講和条約であるポーツマス条約の一部を示したものである。ポーツマス条約が結ばれると，国民はこの条約に不満を持ち，日比谷焼き打ち事件などの暴動事件が起こった。ⅠとⅡの資料を活用して，国民がポーツマス条約に不満を持った理由について，「**賠償金**」の語を用いて，簡単に述べよ。

Ⅰ



Ⅱ

○ロシアは，韓国における日本の優越権を認める。
○ロシアは，旅順，大連の租借権を日本に譲る。
○ロシアは，長春以南の鉄道利権と鉱山の採掘権を日本に譲る。
○ロシアは，北緯50度以南の樺太を日本に譲る。
○ロシアは，沿海州，カムチャツカ半島周辺での日本の漁業権を認める。

〔問４〕 (4)大正から昭和初期にかけても，我が国の大陸進出はとどまるところを知らず，ついに，長期にわたる戦争へと発展し，我が国から大勢の軍隊が海を渡って大陸に送り込まれ，激しい戦いが行われた。とあるが，次の**ア**～**エ**は，大正から昭和初期にかけての我が国の大陸進出について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア　ロシアで革命が起こって社会主義を唱える政府が成立すると，日本は，アメリカなどの国ともにロシア革命への干渉戦争を起こし，領土の獲得も目指してシベリアに出兵した。

イ　日英同盟を理由に第一次世界大戦に参戦した日本は，中国に対して，戦争中に占領した山東省の権益をドイツから受け継ぐことなどの二十一か条の要求をつきつけ，強引に認めさせた。

ウ　北京郊外の盧溝橋付近で起こった日中両国軍の武力衝突をきっかけに，日本と中国との間で戦争が始まり，戦火は中国中部の上海などにも拡大して，全面戦争に発展した。

エ　奉天郊外の柳条湖で南満州鉄道の線路が爆破される事件が起こると，日本軍は，これを中国の仕業として軍事行動を起こして満州の主要地域を占領し，翌年には満州国を建国した。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

「五・七・五・七・七」の 31 文字で表現される和歌は，我が国で独自に発展した，我が国の美しい風物や季節感が繊細な言葉で表された文学である。現在でも作品を好んで鑑賞したり，実際に詠んで楽しんでいる人も多い。(1)我が国で最初に成立した和歌集としては，奈良時代の『万葉集』が有名である。この『万葉集』には，天皇や貴族だけでなく，農民や，(2)主に東国の農民から選ばれて九州の防備に当たった兵士である防人の歌も収められている。その後，和歌は貴族を中心に盛んに詠まれるようになり，(3)後鳥羽上皇が藤原定家らに編集させた『新古今和歌集』には，貴族だけでなく武士出身の歌人の歌も収められている。

また，現在，和歌と同じように人々に愛好されているものに，「五・七・五」の 17 文字で表現される俳句がある。季語を折り込み，季節感のある俳句は，四季の明瞭な日本の風土によく合っており，(4)江戸時代に，松尾芭蕉や小林一茶，与謝蕪村などの著名な俳人が現れて，人気を集めるようになった。

〔問１〕 我が国で最初に成立した和歌集としては，奈良時代の『万葉集』が有名である。(1) とあるが，奈良時代に起こった出来事について述べているのは，次の**ア**～**エ**のうちではどれか。

ア 聖武天皇は，仏教の力によって世の中の混乱をおさめようと考え，国ごとに国分寺と国分尼寺を建てることを命じ，その中心として都に建てた東大寺には金銅の大仏をつくらせた。

イ 日本最初の女性の天皇である推古天皇の摂政となった聖徳太子は，家柄に関係なく能力で役人を取り立てようとして，冠の色で位を示す冠位十二階の制度を定めた。

ウ 中大兄皇子と中臣鎌足らが，権勢を誇っていた蘇我氏を倒して，全国の土地と人民を国家が直接支配する方針を示すなどの大化の改新と呼ばれる政治改革を行った。

エ 藤原道長は，他の貴族を排斥し，娘を天皇の后として，その子を次の天皇にするなどして天皇の外祖父という立場となり，一族で朝廷の高い位を独占して栄華を極めた。

〔問２〕 主に東国の農民から選ばれて九州の防備に当たった兵士である防人の歌も収められている。(2) とあるが，次の**ア**～**エ**は，その後の我が国の防備に関する出来事について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア ロシアの使節のラクスマンが通商を求めてくるなど，外国船がひんぱんに日本近海に現れるようになったため，幕府は，異国船打払令を出して接近する外国船を追い払うように命じた。

イ 元が日本も従えようと２度にわたって大軍で攻め寄せてきたのに対し，御家人の抵抗や暴風雨もあり何とか撃退したが，３度目の襲来に備えて，その後も防塁を築くなど警戒を続けた。

ウ 全国統一を成しとげた豊臣秀吉は，さらに明の征服をめざして，諸大名に命じ，約 15 万人の大軍を朝鮮に送り込み，その拠点として，肥前(佐賀県)の名護屋に巨大な城をつくった。

エ 尊王攘夷運動が高まる中，生麦事件の報復として起こった薩英戦争で，イギリス艦隊に鹿児島を攻撃された薩摩藩は，攘夷の難しさを悟り，イギリスに接近して軍備の強化を図った。

〔問３〕 後鳥羽上皇が藤原定家らに編集させた『新古今和歌集』には，貴族だけでなく武士出身の歌人の歌も収められている。(3) とあるが，この『新古今和歌集』が編集されたのと同じ時代に生まれた文学作品について述べているのは，次の**ア**～**エ**のうちではどれか。

ア　日本の国のおこりや天皇が国を治める正当性などを明らかにするために，神話や伝承，記録をもとにして，『古事記』と『日本書紀』という歴史書がつくられた。

イ　印刷や出版の技術が進み，貸本屋が広まって人々が手軽に本を読めるようになり，十返舎一九の『東海道中膝栗毛』や，滝沢馬琴の『南総里見八犬伝』などが人気を集めた。

ウ　田楽や猿楽をもとに能を大成した世阿弥が，『風姿花伝』にその理論をまとめ，また，『一寸法師』，『浦島太郎』などの御伽草子と呼ばれる絵本が人々に楽しまれた。

エ　武士の合戦などでの活躍をいきいきと描いた軍記物がつくられ，琵琶法師によって語り広められた『平家物語』は，文字を読めない人々にも親しまれた。

〔問４〕 江戸時代に，松尾芭蕉や小林一茶，与謝蕪村などの著名な俳人が現れて，人気を集めるようになった。(4) とあるが，江戸時代には，幕府の政治や庶民の生活を風刺する，和歌の形式を借りた狂歌や俳句の形式を借りた川柳が町人の間で流行した。右の作品は，ある政治を風刺した狂歌を示したものである。この狂歌で風刺された政治について述べているのは，次の**ア**～**エ**のうちではどれか。

●白河の清きに魚の住みかねて
　もとの濁りの田沼恋しき
●世の中に蚊ほどうるさきものはなし
　文武文武で夜も寝られず

ア　老中水野忠邦は，きびしい倹約令を出して人々のぜいたくを禁止し，物価を引き下げるために，株仲間の解散を命じた。また，江戸に流入してきた農民を農村に帰らせ，江戸と大阪の周辺の土地を幕府の直轄地にしようとしたが，大名や旗本の強い反発を受けて失敗に終わった。

イ　老中松平定信は，ききんに備えて農村に倉を設けて米をたくわえさせる囲米の制を定めたり，農民が都市へ出かせぎに行くのを制限したりして，農村の復興を図った。また，旗本や御家人の生活難を救うため，棄捐令を定めて旗本や御家人の借金を帳消しにした。

ウ　８代将軍徳川吉宗は，幕府の財政を立て直すため，上げ米の制を定めて大名に対し幕府に米を差し出させ，新田の開発を奨励して豊作や不作に関わらず一定の年貢を取り立てるようにした。また，公事方御定書という裁判の基準を定めたり，目安箱を設置して庶民の意見を政治に取り入れたりした。

エ　老中田沼意次は，商人の力を利用した積極的な産業政策をおし進め，蝦夷地の開発などを計画したり，印旛沼や手賀沼の干拓を行ったりした。また，株仲間の結成を奨励するかわりに営業税を徴収するようにし，長崎貿易において俵物と呼ばれる海産物の輸出を拡大して利益を上げようとした。

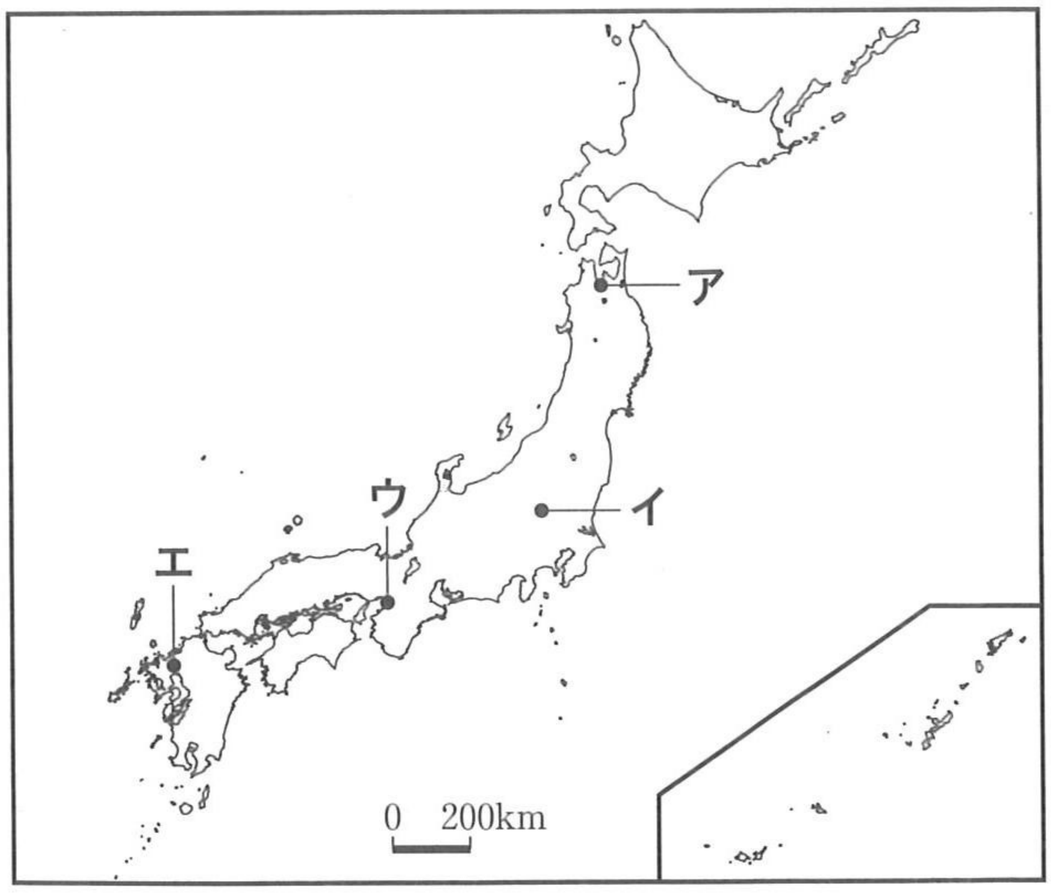
4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

住居は，人々が生活していく上で重要なもので，気候などの自然環境や社会的な条件にあわせて様々な形の住居がつくられてきた。(1)日本では，まだ農耕が行われる以前の縄文時代の遺跡から竪穴(たてあな)住居の跡が発見されており，この竪穴住居は平安時代ごろまで使われていたようである。その後，平安時代の都の貴族は寝殿造(しんでんづくり)の住居に，鎌倉時代の武士は周囲を堀や土塁(どるい)で囲んだ館(やかた)に住んでいた。(2)室町時代には，畳(たたみ)を部屋に敷き詰め，襖(ふすま)や障子(しょうじ)，床の間(とこま)などを設ける，現代の和風建築のもととなった書院造(しょいんづくり)の住居が生まれた。

(3)明治時代になって西洋風の文化が流入してくると，都市部を中心に煉瓦(れんが)を用いた建物やガス灯などが見られるようになり，文明開化の象徴となった。第二次世界大戦後には，建物の洋風化がますます進み，東京などの大都市中心部では超高層ビルも建てられるようになった。(4)庶民の住宅においては，大都市の郊外にニュータウンが次々に建設され，自宅用の浴室や水洗トイレを備えた団地での生活が一般的となっていった。

〔問１〕 (1)日本では，まだ農耕が行われる以前の縄文時代の遺跡から竪穴(たてあな)住居の跡が発見されており，この竪穴住居は平安時代ごろまで使われていたようである。とあるが，次のⅠの略地図中の**ア**～**エ**は，古代までの日本における重要な遺跡の位置を示したものである。Ⅱの文章は，縄文時代を代表する遺跡について述べたものである。Ⅱの文章で述べている遺跡の位置に当てはまるのは，Ⅰの略地図中の**ア**～**エ**のうちのどれか。

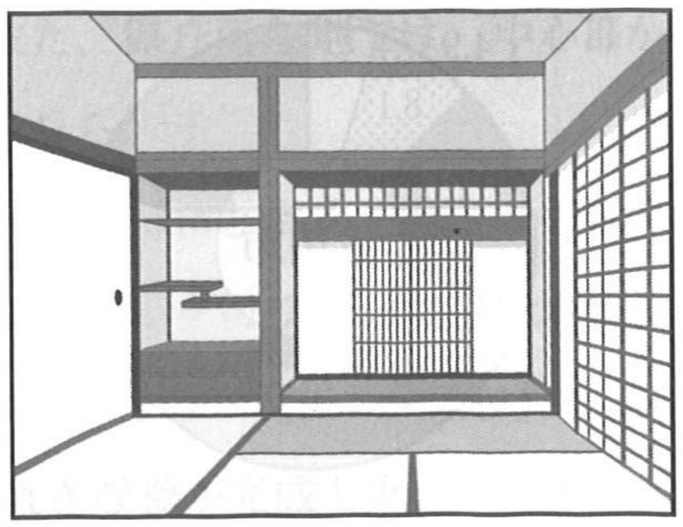
Ⅰ



Ⅱ

県営野球場建設前の調査によって発見された遺跡である。今から 5500 年ほど前から 1500 年以上続いた縄文時代最大級の村の跡で，当時は海岸線が内陸まで入り込み，気候も現在より温暖で，魚や木の実などの食料が豊富であったと考えられている。竪穴住居のほか，大型の掘立柱建物などの多くの建物群の跡が発見されている。

〔問２〕 (2)室町時代には，畳(たたみ)を部屋に敷き詰め，襖(ふすま)や障子(しょうじ)，床の間(とこま)などを設ける，現代の和風建築のもととなった書院造(しょいんづくり)の住居が生まれた。とあるが，右の図は，室町時代につくられた東求堂同仁斎(とうぐどうどうじんさい)の内部の様子を示したものである。この建物が建てられた時代の政治の仕組みについて述べているのは，次のページの**ア**～**エ**のうちではどれか。



ア　譜代大名から数人の老中が選任されて政治全般を合議制で統括し，これを補佐する若年寄や三奉行などが実務を分担した。また，臨時の最高職として大老が置かれる場合もあった。

イ　北条氏が代々将軍を補佐する執権の地位につき，行政・司法・軍事などの実権を握っていた。執権のもとには侍所，政所，問注所などの役職が置かれ，京都には六波羅探題が置かれた。

ウ　中央には，太政官と神祇官の二官と，宮内省，大蔵省，中務省などの八省が置かれ，政治が進められた。地方は国・郡・里に分けられ，国を治めるために中央から国司が派遣された。

エ　細川氏，畠山氏，斯波氏という有力守護大名が，将軍の補佐役である管領の地位についた。やがて，将軍の力は弱くなり，管領と有力守護大名の話し合いで政治が行われるようになった。

〔問３〕 明治時代になって西洋風の文化が流入してくると，都市部を中心に煉瓦を用いた建物やガス灯などが見られるようになり，文明開化の象徴となった。(3) とあるが，次のⅠの略年表は，明治時代以降の生活や文化に関する出来事についてまとめたものである。Ⅱの文章で述べている生活や文化の様子が見られる時期に当てはまるのは，Ⅰの略年表中の**ア**～**エ**のうちのどれか。

Ⅰ

年代	明治時代以降の生活や文化に関する出来事	
1872	● 新橋・横浜間に鉄道が開通する。	
1883	● 鹿鳴館が完成する。	**ア**
1890	● 教育勅語が出される。	
1897	● 志賀潔が赤痢菌を発見する。	**イ**
1911	● 平塚らいてうが『青鞜』を発行する。	
1915	● 芥川龍之介が『羅生門』を発表する。	**ウ**
1927	● 上野・浅草間に地下鉄が開通する。	
1938	● 国家総動員法が制定される。	**エ**
1941	● 米が配給制になる。	

Ⅱ

好景気を背景に，工業を中心に発展する都市が急速に増えた。都市やその郊外では，ガス・水道・電気の普及にともない，洋間を設けた洋風の文化住宅が建てられ，洋食も広まっていった。子供向け雑誌の「赤い鳥」が発行されるなど様々な雑誌が発行され，ラジオ放送も開始された。

〔問４〕 庶民の住宅においては，大都市の郊外にニュータウンが次々に建設され，自宅用の浴室や水洗トイレを備えた団地での生活が一般的となっていった。(4) とあるが，次の**ア**～**エ**は，第二次世界大戦後の政治や経済の様子について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア　第四次中東戦争の影響で原油価格が急上昇し，石油危機と呼ばれる経済の混乱が起こった。日本企業は，経営の合理化や省エネルギーに向けた技術革新などでこれを乗り切った。

イ　GHQの主導によって財閥解体などの民主化に向けての様々な改革が行われた。農村では農地改革が行われ，地主の土地を小作人に安く譲り渡すことで，多くの自作農が生まれた。

ウ　東京でのオリンピック開催にあわせて，東海道新幹線や高速道路が建設されるなどのインフラの整備が進んだ。各家庭でも，テレビなどの家庭電化製品や自家用車などが普及していった。

エ　北朝鮮が武力による統一をめざして韓国に侵攻し，朝鮮戦争が始まった。この結果，大量の軍需物資が日本で調達されることになり，特需景気と呼ばれる好景気が訪れ，復興が早まった。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

我が国で政治の舞台となった場所は，時代とともに移り変わってきた。(1)古代においては，近畿地方を中心に天皇や貴族を中心とした政治が行われ，中国の唐の都にならって７世紀末には藤原京が，８世紀初めには平城京が建設された。８世紀末に都は平安京に移され，その後1000年以上にわたって京都に都が置かれた。(2)９世紀ごろから，都から遠く離れた地方で豪族が台頭しはじめ，12世紀に，武士が政治権力を握るようになると，その後は，武士政権の中心地が政治の舞台となった。15世紀半ば以降に，中央政権の力が衰えて全国に戦乱が広まると，戦国大名による群雄割拠の時代となった。(3)この戦乱をおさめた徳川氏が，17世紀初めに江戸に幕府を開くと，やがて，政治だけでなく，経済や文化の中心も江戸に移っていった。19世紀後半に，江戸幕府が倒れて明治政府が誕生した後も，(4)近代国家を目指す明治政府は，江戸を東京と改め，天皇も京都から東京に移って，東京を我が国の首都としたのである。

〔問１〕 (1)古代においては，近畿地方を中心に天皇や貴族を中心とした政治が行われ，中国の唐の都にならって７世紀末には藤原京が，８世紀初めには平城京が建設された。とあるが，次の**ア**～**エ**は，中国で唐王朝が統治していた７世紀から９世紀にかけて，我が国で起こった出来事について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア 聖武天皇は，仏教の力で国を治めようと考えて，都に東大寺を，国ごとに国分寺と国分尼寺を建てた。また，唐の高僧の鑑真が来日して正式な戒律を伝え，唐招提寺を建てた。

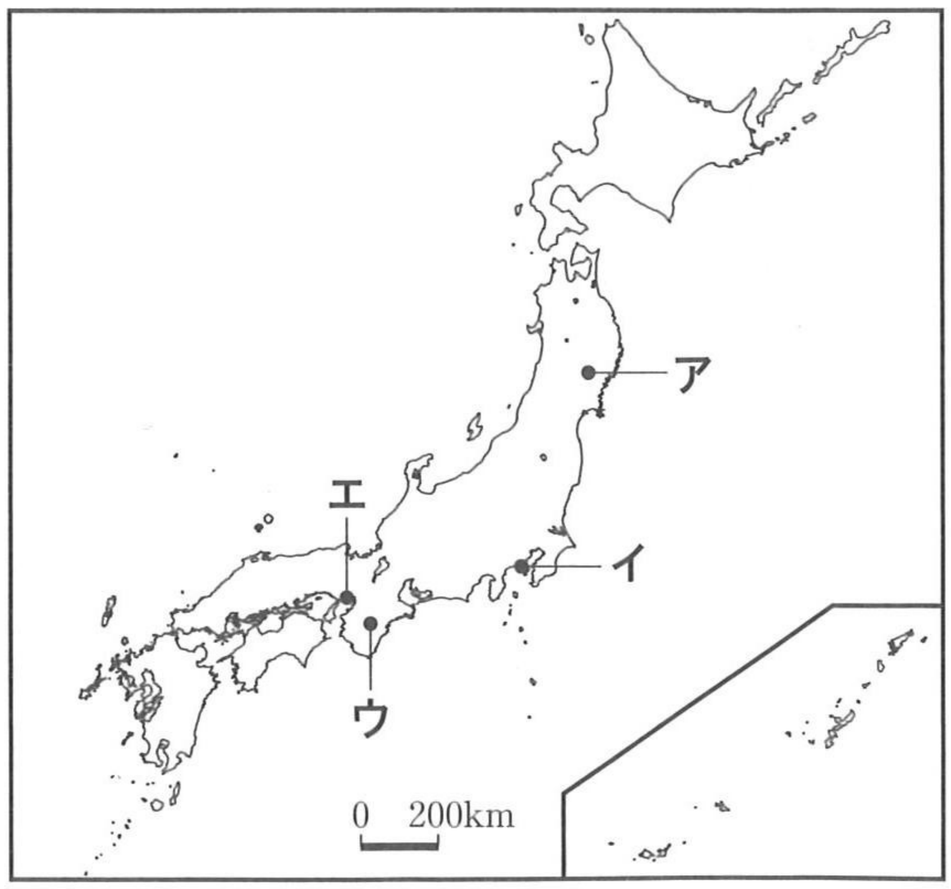
イ 中大兄皇子は，中臣鎌足らと協力し，蘇我氏を倒して政治改革を始めた。この政治改革では，唐に送られた留学生や僧が，帰国後，新しい政治の仕組みをつくるのに協力した。

ウ 藤原氏は，遣唐使の停止を進言した菅原道真を大宰府に追放するなど，他の貴族を次々と退けた。そして，一族で朝廷の高い位を独占し，摂政や関白の地位について政治を行った。

エ 征夷大将軍に任じられた坂上田村麻呂は，東北地方の蝦夷を攻めて朝廷の勢力を広げた。このころ，遣唐使とともに唐に渡った最澄と空海が，日本に新しい仏教を伝えた。

〔問２〕 (2)９世紀ごろから，都から遠く離れた地方で豪族が台頭しはじめ，12世紀に，武士が政治権力を握るようになると，その後は，武士政権の中心地が政治の舞台となった。とあるが，右のⅠの略地図中の**ア**～**エ**は，後醍醐天皇，平清盛，藤原清衡，源頼朝の**いずれか**の人物が政権の中心地とした場所を示したものである。次のページのⅡの文章で述べている場所は，Ⅰの略地図中の**ア**～**エ**のうちのどれか。

Ⅰ



Ⅱ

11世紀に起こった2度にわたる争乱をきっかけに勢力を伸ばした藤原清衡は，大量に産出していた金や馬によって富を築き，子の基衡，孫の秀衡の三代にわたって繁栄した。その本拠地には全国各地から文物がもたらされ，また，都の文化も積極的に取り入れて，中尊寺金色堂を建立するなどした。12世紀末に，源頼朝と対立した源義経を保護したため，頼朝の攻撃を受けて滅亡した。

〔問3〕 (3)この戦乱をおさめた徳川氏が，17世紀初めに江戸に幕府を開くと，やがて，政治だけでなく，経済や文化の中心も江戸に移っていった。とあるが，江戸時代後半の19世紀初めごろに，江戸を中心に栄えた文化について述べているのは，次の**ア**～**エ**のうちではどれか。

ア　俵屋宗達や尾形光琳が，屏風や蒔絵などに大和絵の伝統をいかしたはなやかな装飾画を描き，菱川師宣が，町人の風俗を美しく描く浮世絵を始め，版画もつくられた。

イ　錦絵と呼ばれる多色刷りの版画が人気を集め，喜多川歌麿は美人画，東洲斎写楽は歌舞伎の役者絵，葛飾北斎や歌川広重は風景画にすぐれた作品を残した。

ウ　中国にわたって水墨画の技法を学んだ雪舟が，帰国後，各地をめぐって水墨画の名作を描き，龍安寺の石庭のような，石や木をたくみに配置した庭園が築かれた。

エ　安土城や大阪城などの壮大な天守をもつ城が築かれ，城の内部をかざるために，ふすまや屏風には，狩野永徳や狩野山楽らが金箔を使った豪華な絵を描いた。

〔問4〕 (4)近代国家を目指す明治政府は，江戸を東京と改め，天皇も京都から東京に移って，東京を我が国の首都としたのである。とあるが，次のⅠの略年表は，明治時代以降の東京に関する主な出来事についてまとめたものである。Ⅱの文章で述べている出来事が起こった時期は，Ⅰの略年表中の**ア**～**エ**のうちのどれか。

Ⅰ

西暦	明治時代以降の東京に関する主な出来事	
1871	● 廃藩置県が行われ，東京府が設置された。	
1872	● 日本最初の鉄道が，新橋と横浜間に開通した。	ア
1889	● 市制・町村制の施行により東京市が発足し，15区が置かれた。	
1893	● 神奈川県から西多摩郡・南多摩郡・北多摩郡が東京府に編入された。	イ
1920	● 初の国勢調査が実施され，東京府の人口はおよそ370万人であった。	
1923	● 関東大震災が起こり，死者・行方不明者が10万人以上に達した。	ウ
1943	● 東京府と東京市を廃止し，東京都を設置した。	
1945	● アメリカ軍による東京大空襲で，甚大な被害を受けた。	エ
1964	● アジアで最初のオリンピックである東京オリンピックが開催された。	

Ⅱ

5月15日，海軍の青年将校らが，政党や財閥を倒して強力な軍事政権を樹立することをめざし，首相官邸を襲って犬養毅首相を暗殺した。これにより政党内閣の時代は終わり，軍人が首相となることが多くなった。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

狩りや採集の生活から農耕によって食料を得る生活が始まることで，人間の生活は一変した。我が国では，紀元前４世紀ごろに稲作が伝わると，人々は低地に定住生活をするようになり，各地にムラができた。ムラとムラがまとまって小さなクニへと発展し，やがて，(1)５世紀には大和(やまと)政権(ヤマト王権)による全国統一が進められた。８世紀に唐(とう)の都にならった大きな都がつくられたころには，日本という称号が用いられていたようである。このころは，公地公民であったが，その後，土地の私有が認められるようになると，有力な貴族や寺社は私有地を広げるために，盛んに開墾を行った。そして，(2)土地をめぐる争いが地方で繰り広げられるようになって武士の台頭を促し，12世紀には武家政権が誕生した。16 世紀末に全国を統一した豊臣秀吉(とよとみひでよし)は，土地の所有者を明確にすることで兵農分離を推し進めた。

明治になり近代社会を迎えると，(3)それまでの年貢にかえて，土地の所有者に対して税を課す新たな制度ができた。しかし，地主と小作人の関係は江戸時代のままで，自分の土地を持たない農民が多数いた。(4)農民の多くが自分の土地を持つ自作農となるのは，第二次世界大戦後の農地改革を待たなければならなかった。

〔問１〕 (1)５世紀には大和(やまと)政権(ヤマト王権)による全国統一が進められた。８世紀に唐(とう)の都にならった大きな都がつくられたころには，日本という称号が用いられていたようである。とあるが，次のⅠの略年表は，５世紀から８世紀にかけての主な出来事をまとめたものである。Ⅱの文章で述べている出来事が起こった時期に当てはまるのは，Ⅰの略年表中の**ア**～**エ**のうちのどれか。

Ⅰ

西暦	５世紀から８世紀にかけての主な出来事	
478	● 倭王武が中国の南朝に使者を送る。	ア
593	● 聖徳太子が推古天皇の摂政となる。	
603	● 冠位十二階の制が定められる。	
607	● 小野妹子が隋に派遣される。	
645	● 大化の改新が行われる。	イ
663	● 白村江の戦いが起こる。	
701	● 大宝律令が出される。	ウ
710	● 平城京に都が移される。	
743	● 墾田永年私財法が出される。	
754	● 鑑真が来日する。	エ
784	● 長岡京に都が移される。	
794	● 平安京に都が移される。	

Ⅱ

天智(てんじ)天皇の次の皇位をめぐり，子の大友皇子(おおとものおうじ)と弟の大海人皇子(おおあまのおうじ)が対立して壬申(じんしん)の乱が起こり，勝利した大海人皇子が即位して天武(てんむ)天皇となった。天武天皇は，天皇の権威を高め，反対する豪族を抑えて新しい政治を推し進めた。天武天皇の没後，その皇后が持統(じとう)天皇として即位し，本格的な都である藤原京(ふじわらきょう)をつくった。

〔問２〕 (2)土地をめぐる争いが地方で繰り広げられるようになって武士の台頭を促し，12 世紀には武家政権が誕生した。16 世紀末に全国を統一した豊臣秀吉(とよとみひでよし)は，土地の所有者を明確にすることで兵農分離を推し進めた。とあるが，次のページの**ア**～**エ**は，12 世紀から 16 世紀にかけての武士政権に関することがらについて述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア　執権の北条泰時によって，武家社会のおきてや裁判の基準をまとめた御成敗式目（貞永式目）が制定された。その後，この法律は，武士の基本法として広く定着していった。

イ　足利義満は，「花の御所」と呼ばれる豪華な邸宅をつくり，吉野と京都に分かれていた二つの朝廷を合一させた。また，山名氏や大内氏などの有力な守護大名を打ち破った。

ウ　源　頼朝は，対立した弟の義経を捕らえるという口実で，自分の家来である御家人を守護や地頭として各地に置いた。その後，平泉に逃れた義経を攻め，奥州藤原氏を滅ぼした。

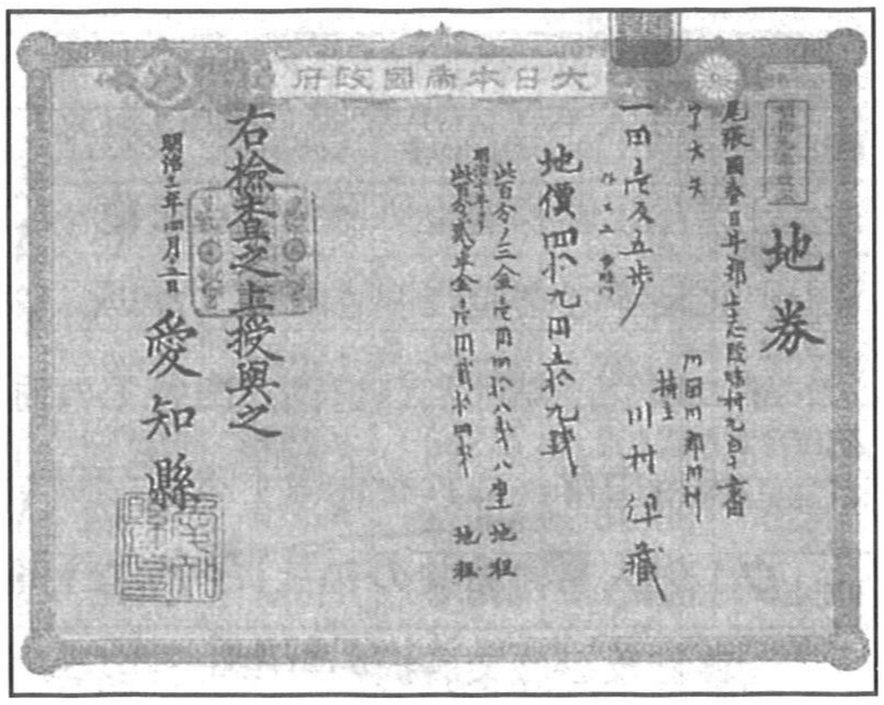
エ　平　清盛は，上皇と天皇，摂関家などの争いなどが原因で起こった保元の乱と平治の乱に勝利し，太政大臣となって政治の実権を握った。また，一族で高位高官を占め，栄華を極めた。

〔問３〕 (3)それまでの年貢にかえて，土地の所有者に対して税を課す新たな制度ができた。とあるが，次のⅠの表は，制度の変更前の江戸時代の税の仕組みと，新たな制度による税の仕組みとの違いについてまとめたものである。Ⅱの図は，この制度の変更に際して，土地所有者（地主）に発行された地券を示したものである。Ⅰの表中の**X**と**Y**に当てはまる内容にふれて，新しい税の制度について，簡単に述べよ。

Ⅰ

	江戸時代	新たな税の制度
課税基準	収穫高（石高）	**X**
税　率	五公五民など （地域や年により異なる）	全国一律に３％ （のちに 2.5%となる）
納税方法	物納（米）	**Y**
納税者	耕作者（本百姓）	土地所有者（地主）
納税先	領主	国（政府）

Ⅱ



〔問４〕 (4)農民の多くが自分の土地を持つ自作農となるのは，第二次世界大戦後の農地改革を待たなければならなかった。とあるが，農地改革と同じ時期に行われた出来事について述べた文として**適切でない**のは，次の**ア**～**エ**のうちではどれか。

ア　婦人参政権が認められて満 20 歳以上の男女に選挙権が与えられ，翌年に行われた衆議院議員総選挙では，39 人の女性議員が当選した。

イ　三井，三菱，住友などの，巨大な資本をもとに多角的な事業経営を家族や同族が所有し，日本の経済を支配していた財閥が解体された。

ウ　保守勢力によって自由民主党が，革新勢力によって日本社会党が結成され，自由民主党が与党，日本社会党などが野党となる政治体制が始まった。

エ　小学校６年間，中学校３年間の９年間を義務教育とするなどの教育制度が定められ，教育基本法が制定されて教育勅語は廃止された。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

古代の我が国では，文書がつくられた当初は，中国から伝わってきた漢字が用いられていた。８世紀には，『古事記』や『日本書紀』という歴史書が書かれたり，(1)天皇や貴族から庶民に至るまでの様々な人々の歌を収めた『万葉集』が編纂されたりした。９世紀ごろに，仮名文字が生み出されて感情を書き表しやすくなると，(2)清少納言の『枕草子』や紫式部の『源氏物語』などの女性によるすぐれた文学作品が数多くつくられた。農業や商工業が発達し，民衆が経済的に成長した中世には，御伽草子と呼ばれる庶民向けの絵入りの物語が盛んに読まれるようになり，言語活動の広がりは庶民文化を進展させた。(3)江戸時代には，小説や俳諧，川柳や狂歌などの様々な文芸が発達し，人形浄瑠璃や歌舞伎などとともに町人を担い手とする文化が花開いた。また，藩校や寺子屋などの教育施設も整備されて教育の普及が見られ，諸学問のめざましい発展も見られた。(4)明治時代になると，ヨーロッパやアメリカの思想や文化が積極的に取り入れられ，活字文化と教育の振興が一層推し進められた。

〔問１〕(1)天皇や貴族から庶民に至るまでの様々な人々の歌を収めた『万葉集』が編纂されたりした。とあるが，次のⅠとⅡは，『万葉集』に収められている歌の一部を示したもので，Ⅰは，防人がよんだ歌，Ⅱは，当時の農民の暮らしの様子をよんだ歌である。Ⅰの歌をよんだ防人とは何か，簡単に述べよ。また，Ⅱの歌から読み取れる，この当時の農民の暮らしの様子について，簡単に述べよ。

Ⅰ

から衣　すそに取りつき　泣く子らを　置きてぞ来ぬや　母なしにして

《現代語訳》すそに取りついて泣く子どもたちを置いたまま来てしまった。その子の母もいないのに。

大君の　命かしこみ　磯に触り　海原渡る　父母を置きて

《現代語訳》天皇の命令に従って磯づたいに海原を渡ります。父母を故郷に残したまま。

Ⅱ

人並に　吾れもなれるを　綿も無き　布肩衣の　海松のごと　わわけさがれる　かかふのみ　肩に打ち掛け　ふせいおの　まげいおの内に　直土に　藁解き敷きて……竈には　火気吹きたてず　甑には　蜘蛛の巣かきて　飯炊く　事も忘れて　ぬえ鳥の　のどよい居るに……しもとる　里長が声は　寝屋戸まで　来立ち呼ばいぬ　かくばかり　術なきものか　世の中の道

《現代語訳》人並みに働いているのに，綿も入っていない海藻のようにぼろぼろになった衣を肩にかけて，つぶれかかった家，曲がった家の中には，地面にわらをしいている。かまどには火のけがなく，米をにる器にはクモの巣がはってしまい，飯を炊くことも忘れてしまったようだ。ぬえ鳥の様にかぼそい声を出していると，鞭を持った里長の税を取り立てる声が寝床にまで聞こえる。こんなにもどうしようもないものなのか，世の中というものは。

〔問２〕(2)清少納言の『枕草子』や紫式部の『源氏物語』などの女性によるすぐれた文学作品が数多くつくられた。とあるが，『枕草子』や『源氏物語』などの文学作品がつくられたころの政治の様子について述べているのは，次のページの**ア**～**エ**のうちではどれか。

ア　聖武天皇は，仏教の力で国を治めようと考え，国ごとに国分寺と国分尼寺を建てることを命じ，都にはその中心となる東大寺を建てて，その中に金銅でつくった大仏を安置した。

イ　中大兄皇子と中臣鎌足らは，天皇をしのぐ勢力を誇っていた蘇我氏を倒した後，全国の土地と人民を国家が直接支配する公地公民などの方針を定めて政治の改革を始めた。

ウ　後一条天皇の摂政となった藤原道長は，摂関政治の全盛期を築き，その栄華の様子を「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることも 無しと思えば」という和歌に詠んだ。

エ　桓武天皇は，坂上田村麻呂を征夷大将軍に任じて朝廷の支配に従わない蝦夷を討たせたり，二官八省の制度を見直して令外の官を設置するなどして律令政治の立て直しをはかった。

〔問３〕 江戸時代には，小説や俳諧，川柳や狂歌などの様々な文芸が発達し，人形浄瑠璃や歌舞伎(3)などとともに町人を担い手とする文化が花開いた。とあるが，次のⅠの略年表は，江戸時代の主な出来事についてまとめたものである。Ⅱの文章は，江戸時代のある時期の文芸に関することがらについて述べたものである。Ⅱの文章で述べている時期に当てはまるのは，Ⅰの略年表中の**ア**～**エ**のうちのどれか。

Ⅰ

西暦	江戸時代の主な出来事	
1603	● 徳川家康が征夷大将軍となる。	
1615	● 大阪の陣が起こり，豊臣氏が滅亡する。	**ア**
1639	● ポルトガル船の来航を禁止する。	
1680	● 徳川綱吉が第５代将軍となる。	**イ**
1716	● 第８代将軍徳川吉宗が享保の改革を行う。	
1787	● 老中松平定信が寛政の改革を行う。	**ウ**
1841	● 老中水野忠邦が天保の改革を行う。	
1853	● ペリーが浦賀に来航する。	**エ**
1867	● 大政奉還が行われ，江戸幕府が滅亡する。	

Ⅱ

井原西鶴は，町人の生活をもとに浮世草子を書き，俳諧を確立した松尾芭蕉は，紀行文『奥の細道』を著した。また，近松門左衛門は，義理と人情のもつれを題材に，『曽根崎心中』などの人形浄瑠璃の脚本を書いた。

〔問４〕 明治時代になると，ヨーロッパやアメリカの思想や文化が積極的に取り入れられ，活字文化と教育の振興(4)が一層推し進められた。とあるが，次の**ア**～**エ**は，明治時代以降の活字文化や教育に関する出来事について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア　言論の自由の回復にあわせて，「中央公論」や「世界」などの雑誌が復刊，創刊された。また，教育勅語にかわって教育基本法が制定され，軍国主義的であった教育の民主化が進められた。

イ　口語体で書かれた小説が生み出され，樋口一葉や夏目漱石，森鷗外らが小説を発表した。また，西洋の近代思想を紹介した福沢諭吉が慶応義塾を創設するなど，私立の学校がつくられた。

ウ　ノーベル文学賞を受賞した川端康成や大江健三郎などのすぐれた純文学の作品が発表された。また，高校や大学への進学率が上昇した結果，多くの国民が「中流意識」を持つようになった。

エ　人道主義の理想をかかげる志賀直哉らの白樺派のほか，谷崎潤一郎や芥川龍之介らが短編小説を著した。また，義務教育の就学率がほぼ100％になり，高等教育への進学率も高まった。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

現代の私たちは，土地を所有したり借りたりして様々な社会生活を営んでいる。

旧石器時代の人々は，獲物を求めて移動しながら生活していたが，やがて，(1)農耕が広まるとともに，土地を所有するようになった。その後，豪族が土地と人々を私有するようになったが，律令制度の整備の中で公地・公民制に転換された。しかし，開墾を奨励するために土地の私有が認められるようになると，公地・公民制は崩れ，荘園と呼ばれる私有地が増加した。

中世になって武士が台頭するようになると，武士による土地や人々の支配が強まっていったが，一方で，(2)民衆の側にも自立の動きが生まれた。戦国時代に各国を治めた戦国大名は，武士や民衆の行動を取り締まり，荘園領主の支配を認めず，自分の領国を統一して支配した。

(3)江戸時代において，土地は基本的に幕府のものであり，土地や人民は幕府から大名に与えられて，各藩を大名が治めるという幕藩体制が敷かれた。そして，(4)幕府が対外政策として行った鎖国によって国内の政治は安定し，戦乱のない平和な世が訪れて，産業や文化が発展した。

〔問１〕(1)農耕が広まるとともに，土地を所有するようになった。とあるが，次の**ア**～**エ**は，古代から近世にかけての農業や農民をめぐる動きについて述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア　農民は，６歳になると口分田を与えられたが，収穫した稲の約３％を納める租や地方の特産物を納める調などの重い負担が課せられ，口分田を捨てて逃亡する農民も多かった。

イ　深く耕すことができる備中ぐわや脱穀を効率的に行う千歯こきなどの農具の発達や，鰯を原料にしてつくられた干鰯と呼ばれる肥料の普及などにより，農業生産力が向上した。

ウ　農民は，太閤検地によって，検地帳に登録されて土地の所有権を認められたが土地を離れることを禁止され，刀狩によって，刀や弓，槍，鉄砲などの武器を取り上げられた。

エ　米の裏作として麦をつくる二毛作が西日本から全国に広がり，灌漑用の水車や堆肥などの肥料が使われるようになって収穫量が増え，麻や桑，藍，茶などの栽培も広まった。

〔問２〕(2)民衆の側にも自立の動きが生まれた。とあるが，次のⅠの略年表は，平安時代から江戸時代にかけての，我が国の民衆の動きに関する出来事についてまとめたものである。Ⅱの文は，ある時期に起こった民衆の動きについて述べたものである。Ⅱの文で述べている出来事が起こった時期に当てはまるのは，Ⅰの略年表中の**ア**～**エ**の時期のうちではどれか。

Ⅰ

西暦	我が国の民衆の動きに関する出来事	
988	●尾張国の郡司や農民らが，国司の藤原元命の不正行為を31か条にまとめて訴えた。	ア
1275	●紀伊国の阿氐河荘の農民らが，地頭の横暴をカタカナ書きの訴状で告発した。	イ
1428	●近江国の農民や馬借が，借金の帳消しを求めて土一揆を起こした。	ウ
1669	●松前藩との不利な交易に抗議して，シャクシャインを中心にアイヌの人々が蜂起した。	エ
1733	●前年に起きた大飢饉による米価の高騰から，江戸で初めての打ちこわしが起こった。	

Ⅱ

民衆にも分かりやすく実行しやすい教えを説く新しい仏教が広まり，法然は浄土宗を，その弟子の親鸞は浄土真宗を開いた。

〔問３〕(3)江戸時代において，土地は基本的に幕府のものであり，土地や人民は幕府から大名に与えられて，各藩を大名が治めるという幕藩体制が敷かれた。とあるが，次の文章は，江戸時代に，幕府によって出された法令の一部を分かりやすく示したものである。この法令が出されたのと同時期に世界で起こった出来事について述べているのは，下の**ア**～**エ**のうちではどれか。

> ○株仲間(かぶなかま)の権利はもちろん，この他すべて問屋仲間とか問屋組合などという称号を用いることを禁止する旨(むね)，十組問屋どもに申し渡す。
> ○その方たちは，これまで毎年金一万二百両を冥加金(みょうがきん)として上納してきたが，問屋どもに不正があったという風評があるので，今後は上納をやめさせる。したがって，今後は株仲間の証(あかし)としての株札はもちろん，この他すべての問屋仲間や組合などを廃止し，その名称を唱えてはならない。

ア　奴隷制や自由貿易などをめぐり，アメリカの北部と南部の州の対立が激しくなって南北戦争が始まり，北部側がリンカン大統領の指導の下，勝利した。

イ　絶対王政に不満を持った人々が立ち上がってフランス革命が起こり，国民主権や言論の自由，私有財産の不可侵などを唱える人権宣言を発表した。

ウ　イスラム社会との交易などで栄えた北イタリアの都市で，古代ローマやギリシャの文化を模範として復興させようとするルネサンスがおこった。

エ　アヘンの密輸をめぐってイギリスと清(しん)との間で戦争が始まり，敗れた清は南京(ナンキン)条約を結ばされて，香港(ホンコン)の割譲や賠償金(ばいしょうきん)の支払いを認めさせられた。

〔問４〕(4)幕府が対外政策として行った鎖国(さこく)によって国内の政治は安定し，戦乱のない平和な世が訪れて，産業や文化が発展した。とあるが，次の略年表は，江戸幕府が鎖国の体制を固めていく流れをまとめたものである。鎖国の体制が固まると，ヨーロッパの国では，略年表中の［ X ］の国だけが貿易を許されたが，その理由について，略年表を参考に，略年表中の［ X ］に当てはまる国名を必ず使って，簡単に述べよ。

西暦	江戸幕府が鎖国の体制を固めていく流れ
1612	●徳川家康が幕領にキリスト教禁止令を出した。
1613	●全国にキリスト教禁止令を出した。
1616	●ヨーロッパ船の来航地を長崎と平戸(ひらど)に制限した。
1623	●イギリスが平戸の商館を閉じた。
1624	●スペイン船の来航を禁止した。
1633	●特定の船以外の海外渡航と在外日本人の帰国を禁止した。
1635	●外国船の来航・貿易地を長崎と平戸に制限した。日本人の海外渡航・帰国を禁止した。
1637	●島原(しまばら)・天草(あまくさ)一揆が起こった。
1639	●ポルトガル船の来航を禁止した。
1641	●平戸にあった［ X ］の商館を長崎の出島に移した。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

道はもともと動物や人が歩いて踏み固めてできたもので，動物や人が盛んに行き交っているところにつくられ，その後，人や物資のスムーズな移動になくてはならないものになった。古代には，都に置かれた朝廷が全国を支配する体制がつくられたが，そのためには道路の整備が不可欠であった。(1) 中世になり，商工業が発達すると物資の移動がますます盛んになり，沿道では定期市が開かれるようになった。地域間の交流も進み，道は，人々が憩い，会話を楽しんだり，僧侶による仏の教えを聞いたりする(2)場となった。さらに，大通りでは，祭りなどの諸行事が行われ，路地は近隣の人々のコミュニティの場となった。江戸時代には，五街道や脇街道などの様々な道路が整備され，参勤交代(3)のときの大名行列などに利用された。商工業や交通の発達は都市の発達を促し，城下町や港町，宿場町，門前町などがにぎわい，中でも，江戸，大阪，京都は三都と呼ばれて栄えた。(4)

〔問１〕 古代には，都に置かれた朝廷が全国を支配する体制がつくられたが，そのためには道路の整備が不可欠であった。(1) とあるが，次のⅠの文章は，古代におけるある道に関する出来事について述べたものである。Ⅱの略年表は，古代における主な出来事をまとめたものである。Ⅰの文章で述べている正倉院がつくられた時期に当てはまるのは，Ⅱの略年表中の**ア**～**エ**のうちではどれか。

Ⅰ

木材を組み上げる校倉造で建てられた正倉院には，インド原産といわれる木材でつくられた螺鈿紫檀五絃琵琶や，西アジアのペルシャでつくられたといわれる瑠璃坏などが収められている。これらは，ヨーロッパと中国を結ぶシルクロード(絹の道)を通って運ばれてきたものと考えられている。

Ⅱ

西暦	古代の主な出来事	
593	●聖徳太子が摂政となる。	ア
645	●大化の改新が始まる。	イ
710	●平城京に都が移される。	ウ
794	●平安京に都が移される。	エ
1016	●藤原道長が摂政となる。	

〔問２〕 地域間の交流も進み，道は，人々が憩い，会話を楽しんだり，僧侶による仏の教えを聞いたりする(2)場となった。とあるが，次の文章は，ある時期の仏教の様子について述べたものである。この文章の出来事と同じころに起こった出来事について述べているのは，次のページの**ア**～**エ**のうちではどれか。

伝統的な仏教の教えに疑問を抱いた日蓮は，比叡山延暦寺などで学んだあと故郷の安房国に戻り，法華経こそが真の教えで，「南無妙法蓮華経」という題目を唱えれば人も国家も救われると説き，日蓮宗(法華宗)を開いた。その後日蓮は，当時の政治の中心地に行き，道路が十字に交差する場所で庶民に説き聞かせる辻説法を行うなどして，仏教の教えを広めた。

ア　中国を征服して元を建国したフビライ・ハンが，日本も従えようとして，高麗の軍勢もあわせ，二度にわたって対馬や壱岐，九州北部に大軍を送ってきた。

イ　琉球では，北山，中山，南山の三つの王国が並び立っていたが，中山王の尚巴志が，三つの王国を統一して琉球王国を築き，首里を都とした。

ウ　武士として初めて太政大臣となった平清盛が，瀬戸内海の航路を整え，大輪田泊（現在の神戸港）を修築して宋との貿易を盛んに行い，大きな利益をあげた。

エ　遣唐使に任命された菅原道真が，唐のおとろえと往復の航海の危険を理由に派遣の停止を訴えて認められ，その後しばらくして唐は滅亡した。

〔問３〕 江戸時代には，五街道や脇街道などの様々な道路が整備され，参勤交代のときの大名行列などに利用された。(3) とあるが，次の**ア**～**エ**は，江戸時代に起こった出来事について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア　徳川吉宗は，幕府の財政の立て直しに取り組み，新田開発を奨励して年貢による収入を増やそうとしたり，大名に対して，参勤交代を軽減するかわりに，幕府に米を差し出させたりした。

イ　老中の松平定信は，農村を立て直すために，江戸などに出稼ぎに来ていた農民を故郷の村に帰し，飢饉に備えるために，各地に倉を設けて米を蓄えさせ，商品作物の栽培を制限した。

ウ　徳川綱吉は，武力ではなく学問を重んじる政治への転換を図り，湯島に聖堂を建てて朱子学を学ばせたが，極端な動物愛護を命じた生類憐みの令を出して庶民から批判を受けた。

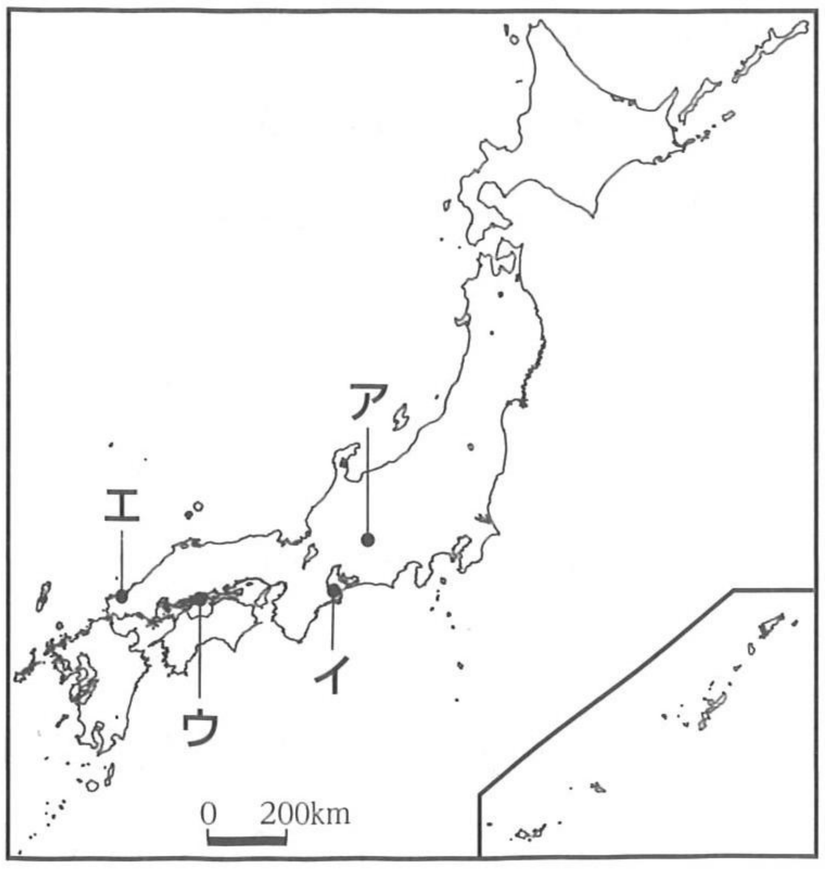
エ　老中の水野忠邦は，物価の上昇を抑えるために，株仲間に解散を命じたが，江戸と大阪の周辺の土地を幕領にしようとして大名や旗本の反対にあい，老中をやめさせられた。

〔問４〕 城下町や港町，宿場町，門前町などがにぎわい，中でも，江戸，大阪，京都は三都と呼ばれて栄えた。(4) とあるが，次のⅠの表の**A**～**D**は，江戸時代に栄えた都市で，現在も古い町並みが残っているところについてまとめたものである。**A**～**D**のそれぞれの位置に当てはまるのは，Ⅱの略地図中の**ア**～**エ**のうちのどれか。

Ⅰ

	都市名	都市の様子
A	宇治山田	伊勢神宮の門前町として発展した。赤福餅や伊勢うどんなどの特産物が有名。
B	鞆の浦	「潮待ちの港」として栄えた港町。朝鮮通信使の寄港地で，その遺跡などが残っている。
C	妻籠宿	中山道の宿場町として栄えた。日本で初めて重要伝統的建造物群保存地区に選ばれた。
D	萩	長州藩の城下町。松下村塾などの武家屋敷の町並みは，世界文化遺産に登録されている。

Ⅱ



4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

鹿児島県に住む中学生のＳさんは，郷土の歴史を調べるうちに，郷土の薩摩藩の大名であった島津氏に興味を持ち，調査した。

島津氏のおこりは，鎌倉幕府の御家人であった島津忠久という人物のようで，源頼朝との関係も深かった。(1)その後島津氏は，鎌倉時代から室町時代，戦国時代にかけてたくましく生き抜き，領地を守り続けてきた。関ヶ原の戦いでは西軍に加わったが領地を減らされることなく，(2)江戸時代の薩摩藩は石高73万石で，前田氏の加賀藩の103万石に次いで全国で２番目の石高を持つ有力な外様大名となった。江戸時代末には，下級武士を登用するなどして財政改革を推し進め，雄藩と呼ばれて幕府の政治にも影響力を及ぼすようになった。明治維新では多くの人物が活躍し，維新の三傑に数えられた大久保利通や西郷隆盛をはじめ，(3)大日本帝国憲法発布のときの内閣総理大臣である黒田清隆など，新政府の中心となる人物を輩出した。また，軍人にも多くの著名人を輩出しており，(4)日本海海戦のときの連合艦隊司令長官である東郷平八郎も薩摩藩出身である。

〔問１〕(1)その後島津氏は，鎌倉時代から室町時代，戦国時代にかけてたくましく生き抜き，領地を守り続けてきた。とあるが，次の**ア**～**エ**は，島津氏と武家政権の権力者との関係について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア 島津氏は，九州の覇権をめざして豊後(大分県)の戦国大名の大友氏と戦い，戦局は有利に進んでいた。しかし，大友氏が豊臣秀吉に助けを求めたため，豊臣秀吉の軍勢に攻め込まれることになって戦局は一変し，降伏を余儀なくされたが，領土を安堵された。

イ 島津氏は，将軍から薩摩，大隅，日向の３か国の守護に任じられ，国内の軍事や警察の権限を与えられた。モンゴル軍が襲来してくると，領国内の御家人を率いて参戦し，大いに活躍して武功を挙げたが，さらなる襲来に備えて警護する番役が重い負担となった。

ウ 後醍醐天皇が吉野に逃れて立てた南朝とは別に，足利尊氏が京都に別の朝廷を立てたことから，二つの朝廷が並び立つ南北朝の動乱が起こり，島津氏は，北朝側について九州の南朝側勢力と争った。しかし，その後，島津家も二つに分裂して互いに抗争を繰り広げた。

エ 将軍家のあとつぎ問題をめぐって有力守護大名の細川氏と山名氏が対立し，京都を中心に10年以上も戦いが続く応仁の乱が起こった。島津氏は，東軍に属したが出陣はせず，京都から避難した学者を受け入れたため，鹿児島で薩南学派がおこった。

〔問２〕(2)江戸時代の薩摩藩は石高73万石で，前田氏の加賀藩の103万石に次いで全国で２番目の石高を持つ有力な外様大名となった。とあるが，薩摩藩は，1609年に武力で琉球王国を支配し，検地を行って年貢などを取り立てた。次のページのⅠの資料は，琉球から江戸へ向かう使節の様子を示したものである。Ⅱの資料は，薩摩藩が琉球王国に出したきまりの一部を示したものである。Ⅰの資料の使節はどのようなときに送られた使節か，また，江戸時代の琉球の貿易はどのように行われていたか，薩摩藩との関係に着目して，簡単に述べよ。

Ⅰ



Ⅱ

1．薩摩藩が許可した以外の品物を中国から買ってきてはならない。

6．薩摩藩の許可がない商人を受け入れてはいけない。

13．琉球から他国(他藩)へ貿易船を出してはいけない。

14．日本の枡(ます)以外用いてはいけない。

〔問３〕 大日本帝国憲法発布のときの内閣総理大臣である黒田清隆(くろだきよたか)など，新政府の中心となる人物を輩出(3)した。とあるが，次の**ア**～**エ**は，黒田清隆内閣以降の内閣に関する出来事について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア　米価が急騰したことに対して米騒動が起こったことから藩閥(はんばつ)の寺内正毅(てらうちまさたけ)内閣が総辞職し，衆議院第一党の立憲政友会(りっけんせいゆうかい)の総裁の原敬(はらたかし)が，本格的な政党内閣を組織した。

イ　護憲を掲げた三つの政党が選挙で多数を占め，最も議席の多い憲政会(けんせいかい)の総裁の加藤高明(かとうたかあき)が内閣を組織し，満 25 歳以上の男子全員に選挙権を与える普通選挙法を成立させた。

ウ　近衛文麿(このえふみまろ)内閣が，総力戦のために「挙国一致」を唱えて新体制をつくる運動を進めると，ほとんどの政党や政治団体は解散して，新たに結成された大政翼賛会(たいせいよくさんかい)に合流した。

エ　満州事変(まんしゅうじへん)に対して，中国との話し合いによる解決を探っていた犬養毅(いぬかいつよし)首相が，海軍の青年将校らに暗殺される五・一五事件が起こり，政党内閣の時代が終わった。

〔問４〕 日本海海戦のときの連合艦隊司令長官である東郷平八郎(とうごうへいはちろう)も薩摩藩出身である。(4)とあるが，次のⅠの略年表は，近代の文化や社会の主な出来事をまとめたものである。Ⅱの文章は，日本海海戦に関する出来事について述べたものである。Ⅱの文章で述べている出来事が起こった時期に当てはまるのは，Ⅰの略年表中の**ア**～**エ**のうちのどれか。

Ⅰ

年代	近代の文化や社会の主な出来事	
1871	● 郵便制度が始まる。	ア
1873	● 太陽暦が採用される。	
1883	● 鹿鳴館がつくられる。	イ
1890	● 教育勅語が出される。	
1897	● 志賀潔が赤痢菌を発見する。	ウ
1906	● 主な鉄道が国有化される。	
1911	● 『青鞜』が創刊される。	エ
1923	● 関東大震災が起こる。	
1925	● ラジオ放送が開始される。	

Ⅱ

日本海海戦には勝利を収めたが，日本の兵力や戦費は底をつき始め，戦争の継続が困難になっていたため，アメリカ大統領の仲介でポーツマス条約が結ばれて戦争は終わった。この条約で日本は，韓国での優越権を認められたほか，旅順(リョジュン)，大連(ターリエン)の租借(そしゃく)権や，樺太(からふと)の南半分などを獲得した。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

仏教は，６世紀半ばに朝鮮半島の百済（くだら／ペクチェ）から日本に伝えられたといわれている。(1)以来，仏教は我が国の政治や文化に多大な影響を与えてきた。

古代には，我が国の僧が中国に留学したり，中国の高僧が我が国を訪れたりすることがあった。(2)中国の進んだ文化を学んだ僧は，文化の担い手ともなった。江戸時代には，キリスト教を禁止する目的の下，庶民が寺院の檀家（だんか）となることを義務付ける制度もつくられた。(3)一方で，儒学も重視され，儒学者の意見が政治に取り入れられたり，中国の儒学の古典が研究されたりもした。

(4)明治時代になると，神道を国家の宗教とすることが国策となった。そのために，神社から仏教の要素を排除しようと神仏分離令が出されると，仏教施設が破壊されるような出来事もあった。

現代でも仏教は，冠婚葬祭や年中行事など，私たちの生活に深く根付いた宗教となっている。

〔問１〕(1)以来，仏教は我が国の政治や文化に多大な影響を与えてきた。とあるが，次の**ア**～**エ**は，飛鳥時代から平安時代にかけての，我が国の仏教と政治との関わりについて述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア 比叡山（ひえいざん）などで修行をしていた最澄（さいちょう）は，桓武（かんむ）天皇に願い出て遣唐使（けんとうし）船で唐（とう）に渡り，帰国後に天台宗（てんだいしゅう）を開いた。

イ 推古（すいこ）天皇の摂政（せっしょう）となった聖徳太子（しょうとくたいし）は，仏教を重んじることなどを十七条の憲法に示し，また，現存最古の木造建築とされる法隆寺（ほうりゅうじ）を創建した。

ウ 浄土（じょうど）信仰が広まりを見せる中，関白（かんぱく）として政治の中枢にあった藤原頼通（ふじわらのよりみち）は，宇治（うじ）の別荘を寺に改めて平等院（びょうどういん）とし，鳳凰堂（ほうおうどう）と呼ばれる阿弥陀（あみだ）堂を建立した。

エ 法相宗（ほっそうしゅう）の僧であった行基（ぎょうき）は，灌漑（かんがい）施設や橋の建設などの社会福祉事業を行い，聖武（しょうむ）天皇から大僧正（だいそうじょう）に任ぜられて大仏の造立に協力した。

〔問２〕(2)中国の進んだ文化を学んだ僧は，文化の担い手ともなった。とあるが，次のⅠの略年表は，室町時代から江戸時代にかけての，我が国の文化に関する主な出来事についてまとめたものである。Ⅱの文章は，ある時期に活躍した人物について述べたものである。Ⅱの文章で述べている人物が活躍した時期に当てはまるのは，Ⅰの略年表中の**ア**～**エ**の時期のうちのどれか。

Ⅰ

西暦	我が国の文化に関する主な出来事	
1397	●足利義満（あしかがよしみつ）が金閣（きんかく）を建てた。	ア
1469	●中国から雪舟（せっしゅう）が帰国した。	イ
1549	●フランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸し，キリスト教を伝えた。	ウ
1601	●池田輝政（いけだてるまさ）が姫路城（ひめじじょう）の改築を始めた。	エ
1702	●松尾芭蕉（まつおばしょう）の「おくの細道」が刊行された。	

Ⅱ

○堺（さかい）の町衆（ちょうしゅう／まちしゅう）であったこの人物は，質素なわび茶の作法を完成させ，茶の湯を茶道へと高めた。

○織田信長（おだのぶなが）や豊臣秀吉（とよとみひでよし）に仕えたが，秀吉に自害を命じられた。

〔問３〕(3)一方で，儒学も重視され，儒学者の意見が政治に取り入れられたり，中国の儒学の古典が研究されたりもした。とあるが，次の文章は，江戸時代に，ある儒学者が発した文書の一部を分かりやすく示したものである。この文書を発した儒学者に当てはまるのは，下の**ア**～**エ**のうちのどれか。

> 今，上に立つ者はおごって，財産を増やすことしか考えず，わいろを公然と受け，民には年貢以外に金を要求している。そのため，民は苦しみ幕府をうらんでいる。最近，災害が続き米価が高騰しているのに，大阪町奉行（ぶぎょう）らは民の苦しみを救わず，金持ちの町人はぜいたくを楽しんでばかりいる。そこで我らは，民を苦しめる役人や金持ちの町人どもを討ちほろぼし，その財産を貧しい人々に分配したいと思う。だから，みな大阪にかけつけてほしい。我らは，神武（じんむ）天皇がなされたように，民にやさしい政治を行い，民が安らかに暮らせる世の中にしたいのだ。

ア　松平定信（まつだいらさだのぶ）　　**イ**　新井白石（あらいはくせき）　　**ウ**　渡辺崋山（わたなべかざん）　　**エ**　大塩平八郎（おおしおへいはちろう）

〔問４〕(4)明治時代になると，神道を国家の宗教とすることが国策となった。とあるが，次の略年表は，明治時代から昭和時代にかけての，我が国の神道や国策に関する主な出来事についてまとめたものである。略年表中の**A**の時期に当てはまるのは，下の**ア**～**エ**のうちではどれか。

西暦	我が国の神道や国策に関する主な出来事
1868	● 五箇条の御誓文が出され，天皇が神に誓う形で新政府の方針が示された。
1889	● 大日本帝国憲法が発布され，万世一系の天皇が国を統治することが定められた。
1910	● 幸徳秋水（こうとくしゅうすい）らが天皇の暗殺を企てたとして逮捕された。
1925	● 天皇主権の国の体制を変えようとする社会主義の動きなどに対し，治安維持法が制定された。
1945	● 神道指令によって，国家神道の廃止などが指示された。

A

ア　南下政策をとるロシアに対抗するために，中国での利権を確保しようとしていたイギリスとの間で日英同盟を締結した。

イ　戦争が激化する中，国力の全てを戦争に注ぎ込むために国家総動員法が制定され，全ての政党が解散して大政翼賛会が組織された。

ウ　西洋の文明を取り入れる必要性から，外務卿の井上馨（いのうえかおる）は鹿鳴館（ろくめいかん）を建設して舞踏会を行うなど，欧化政策に取り組んだ。

エ　ロシアで社会主義勢力が台頭し，革命が進行したため，各国と協調して，この革命に干渉するためにシベリアに出兵した。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

我が国の政治制度を振り返ってみると，複数の人々の協議によって意思決定が行われるしくみがとられることが多かった。例えば，律令制度では，太政官という意思決定機関において，左大臣や右大臣，大納言などの貴族の協議(1)により，政策の方針が決定されていた。また，江戸幕府においても，将軍を補佐する老中には複数人が任命されていて，若年寄などと協議(2)して政治が進められていた。

近代以降の国際社会においては，複数の国家による協議の重要性が高まっている。戦争の終結時に，賠償金や領土の割譲などを話し合う国際会議が開かれ，条約という形で各国を拘束(3)した。現代社会においては，国際連合などで行われる国際政治は，各国の協調と合意に基づいて進められ，様々な会議が各地で開催(4)されたり，条約が結ばれたりしている。

〔問１〕 律令制度では，太政官という意思決定機関において，左大臣や右大臣，大納言などの貴族の協議(1)により，政策の方針が決定されていた。とあるが，律令制度に基づいた政治が行われていたうちの，奈良時代の文化の様子について述べているのは，次の**ア**～**エ**のうちではどれか。

ア 後鳥羽上皇の命を受けて，藤原定家らが西行や鴨長明らの歌を収めた『新古今和歌集』を編集し，兼好法師は『徒然草』という随筆を著して，いきいきとした民衆の姿をとりあげた。

イ 日本の国のおこりなどを明らかにするために，神話や伝承，記録などをもとに『古事記』や『日本書紀』がつくられ，地方の国ごとに自然や産物，伝説などを記した『風土記』がまとめられた。

ウ 井原西鶴は，『日本永代蔵』などの浮世草子と呼ばれる小説に町人の生活を描き，松尾芭蕉は，俳句を和歌と同等の芸術に高め，東北地方などへの旅をもとに『奥の細道』をつくった。

エ かな文字の発達によって，自分の考えや感情をより自由に書き表せるようになり，宮中に仕える女性である清少納言は『枕草子』という随筆を，紫式部は『源氏物語』を著した。

〔問２〕 江戸幕府においても，将軍を補佐する老中には複数人が任命されていて，若年寄などと協議(2)して政治が進められていた。とあるが，次のⅠの文章は，ある老中が行った政治について述べたものである。Ⅰの文章で述べている政治が行われた時期に当てはまるのは，Ⅱの略年表中の**ア**～**エ**のうちのどれか。

Ⅰ

この老中は，倹約令を出して町人の派手な風俗を取り締まり，物価の上昇を抑えるために株仲間の解散を命じた。さらに，江戸と大阪の周辺の土地を幕領にしようとしたが，大名や旗本の強い反対にあい，老中をやめさせられた。

Ⅱ

年代	江戸時代の主な出来事	
1603	●徳川家康が江戸幕府を開く。	ア
1680	●徳川綱吉が５代将軍になる。	イ
1742	●公事方御定書が完成する。	ウ
1837	●大塩平八郎の乱が起こる。	エ
1867	●大政奉還が行われる。	

〔問３〕 戦争の終結時に，賠償金や領土の割譲(3)などを話し合う国際会議が開かれ，条約という形で各国を拘束した。とあるが，右のⅠとⅡの表は，ある国で起こった経済の混乱による物価上昇(インフレーション)の様子を示したものである。この物価上昇は，ある戦争の講和条約で課せられた賠償金の支払いなどが原因となって起こった。この戦争について述べているのは，次の**ア**～**エ**のうちではどれか。

Ⅰ 卸売物価指数の推移

年	指数
1914年	74
1915年	99
1916年	106
1917年	125
1918年	152
1919年	291
1920年	1,040
1921年	1,338
1922年	23,927
1923年	11,634,000

Ⅱ 1923年のパン1kgの価格

月	マルク
1月	250
2月	389
3月	463
4月	474
5月	482
6月	1,428
7月	3,465
8月	69,000
9月	1,512,000
10月	1,743,000,000
11月	201,000,000,000
12月	399,000,000,000

(「ヨーロッパ歴史統計」などより作成)

ア　ヨーロッパの火薬庫と呼ばれたバルカン半島で，オーストリアの皇太子夫妻が暗殺されたサラエボ事件をきっかけに，イギリス，フランス，ロシアなどの三国協商側とドイツ，オーストリアなどの三国同盟側との間で，戦争が始まった。

イ　中国の北京で起こった義和団事件以降，満州への進出を強めるロシアに対し，朝鮮における権益を守ろうとする日本は，同じくロシアの南下政策を警戒するイギリスと日英同盟を結び，その後，ロシアとの戦争を始めた。

ウ　日本の植民地支配から解放された後，北緯38度線を境に南北に分断された朝鮮半島で，北に成立した朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)が，朝鮮統一をはかって南に成立した大韓民国(韓国)に侵攻して，戦争が始まった。

エ　ヒトラーの率いるナチスが政権を握ったドイツは，周辺地域の併合を進めていき，ソ連との間で不可侵条約を結んだ後，ポーランドに侵攻したが，これに対して，イギリスやフランスがドイツに宣戦を布告して，戦争が始まった。

〔問４〕 国際連合などで行われる国際政治は，各国の協調と合意に基づいて進められ，様々な会議が各地(4)で開催されたり，条約が結ばれたりしている。とあるが，次の**ア**～**エ**は，国際的に重要な合意や決定がなされた会議について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア　日本で自由民主党と日本社会党による政治体制が始まった年に，インドネシアのバンドンで29か国が参加してアジア・アフリカ会議が開催され，植民地支配の反対や平和共存を訴えた。

イ　国際連盟が発足した翌年，アメリカの呼びかけでワシントン会議が開かれ，海軍の軍備の制限や太平洋地域の現状維持，中国の独立と領土の保全などが確認された。

ウ　冷戦の象徴であった「ベルリンの壁」が取り払われた年に，アメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ書記長が地中海のマルタ島で会談し，冷戦の終結が宣言された。

エ　第四次中東戦争が原因となって石油危機が起こると，その翌々年に，石油危機による世界的な不況などについて話し合うため，第1回の先進国首脳会議(サミット)が開催された。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

我が国の文化は海外の文化を取り入れながらも，独自の発展をとげた。古代には，(1)大陸の文化を摂取し，支配者である天皇や貴族による文化が栄えた。この時期の文化は仏教と深く関係しているが，(2)我が国固有の自然崇拝や多神教信仰，神道などと結び付きながら，独自の仏教文化が展開された。中世には，(3)支配者となった武士の気風を反映した力強く簡素な文化が栄えた。その中で，禅宗とともに伝えられた茶や建築様式は我が国ならではの趣向が加えられ，現代に受け継がれている。近世になると，ヨーロッパからもたらされた武器や宗教は我が国の政治と社会に多大な影響を与えることとなった。(4)江戸幕府が鎖国を行ったため海外との交流は限定的となり，そのことが国内での産業や文化の独自の発展を後押しすることとなった。

〔問１〕(1)大陸の文化を摂取し，支配者である天皇や貴族による文化が栄えた。とあるが，次の**ア**～**エ**は，飛鳥時代から平安時代にかけての天皇や貴族の政治について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア 藤原不比等は，天皇の命令を受けて刑部親王らとともに中国の法典を土台として大宝律令を編纂し，律令国家の建設に力を尽くした。

イ 白河天皇は，天皇を退いた後も院政を行い治天の君と呼ばれたが，「賀茂河の水，双六賽，山法師，是ぞわが心にかなわぬもの」と語ったとされる。

ウ 桓武天皇は，律令制度の再建のため，班田収授の励行を命じるとともに出挙の利率や雑徭の日数を軽減して農民の負担を省き，勘解由使を設置して国司への監督を強化した。

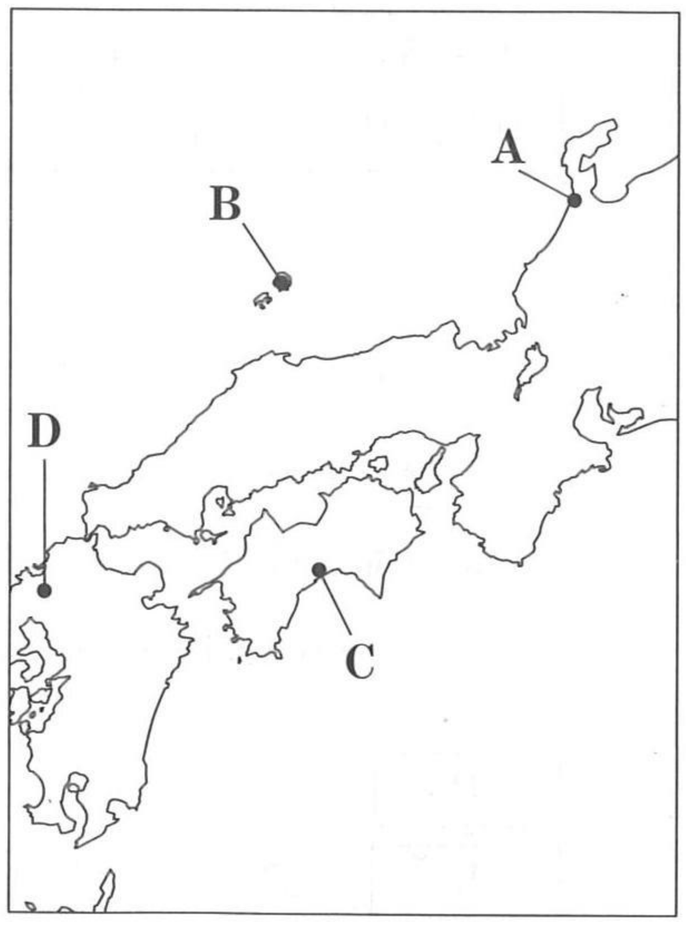
エ 壬申の乱に勝利した大海人皇子は即位して天武天皇となり，八色の姓を定めて位階序列を徹底するとともに富本銭の鋳造や史書の編纂などを通じて天皇権力の強化を図った。

〔問２〕(2)我が国固有の自然崇拝や多神教信仰，神道などと結び付きながら，独自の仏教文化が展開された。とあるが，次のⅠの略年表は，古代における我が国の仏教に関する出来事についてまとめたものである。Ⅱの略地図中の**A**～**D**は，我が国の主な歴史上の出来事が起こった場所を示したものである。次のページのⅢの文章は，ある時期の我が国の政治・外交をめぐる動きについて述べたものである。Ⅲの文章で述べている中国への使節の停止が決まった時期に当てはまるのは，Ⅰの略年表中の**ア**～**エ**の時期のうちではどれか。また，Ⅲの文章で述べている大宰府の所在地に当てはまるのは，Ⅱの略地図中の**A**～**D**のうちのどれか。

Ⅰ

西暦	我が国の仏教に関する出来事	
6世紀中ごろ	●百済の聖明王が仏像と仏教の経典を伝えた。	ア
743	●聖武天皇が東大寺の盧舎那仏像(大仏)造立の詔を出した。	イ
821	●讃岐国満濃池の修築別当に補任された空海が満濃池の修築を完成させた。	ウ
951	●空也が十一面観音を本尊とする西光寺(六波羅蜜寺)を開いた。	エ
1053	●藤原頼通が阿弥陀如来坐像を安置した鳳凰堂を建立した。	

Ⅱ



Ⅲ

聖徳太子(厩戸王)が中国に使節を派遣してから200年以上が経っていた当時，中国本土では地方での大規模な農民の反乱(黄巣の乱)が起こるなど，中央集権体制に衰えが見えていた。

そのような中，菅原道真の建議により中国への使節の停止が決まった。道真は朝廷内で昇進を続け発言権を増していたが，藤原氏の中傷により大宰府に左遷されその地で没した。

〔問3〕(3)支配者となった武士の気風を反映した力強く簡素な文化が栄えた。とあるが，右の文章は，ある一族について書いた物語の一節を現代語に直したものである。この一族が行ったことについて述べているのは，次のア～エのうちではどれか。

…六波羅殿のご一家の子弟・子女と言えば摂関家でさえも肩を並べ顔を向けられる者はいなかった。そこで入道相国の妻の兄である大納言時忠卿は「この一門にあらざる者は人にあらず」と豪語するほどであった。…(中略)…日本はわずかに六十六か国であるが，そのうち三十以上の国がこの一門のものとなっており，この一門の荘園や田畑も数知れない。…　(「平家物語」より)

ア　東国出身の豪族の一族で，後醍醐天皇の挙兵に応じて倒幕に功績を上げたが，その後武家政治の再興をめざして兵を挙げた。

イ　一族が幕府の将軍を補佐する執権に代々就任して，幕府の最高実力者として政治の実権をにぎり，全国の守護の半数以上をこの一族で占めるようになった。

ウ　武士団の一方の棟梁であった源氏を平治の乱で退けるとともに，自身の娘を天皇の后として天皇家と外戚関係を結び，政治の実権をにぎった。

エ　仏教導入をめぐって対立した一族をほろぼして権勢を強めると，推古天皇を立ててその甥である人物とともに天皇中心の国家づくりを進めた。

〔問4〕(4)江戸幕府が鎖国を行ったため海外との交流は限定的となり，そのことが国内での産業や文化の独自の発展を後押しすることとなった。とあるが，右の略年表は，鎌倉時代から江戸時代にかけての，我が国の文化に関する主な出来事をまとめたものである。略年表中のBの時期に当てはまるのは，次のア～エのうちではどれか。

西暦	我が国の文化に関する主な出来事	
1260	●日蓮が「立正安国論」を著して他宗や幕府を攻撃し，翌年伊豆に流された。	A
1495	●雪舟が墨一色で自然の景観を描いた「秋冬山水図」を完成させた。	B
1636	●金56万両，銀百貫匁，米千石をかけ，日光東照宮が建造された。	C
1833	●歌川(安藤)広重が宿場町の様子を描いた「東海道五十三次」を完成させた。	D
1852	●小林一茶の俳句・俳文に挿絵をまじえた「おらが春」が刊行された。	

ア　元大阪町奉行所の与力で陽明学者の大塩平八郎が，門弟や近隣の豪農を率いて決起し，鴻池家などの豪商の蔵を打ち壊して，金や米をききんに苦しむ窮民に与えた。

イ　豊臣秀吉の死後，政権内部での対立に端を発し，各地の大名が徳川家康の率いる東軍と石田三成を中心とする西軍に分かれ，美濃国(現在の岐阜県)関ヶ原で激しく戦った。

ウ　摂津国湊川(現在の兵庫県神戸市)で，建武の新政に反旗を翻した足利尊氏・直義軍と楠木正成・新田義貞軍が戦い，戦いに敗れた楠木正成が自害に追い込まれた。

エ　九州の島原半島南部と天草諸島のキリシタンの農民が中心となり，藩の厳しいキリスト教弾圧と重税に抗議して武力蜂起したが，鎮圧された。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

埼玉県秩父市に和銅という地名がある。これは富本銭が見つかるまで日本最古の貨幣とされていた和同開珎制作のために，この地で産出された銅をはるばる都まで献上したことが由来という。貨幣の製造は国が一括して行うことが多いが，我が国では，(1)海外から流入した貨幣を主に使用した時代もあった。江戸幕府は，金座や銀座を管理監督下に置き，勘定奉行のもとで貨幣の製造を行っていたが，(2)財政難の解消のために貨幣の改鋳を行うこともあった。明治になると日本銀行が設立され，国家が紙幣を発行することになったが，(3)不景気や戦争による戦費の調達などのために，紙幣の発行量の調節に苦慮することもたびたびあった。戦後，国際経済のグローバル化が進展する中で，世界経済をリードするアメリカの通貨のドルが国際通貨として広く使われるようになったが，(4)様々な国際情勢の変化により，ドルの価値も日々変動し，世界経済に大きな影響を与えている。

〔問１〕(1)海外から流入した貨幣を主に使用した時代もあった。とあるが，次の**ア**～**エ**は，我が国と外国との貿易に関する出来事について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア 平戸や堺に来航したスペイン人やポルトガル人との貿易が行われた。当時世界最大級の産出量を誇っていた銀が日本から輸出され，鉄砲・火薬・時計・ガラス製品などが輸入された。

イ 朝貢という形式を取り，正式な貿易船の証明のために勘合という合い札を用いた。日本からは刀剣・硫黄・銅・漆器などを輸出し，主な輸入品は銅銭・生糸・書画・陶磁器などであった。

ウ 長崎に限定してオランダと中国を相手に貿易が行われた。特にオランダとの貿易は出島と呼ばれた人工島で行われ，銅・銀・俵物などが主に輸出され，生糸や絹織物などが主に輸入された。

エ 二つの戦乱に勝利し，武士として初めて太政大臣となった人物が中心となり，貿易が行われた。大輪田泊という港の修築や瀬戸内海の航路の整備が行われ，銅銭が輸入された。

〔問２〕(2)財政難の解消のために貨幣の改鋳を行うこともあった。とあるが，次のⅠの文章は，江戸時代に行われた貨幣の改鋳について述べたものである。Ⅰの文章で述べている出来事が起こった時期に当てはまるのは，江戸時代の主な出来事についてまとめたⅡの略年表中の**ア**～**エ**の時期のうちではどれか。

Ⅰ

身分の上下を重視する朱子学に基づく文治政治が行われたが，寺院の建立などで多額の出費がかさみ，幕府の財政が逼迫した。この財源の確保のために質を落とした貨幣を発行したことから物価が上昇し，庶民の反発を招いた。また，極端な動物愛護を命じる生類憐みの令も出され，庶民を苦しめた。

Ⅱ

西暦	江戸時代の主な出来事
1603	●徳川家康が征夷大将軍となる。
1635	●参勤交代が義務化される。
1716	●徳川吉宗が享保の改革を始める。
1787	●松平定信が寛政の改革を始める。
1841	●水野忠邦が天保の改革を始める。

ア：1603～1635　イ：1635～1716　ウ：1716～1787　エ：1787～1841

〔問３〕 (3)不景気や戦争による戦費の調達などのために，紙幣の発行量の調節に苦慮することもたびたびあった。とあるが，次の文章は，ある時期に日本で発生した不景気の様子について述べたものである。この文章で述べている時期に起こった出来事について述べているのは，下のア～エのうちではどれか。

> 関東南部を中心にマグニチュード 7.9 の大地震が起こり，大きな被害が出た。このとき発行された手形の取り引きをめぐって金融不安が広まり，不安に駆られた預金者が銀行に押しかける取りつけ騒ぎが頻発した。政府は，全国の銀行に一斉休業を命じ，銀行が保有する紙幣の不足を補うため，急遽(きゅうきょ)大量の紙幣を印刷したが，裏面が印刷されていない紙幣も出回る事態となった。

ア　第二次護憲運動の結果成立した加藤高明(かとうたかあき)内閣は，満 25 歳以上の男子全員に選挙権を与える普通選挙法を成立させたが，同時に社会主義運動を取り締まる治安維持法も成立させた。

イ　北京(ペキン)郊外の盧溝橋(ろこうきょう)で起こった日本軍と中国軍との衝突がきっかけとなって日中戦争が始まり，翌年には首都南京(ナンキン)を日本軍が占領したが，その後も戦いは続き，戦争は長期化した。

ウ　産業革命が進展し，綿織物の輸出量が輸入量を上回ったり，八幡(やはた)製鉄所が設立されて操業を始めたりしたが，一方で，劣悪な労働環境が問題視され，工場法が制定された。

エ　政府のデフレ政策によって，特に農村で米や繭(まゆ)の価格が下落して不景気が広がり，埼玉県の秩父では，自由党員の指導の下，「困民党(こんみんとう)」が蜂起して高利貸しや地主を襲う事件が起こった。

〔問４〕 (4)様々な国際情勢の変化により，ドルの価値も日々変動し，世界経済に大きな影響を与えている。とあるが，次の略年表は，昭和から平成にかけてのアメリカに関する出来事をまとめたものである。略年表中の X の時期の出来事について述べているのは，下のア～エのうちではどれか。

西暦	昭和から平成にかけてのアメリカに関する出来事
1949	● 北大西洋条約機構(NATO)が結成される。
1954	● アメリカがビキニ環礁で水爆実験を行う。
1962	● キューバ危機が起こる。
1972	● ニクソン大統領が中国を訪問する。
1979	● アメリカと中国の国交が正常化される。
1987	● アメリカとソ連が中距離核戦力全廃条約に調印する。
1989	● アメリカとソ連の首脳がマルタで会談し，冷戦の終結を宣言する。
2008	● アメリカでリーマンショックが起こり，世界金融危機に発展する。

（X：1962 ～ 1979）

ア　イラクのクウェート侵攻に対し，アメリカを中心に多国籍軍が結成されて湾岸戦争が起こった。

イ　岸信介(きしのぶすけ)首相による日米安全保障条約の改定をめぐり，安保闘争と呼ばれる反対運動が起こった。

ウ　北朝鮮が韓国に侵攻して朝鮮戦争が始まると，アメリカを中心とする国連軍が韓国を支援した。

エ　ベトナム戦争に本格的に介入していたアメリカ軍が，北ベトナム軍の抵抗に敗れて撤退した。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

人やモノの移動は，人々に未知の新しい世界を知らしめ，文明の発展に大きな貢献をしてきた。(1)古い時代にも人々の移動によって異なる文化が混じり合い，これにより新しい時代が開かれてきたのである。日本でも，ヨーロッパ人の相次ぐ来航によって刺激を受けた大名が家臣を使節として海外に派遣し，また，(2)鎖国が続いた江戸時代には，開かれた交通路をたどって日本近海に現れた外国船が，幕府に大きな動揺を与えた。近代の産業革命以降，陸上における物資やモノの移動の主役は鉄道となった。明治政府の支援もあり，(3)潤沢な資金を持つ資本家が，次々と鉄道網を拡充させていった。戦後，新幹線など高速交通鉄道網，高速道路などのインフラ整備は国の長期計画に基づいて急ピッチで行われた。交通インフラの整備は，(4)国土の総合的利用，開発及び保全，長期的かつ国民経済的視点に立つ国土総合開発の一環として行われたのである。

〔問1〕(1)古い時代にも人々の移動によって異なる文化が混じり合い，これにより新しい時代が開かれてきたのである。とあるが，次の**ア**～**エ**は，人やモノの新たな移動経路が開かれた出来事について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア 中央アジアまで領土を拡大した漢によって，シルクロードと呼ばれた西方との交通路が整備されたため，様々な人やモノが行き来した。これにより絹織物や仏教などが広がっていった。

イ フランス革命後の混乱をおさめて皇帝となったナポレオンは，ヨーロッパの大部分を征服するとともに自由や平等などの思想を広め，これが各国の民族意識が高まるきっかけとなった。

ウ キリスト教の聖地エルサレムをイスラム教勢力から奪還するために，十字軍がたびたび派遣された。奪還には失敗したものの，イスラムの進んだ科学技術がヨーロッパにもたらされた。

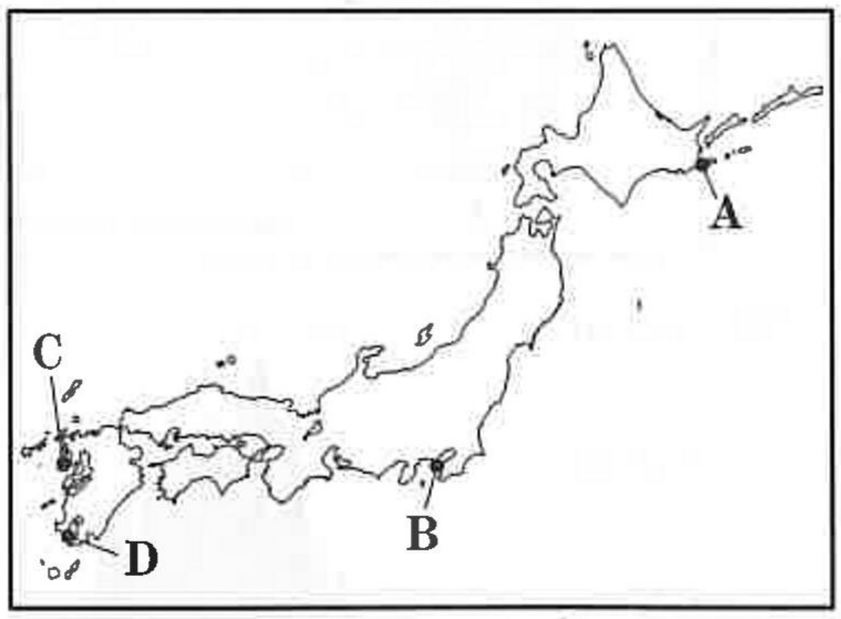
エ 羅針盤などの航海技術の発達もあって，コロンブスやバスコ・ダ・ガマ，マゼランなどの探検家が次々と新しい航路を切り開き，ヨーロッパと外の世界がつながる大航海時代が始まった。

〔問2〕(2)鎖国が続いた江戸時代には，開かれた交通路をたどって日本近海に現れた外国船が，幕府に大きな動揺を与えた。とあるが，次のⅠの略年表は，江戸時代の政治に関する出来事をまとめたものである。Ⅱの略地図中の**A**～**D**は，江戸時代に外国船が来航した場所を示したものである。Ⅲの文章は，**A**～**D**の**いずれか**の場所に来航した外国人について述べたものである。Ⅲの文章で述べている人物が来航したのは，Ⅰの略年表中の**ア**～**エ**の時期のうちではどれか。また，その人物が来航した場所は，Ⅱの略地図中の**A**～**D**のうちのどれか。

Ⅰ

西暦	江戸時代の政治に関する出来事	
1603	●徳川家康が征夷大将軍となる。	ア
1716	●徳川吉宗が享保の改革を始める。	イ
1787	●松平定信が寛政の改革を始める。	ウ
1841	●水野忠邦が天保の改革を始める。	エ
1867	●徳川慶喜が大政奉還を行う。	

Ⅱ



Ⅲ

ロシア皇帝にも謁見した日本の漂流民の大黒屋光太夫を連れて，ロシアの使節のラクスマンが来航し，幕府に通商を求めてきた。幕府はこれを断り，ロシアの進出に対抗するために，蝦夷地の沿岸の警備や北方の探検に力を入れるようになった。

〔問３〕 (3)潤沢な資金を持つ資本家が，次々と鉄道網を拡充させていった。とあるが，次の文章は，1906年に制定された鉄道国有法の条文の一部である。この法律が制定された前後の政治の出来事について述べているのは，下のア～エのうちではどれか。

> 第１条　一般運送ノ用ニ供スル鉄道ハ総テ国ノ所有トス。但シ一地方ノ交通ヲ目的トスル鉄道ハ此ノ限リニ在ラス。

ア　衆議院で第一党となった立憲政友会総裁の西園寺公望と，長州藩出身で藩閥の桂太郎とが交互に内閣を組織した。

イ　第二次護憲運動の結果，護憲派の政党の連立によって加藤高明内閣が成立し，25歳以上のすべての男子に選挙権を与える普通選挙法が制定された。

ウ　満州事変の後に満州国が成立したが，満州国の承認に反対していた犬養毅首相が，海軍の青年将校らに暗殺される五・一五事件が起こり，政党内閣が中断した。

エ　藩閥の寺内正毅内閣が米騒動によって退陣すると，原敬が，ほとんどの大臣を立憲政友会の党員とする政党内閣を組織した。

〔問４〕 (4)国土の総合的利用，開発及び保全，長期的かつ国民経済的視点に立つ国土総合開発の一環として行われたのである。とあるが，次の略年表は，昭和時代から平成時代にかけての国土開発などに関する出来事についてまとめたものである。略年表中のA～Dのそれぞれの時期に当てはまるのは，下のア～エのうちではどれか。

西暦	我が国の国土開発などに関する出来事	
1950	● 国土総合開発法が制定される。	A
1962	● 全国総合開発計画が閣議決定される。	
1964	● 東京・新大阪間に東海道新幹線が開通する。	B
1969	● 新全国総合開発計画が閣議決定される。	
1977	● 第三次全国総合開発計画が閣議決定される。	
1978	● 新東京国際空港(現成田国際空港)が開港する。	C
1987	● 第四次全国総合開発計画が閣議決定される。	
1988	● 瀬戸大橋が開通する。	
1998	● 21世紀の国土のグランドデザインが閣議決定される。	D
2005	● 国土総合開発法を改正し，国土形成計画法が制定される。	
2015	● 国土形成計画(全国計画)が閣議決定される。	

ア　佐藤栄作首相がアメリカと沖縄返還協定を結んで沖縄の日本復帰を実現し，田中角栄首相が中華人民共和国と日中共同声明を発表して国交を正常化した。

イ　自民党と共産党を除く党派が，細川護熙を内閣総理大臣とする連立内閣を組織し，自由民主党を与党，日本社会党を野党とする55年体制が終わった。

ウ　アメリカが，大量破壊兵器を保有しているとしてイラクを攻撃すると，我が国は，イラク復興支援特別措置法を制定し，人道復興支援を目的に自衛隊をイラクに派遣した。

エ　鳩山一郎内閣によって，北方領土問題は未解決のまま日ソ共同宣言が調印されてソ連との国交が回復し，ソ連の支持も受けて，我が国の国際連合加盟が認められた。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

日本ははるか昔から，諸外国との交流を通して政治や文化を発展させてきた。(1)古代～中世までの日本では，主に中国や朝鮮半島が交流の中心となっており，稲作をはじめとする様々なものが日本にもたらされた。その後，(2)南蛮人と呼ばれたポルトガル人やスペイン人が来日するようになり，キリスト教などのヨーロッパの文化が伝わってきた。江戸時代には，鎖国と呼ばれる体制がとられ，海外との交流は極端に制限されていたが，(3)幕末のペリー来航をきっかけに開国し，明治時代以降，欧米の文化や制度を取り入れて近代化を進めていった。太平洋戦争では多くの国と戦火を交え，敗戦によって占領下に置かれたが，(4)1951 年に，サンフランシスコ平和条約を西側諸国と結び，1956 年にはソ連と国交を回復して国際連合に加盟し，国際社会に復帰した。

〔問１〕(1)古代～中世までの日本では，主に中国や朝鮮半島が交流の中心となっており，稲作をはじめとする様々なものが日本にもたらされた。とあるが，次の**ア**～**エ**は，古代～中世に，中国や朝鮮半島からもたらされたものについて述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア　明との間で，勘合を使った朝貢形式での貿易が行われ，日本は明から銅銭や生糸，絹織物，陶磁器，書画などを大量に輸入し，特に銅銭は，日本の貨幣経済の発展に大きく寄与した。

イ　日本に一族で移り住んできた渡来人によって，高温で焼く，かたく黒っぽい土器である須恵器や鉄製の農具，ため池をつくる技術や上質の絹織物をつくる技術などが伝えられた。

ウ　正式の国交はなかったものの，宋との間で盛んに交易が行われ，宋で繁栄していた禅宗が日本に伝えられて多くの禅僧が来日し，それにともなって茶や麺類なども日本に伝えられた。

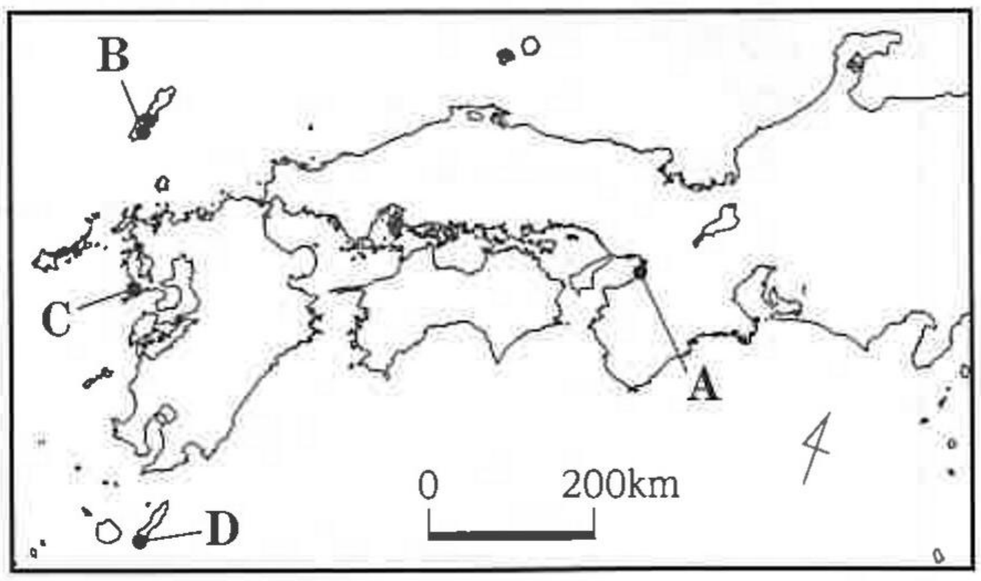
エ　唐の高僧であった鑑真が，仏教の戒律を伝えようと，何度も遭難して盲目となりながらも遣唐使にともなわれて来日を果たし，唐招提寺を建てて正しい仏教の教えを広めた。

〔問２〕(2)南蛮人と呼ばれたポルトガル人やスペイン人が来日するようになり，キリスト教などのヨーロッパの文化が伝わってきた。とあるが，次のⅠの略年表は，中世～近世の主な出来事をまとめたものである。Ⅱの略地図中の **A**～**D** は，海外との交流に関係の深い場所を示したものである。Ⅲの文章で述べている出来事が起こった時期は，Ⅰの略年表中の**ア**～**エ**のうちのどれか。また，Ⅲの文章中の鉄砲が初めて伝来した場所は，Ⅱの略地図中の **A**～**D** のうちのどれか。

Ⅰ

西暦	中世～近世の主な出来事	
1221	●承久の乱が起こる。	ア
1338	●室町幕府が開かれる。	イ
1467	●応仁の乱が起こる。	ウ
1573	●室町幕府が滅びる。	エ
1603	●江戸幕府が開かれる。	

Ⅱ



Ⅲ

イスラム商人が仲介していたために高価だったアジアの香辛料などを直接入手しようと考えたポルトガル人のバスコ・ダ・ガマが，アフリカの喜望峰を回ってインドに到達した。さらに，ポルトガル人は東南アジアにも進出し，この流れの中で日本に初めて鉄砲が伝来した。

〔問３〕 (3)幕末のペリー来航をきっかけに開国し，明治時代以降，欧米の文化や制度を取り入れて近代化を進めていった。とあるが，次の文章は，明治政府が近代化を進める中で，幕末に結ばれた不平等条約の改正に成功した出来事についてまとめたものである。この条約改正に成功した時期の出来事について述べているのは，下の**ア**～**エ**のうちではどれか。

> 外務大臣の陸奥宗光（むつむねみつ）が，イギリスと交渉を重ねた結果，日英通商航海条約を結ぶことに成功して，領事裁判権（治外法権）が撤廃され，関税自主権の一部が認められた。次いで，他の欧米諸国とも同様の条約が結ばれ，５年後に実施された。

ア　朝鮮半島南部で東学（とうがく）を信仰する団体が蜂起したことに対して，その鎮圧のために清（しん）と日本が朝鮮に出兵したことから日清戦争が始まり，日本の勝利に終わって下関（しものせき）条約が結ばれた。

イ　ロシアとの間で樺太（からふと）・千島（ちしま）交換条約を結び，それまで両国雑居の地と定められていた樺太をロシア領とするかわりに，千島列島の全島を日本領とすることで両国の国境を確定した。

ウ　サラエボ事件をきっかけに第一次世界大戦が始まると，日本は日英同盟を理由に連合国側に立って参戦し，中国の山東（さんとう）（シャントン）半島にあるドイツの軍事拠点を攻撃し占領した。

エ　日露戦争の講和条約のポーツマス条約で，韓国における優越権を認められたことを背景に，日本は韓国を保護国として外交権を握り，さらに韓国併合を行って日本の植民地とした。

〔問４〕 (4)1951 年に，サンフランシスコ平和条約を西側諸国と結び，1956 年にはソ連と国交を回復して国際連合に加盟し，国際社会に復帰した。とあるが，次の略年表は，太平洋戦争後の日本と諸外国との関係に関する出来事についてまとめたものである。略年表中の **A** ～ **D** のそれぞれの時期に当てはまるのは，下の**ア**～**エ**のうちではどれか。

西暦	太平洋戦争後の日本と諸外国との関係に関する出来事
1951	● サンフランシスコ平和条約を結び，同時に日米安全保障条約を結ぶ。
1956	● 日ソ共同宣言に調印し，ソ連と国交を回復する。
1965	● 日韓基本条約を結び，韓国政府を朝鮮半島唯一の合法政府と認める。
1978	● 日中平和友好条約を結び，中国との平和友好関係を強化する。
2004	● イラク復興支援特別措置法に基づき，自衛隊をイラクに派遣する。

（**A**：1951 ～ 1956 ／ **B**：1956 ～ 1965 ／ **C**：1965 ～ 1978 ／ **D**：1978 ～ 2004）

ア　アジアやアフリカの 29 か国の代表が，インドネシアのバンドンに集まってアジア・アフリカ会議を開き，民族独立と平和共存を柱とする平和 10 原則を決議した。

イ　ユダヤ人が建国したイスラエルと周辺のエジプトやシリアなどのアラブ諸国との間で，聖地エルサレムなどをめぐって争うパレスチナ問題を背景に，第四次中東戦争が起こった。

ウ　キューバで革命が起こって社会主義政権が誕生すると，ソ連がキューバにミサイル基地を建設したため，これに反発したアメリカがキューバを海上封鎖して，米ソの戦争の危機が高まった。

エ　ヨーロッパで，経済の統合に加え，共通の外交・防衛政策を通した政治の統合を目指してヨーロッパ連合（EU）が結成され，その後，共通通貨であるユーロが導入された。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

長い歴史の中では，民衆が国王や領主などの権力者に反抗して歴史を動かすことが多々見られる。フランス革命などはその典型的な例である。(1)日本の歴史においても，民衆は時として権力者へ様々な形で抵抗し，反抗することがあった。例えば，(2)比較的政治が安定していた江戸時代においても，幕府に対する反抗や反乱はしばしば起きている。

明治時代以降には，ヨーロッパの近代思想の流入もあって，それまでの武力による反抗や反乱だけでなく，言論による政府への批判である自由民権運動や護憲運動などが行われて，(3)立憲政治や政党政治が成立する道を切り開いていった。この政党政治は昭和時代初期にいったん中断したが，第二次世界大戦後復活し，現在に至っている。政党政治の意思決定の過程で，(4)国民の様々な意思表示が，時として具体的な運動となって政治に大きな影響を与えることは，現在まで継続している。

〔問１〕(1)日本の歴史においても，民衆は時として権力者へ様々な形で抵抗し，反抗することがあった。とあるが，次のア～エは，民衆の権力者への抵抗や反抗の様子について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア　蓮如(れんにょ)の布教により広まった一向宗(いっこうしゅう)（浄土真宗(じょうどしんしゅう)）の信徒の武士や農民が中心となって各地で一向一揆(いっき)を起こし，戦国大名も，これを鎮圧するのに腐心した。

イ　不作や凶作により米の収穫量が減って飢饉(ききん)が起こると，農村では年貢(ねんぐ)の軽減などを求めて百姓(ひゃくしょう)一揆が，都市では米の安売りなどを求めて打ちこわしが起こった。

ウ　租のほか，庸(よう)，調(ちょう)，雑徭(ぞうよう)など，成年男子の税負担が重かったため，男性なのに税負担の軽い女性といつわって戸籍の登録を行うことが頻繁に行われた。

エ　荘園(しょうえん)で年貢の取り立てなどを行う地頭(じとう)が，それまでの慣習を無視した支配を行ったことに対し，荘園の農民が，地頭の乱暴な行いを荘園領主に訴えた。

〔問２〕(2)比較的政治が安定していた江戸時代においても，幕府に対する反抗や反乱はしばしば起きている。とあるが，次のⅠの略年表は，江戸時代の主な出来事をまとめたものである。Ⅱの文章は，江戸幕府に対する反乱について述べたものである。Ⅱの文章で述べている出来事が起こった時期は，Ⅰの略年表中のア～エのうちではどれか，また，その出来事が起こった場所は，Ⅲの略地図中のA～Dのうちのどれか。

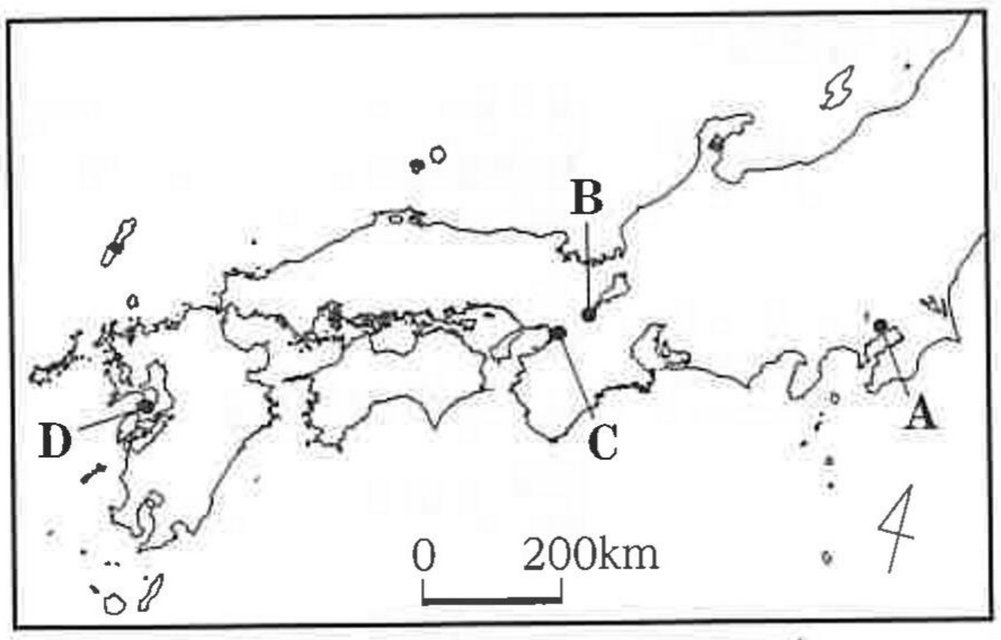
Ⅰ

西暦	江戸時代の主な出来事	
1615	●武家諸法度(ぶけしょはっと)が出される	ア
1721	●目安箱(めやすばこ)が設置される	イ
1790	●寛政(かんせい)異学の禁が行われる	ウ
1841	●株仲間(かぶなかま)の解散が命じられる	エ
1866	●薩長(さっちょう)同盟が結ばれる	

Ⅱ

生活に苦しむ庶民を救済しようとしない奉行所(ぶぎょうしょ)の対応に不満を持った，元与力(よりき)で陽明学者(ようめいがくしゃ)の大塩平八郎(おおしおへいはちろう)は，所有していた書籍を売り払って資金を確保し，約300人の弟子達を率いて反乱を起こした。この乱は１日で鎮圧されたが，幕府に大きな衝撃を与えた。

Ⅲ



〔問３〕(3)立憲政治や政党政治が成立する道を切り開いていった。とあるが，次の文章は，日本で最初の本格的な政党内閣が成立するきっかけとなった出来事について述べたものである。この出来事に最も関連の深い外国で起こった出来事について述べているのは，下の**ア**～**エ**のうちではどれか。

> 現在の富山県魚津(うおづ)市の漁村の主婦が米の安売りを求めて米屋に押しかけると，この騒ぎが全国に広がった。民衆の参加者は70万人ともいわれ，政府は軍隊を動員してこれを鎮圧した。この責任をとって藩閥(はんばつ)内閣が総辞職し，その後，日本最初の本格的な政党内閣が組閣された。

ア　朝鮮で，日本の植民地支配からの独立を求める三・一独立運動が起こり，中国では，山東(さんとう)(シャントン)省のドイツ権益を日本が引き継ぐことへの反発から，反日，反帝国主義の五・四運動が起こった。

イ　自由貿易や奴隷制などをめぐる対立から，アメリカの北部の州と南部の州との間で内戦が勃発したが，奴隷解放などを訴えたリンカン(リンカーン)率いる北部の州が勝利した。

ウ　長引く戦争に苦しんだ民衆の中から，労働者や兵士らによる国家を目指してソビエトが結成され，レーニンの指導により世界で初めての社会主義国家が誕生した。

エ　世界的な不景気の影響を受けてすさまじいインフレが起こったドイツで，ドイツ民族の優秀さなどを訴えて民衆の支持を受けたヒトラーが率いるナチスが政権を握り，独裁政治を行った。

〔問４〕(4)国民の様々な意思表示が，時として具体的な運動となって政治に大きな影響を与えることは現在まで継続している。とあるが，次の略年表は，近代以降の我が国の政治や外交に関する出来事についてまとめたものである。下の**ア**～**エ**は，国民の意思表示について述べたものである。略年表中の**A**～**D**のそれぞれの時期に当てはまるのは，下の**ア**～**エ**のうちではどれか。

西暦	近代以降の我が国の政治や外交に関する出来事	
1868	● 五箇条(ごかじょう)の御誓文(ごせいもん)が出される	
1875	● 樺太(からふと)・千島(ちしま)交換条約が結ばれる	A
1894	● 領事裁判権(治外法権)の撤廃に成功する	
1911	● 関税自主権の完全な回復に成功する	
1915	● 中国に二十一か条の要求を出す	B
1925	● 治安維持法が制定される	
1933	● 国際連盟を脱退する	
1937	● 盧溝橋(ろこうきょう)事件が起こる	C
1945	● ポツダム宣言(ルーコウチアオ)を受諾する	
1956	● 国際連合に加盟する	D
1972	● 日中共同声明が発表される	

ア　東北地方の農村部などで，農産物価格の下落から生活困窮者が増える中，財閥(ざいばつ)と結んで政治を行う政党に対する不満が高まり，東京駅で浜口雄幸(はまぐちおさち)首相が襲撃される事件が発生した。

イ　ポーツマス条約で賠償金を得られなかったことに対して国民の不満が高まり，民衆が日比谷(ひびや)公園に集結して暴動を起こしたため，東京で戒厳令(かいげんれい)が発令されるなど厳戒態勢がしかれた。

ウ　日米安全保障条約の改定に反対し，国会議事堂の周囲を民衆が取り囲むなど激しい運動が起こる中，条約は改定されたが，その責任をとって岸信介(きしのぶすけ)内閣は総辞職した。

エ　貴族院中心の清浦奎吾(きようらけいご)内閣が成立したことに対して二度目の護憲運動が起こり，衆議院選挙で護憲三派が圧勝し，憲政会(けんせいかい)党首の加藤高明(かとうたかあき)を首相とする連立内閣が成立した。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

馬は，我が国の歴史と深く関係しており，現代の生活文化にも大きく影響を与えている。

(1)我が国に大陸から馬が伝えられたのは古墳時代とされ，当初は軍事目的に主に使われた。また，(2)馬は豪族の権力を示すための道具でもあり，古墳には馬をかたどった埴輪が置かれ馬具が副葬されるなど，馬は重要な文化的意義を有していた。その後律令制度が整備されると駅路に伝馬が置かれ，馬は公的な交通手段ともなった。

(3)中世になると，日頃から弓馬の道を鍛錬することが武士の日課となった。一方，馬は農耕馬として使われるようになり，農業生産の向上に貢献した。馬の背に物資を乗せ運ぶ運送業者が活躍するようになったのもこの頃である。

(4)戦国時代になると，各地に割拠した大名たちは戦闘に馬を積極的に活用し，中には騎馬隊を組織して勢力を強める者も現れた。

〔問１〕(1)我が国に大陸から馬が伝えられたのは古墳時代とされ，当初は軍事目的に主に使われた。とあるが，古墳時代における我が国の外交について述べているのは，次の**ア**～**エ**のうちではどれか。

ア　朝廷は中国の進んだ文化や制度を取り入れるためたびたび遣唐使を派遣し，五絃琵琶や紺瑠璃杯などシルクロードを通って伝わった西アジアの宝物が日本にもたらされた。

イ　新羅が唐と結んで百済をほろぼすと，日本は百済救援のための大軍を組織して朝鮮半島に派兵したものの敗れ，新羅・唐の侵攻に備えて九州北部に山城と水城をつくった。

ウ　朝鮮半島の支配権を強めて鉄資源を確保しようとして，南北朝時代の中国に使節を派遣し，倭の王としての地位と朝鮮半島南部の指揮権を認めてもらおうとした。

エ　邪馬台国の女王卑弥呼が治めていた国が魏・呉・蜀に分裂して争っていた三国時代の中国に使節を派遣し，魏の皇帝から親魏倭王の称号と金印を授けられた。

〔問２〕(2)馬は豪族の権力を示すための道具でもあり，古墳には馬をかたどった埴輪が置かれ馬具が副葬されるなど，馬は重要な文化的意義を有していた。とあるが，次のⅠの略年表は，古代における豪族(貴族)の動きに関する主な出来事についてまとめたものである。Ⅱの文章は，ある時期の我が国における文化の動きについて述べたものである。Ⅱの文章で述べている出来事が起こったのは，Ⅰの略年表中の**ア**～**エ**の時期のうちではどれか。

Ⅰ

西暦	豪族(貴族)の動きに関する主な出来事	
552	●仏教の信仰をめぐり，蘇我氏と物部氏が対立した。	**ア**
645	●豪族が支配していた土地と人民を，国が直接支配する方針が立てられた。	**イ**
780	●蝦夷の豪族伊治砦麻呂が，東北地方で大規模な反乱を起こした。	**ウ**
935	●関東地方の豪族平将門が一族の内紛に乗じて国府を襲い，一帯を支配した。	**エ**
1068	●藤原氏と外戚関係にない後三条天皇が即位した。	

Ⅱ

シャカの死から2000年後，仏の教えがすたれ，天災や戦乱などが続く末法の世が始まるとする末法思想が社会に広がった。末法をおそれた人々は阿弥陀仏にたより，念仏を唱えて死後に極楽浄土に生まれ変わることを願った。その極楽浄土を現世に再現したとされる平等院鳳凰堂が，京都の宇治に建てられた。

〔問３〕(3)中世になると，日頃から弓馬の道を鍛錬することが武士の日課となった。とあるが，次の文章は，中世に起こった武士の戦乱について記した文書の一部を書き改めたものである。この戦乱が起こった年より前に起こった外交上の出来事について述べているのは，下の**ア**～**エ**のうちではどれか。

> この年天下は大いに動乱し，それから永く五畿七道がことごとく乱れた。その起こりをたずねてみると，尊氏将軍から七代目の将軍義政が，天下の成敗を将軍の補佐役をつとめる管領に任せず，ただ妻など政治がわからない若い女房たちの考えで酒の席などの合間に取り決められていたことである。

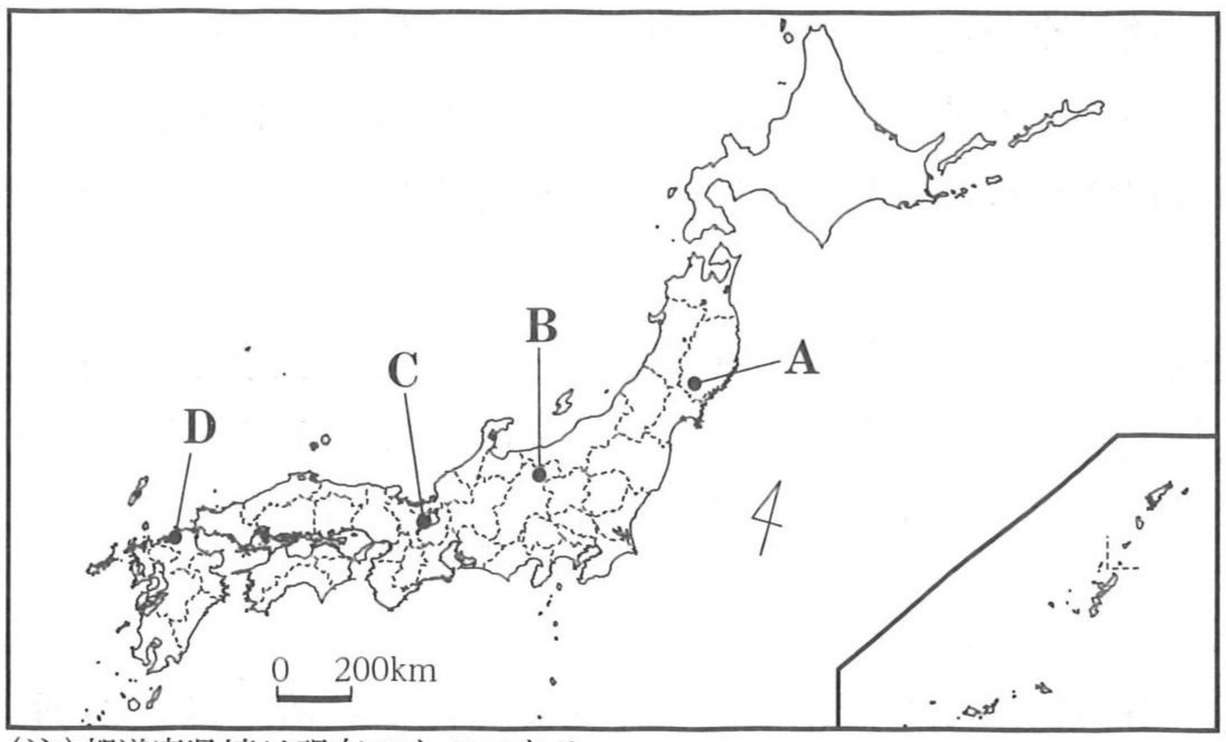
ア　イエズス会の宣教師であるフランシスコ・ザビエルが鹿児島に来航するとともに，日本にキリスト教を初めて伝えた。

イ　大陸沿岸で海賊行為を行っていた倭寇の取り締まりを条件として，合い札である勘合を用いた正式な貿易が日本と中国の間で始まった。

ウ　幕府から交付された朱印状を持った大名や大商人の船が東南アジアに出向いて活発に貿易を行い，東南アジア各地には日本人居留地がつくられた。

エ　当時日本有数の貿易港として中国や朝鮮と貿易を行っていた博多の豪商が，戦国大名の大内氏と協力して石見銀山(島根県)の開発を進め，大量の銀を海外に輸出した。

〔問４〕(4)戦国時代になると，各地に割拠した大名たちは戦闘に馬を積極的に活用し，中には騎馬隊を組織して勢力を強める者も現れた。とあるが，次の略地図中の **A** ～ **D** は，中世における我が国の戦乱が起こった場所を示したものである。下の**ア**～**エ**は，**A** ～ **D** の**いずれか**の場所について述べたものである。**A** ～ **D** のそれぞれに当てはまるのは，下の**ア**～**エ**のうちではどれか。



(注)都道府県境は現在のものである。

ア　甲斐(山梨県)を治める武田信玄と越後(新潟県)を治める上杉謙信が隣接地域の領有権をめぐって対立し，この地で数回にわたり激しく戦った。

イ　数度にわたり服属を求める国書を託された使者が来日したが，いずれも幕府の執権により拒否されたため，二度にわたり外国軍がこの地に襲来した。

ウ　藤原氏が四代にわたりこの地一帯を支配し繁栄したが，平氏を倒した源義経が兄頼朝との不和によりこの地に潜伏すると，頼朝が送った大軍によりほろぼされた。

エ　この地に住む馬借が徳政を要求して一揆を起こすと，周辺各地で百姓らが次々に土倉や酒屋を襲撃し，借金の証文を破り捨て質物を奪い返すなどした。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

水は人類の歴史において，生活に欠かせないものとして重要な役割を果たしてきた。

(1)インダス文明では，紀元前2500年ごろにはすでに下水道が整備されていたとされる。日本では最初の下水道は弥生時代の集落に見られる。その後，平城京には，網目のような排水路がつくられた。(2)江戸時代には，年貢米を大阪や江戸に運送するため，西廻り航路や東廻り航路などの海運が整備された。

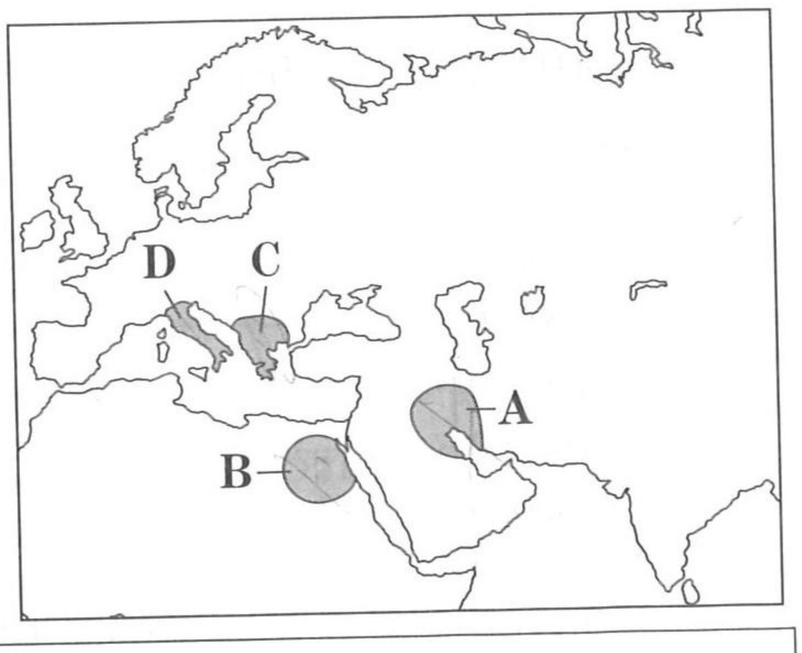
(3)日本人が初めてつくったヨーロッパ式の下水道は，1884年に東京の神田につくられた神田下水である。高度経済成長期には，(4)水質汚濁などをはじめとする公害問題が発生し，対応をせまられた政府は，1967年に公害対策基本法を制定し，1971年には環境庁(現在の環境省)を設置した。

〔問1〕(1)インダス文明では，紀元前2500年ごろにはすでに下水道が整備されていたとされる。とあるが，次のⅠの略年表は，古代に世界で起こった主な出来事についてまとめたものである。Ⅱの略地図中の**A**～**D**は，古代に文明が栄えた主な地域を示したものである。Ⅲの文章は，古代にある帝国でつくられた建造物について述べたものである。Ⅲの文章で述べているコロッセオ(闘技場)が建設された時期に当てはまるのは，Ⅰの略年表中の**ア**～**エ**のうちではどれか。また，Ⅲの文章中のコロッセオ(闘技場)が位置する地域に当てはまるのは，Ⅱの略地図中の**A**～**D**のうちのどれか。

Ⅰ

西暦	古代に世界で起こった主な出来事	
紀元前3000年ごろ	●チグリス・ユーフラテス川のほとりにメソポタミア文明がおこる。	ア
紀元前16世紀ごろ	●黄河流域に殷がおこり，甲骨文字が発明される。	イ
紀元前5世紀ごろ	●インドのシャカ(釈迦)が仏教の教えを説く。	ウ
紀元前221年	●秦が中国全土を統一する。	エ
610年	●ムハンマドがイスラム教を開く。	

Ⅱ



Ⅲ

生活に欠かせない水を安定的に供給するために，石造アーチ橋のガール水道橋が建設された。この水道橋が建設された後には，同じ帝国内にコロッセオ(闘技場)が建設された。いずれも当時の建設技術の高さを感じさせる建造物である。

〔問2〕(2)江戸時代には，年貢米を大阪や江戸に運送するため，西廻り航路や東廻り航路などの海運が整備された。とあるが，次の**ア**～**エ**は，海上での人の移動やものの運搬に関する出来事について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア　ポルトガル人を乗せた中国人の倭寇の船が種子島に流れ着いた。この船に乗っていたポルトガル人によって鉄砲が日本国内に伝わり，国内の刀鍛冶らによって複製され始めた。

イ　ロシアの使節ラクスマンが根室に来航した。ラクスマンは漂流民だった伊勢国(三重県)の船頭の大黒屋光太夫を送り届けるとともに，幕府に通商を要求してきた。

ウ　沖縄島を統一し，首里を首都として琉球王国が建国された。琉球王国は，日本や中国，朝鮮半島や東南アジアにも船を送り，産物を取り引きする中継貿易で利益をあげた。

エ　フビライ・ハンは中国を支配して元を建国し，日本に攻め込んできた。しかし，幕府が海岸に築いた石の防壁や御家人の活躍などにより，元軍は上陸できず，暴風雨にあって引き上げた。

〔問3〕(3)日本人が初めてつくったヨーロッパ式の下水道は，1884年に東京の神田につくられた神田下水である。とあるが，次の文章は，1880年代後半に日本国内で活発になった条約改正に向けた動きについて述べたものである。この文章で述べていることがらのきっかけとなった出来事として当てはまるのは，下のア～エのうちではどれか。

> 領事裁判権の撤廃などを含む不平等条約改正を求める世論の動きが活発になり，外務大臣を中心に条約改正を求める交渉がヨーロッパやアメリカなどの諸外国と行われた。

ア　伊藤博文は，ヨーロッパに調査に行くなどして憲法制定の準備に取りかかり，日本に戻った後，初代内閣総理大臣となった。

イ　イギリス汽船ノルマントン号が紀伊半島沖で沈没し，船長以下西洋人26人は救命ボートに乗り無事だったが，日本人乗客25人全員が死亡する事件が起こった。

ウ　満州に勢力をのばそうとするロシアが，ドイツとフランスを誘い，下関条約で日本が獲得した遼東半島を清に返還するよう求めてきた。

エ　ロシア革命が発生した後，日本はアメリカなどとともにシベリア出兵を行って，共産主義をかかげる勢力の軍と戦ったが，大きな成果を得られないまま撤退した。

〔問4〕(4)水質汚濁などをはじめとする公害問題が発生し，対応をせまられた政府は，1967年に公害対策基本法を制定し，1971年には環境庁(現在の環境省)を設置した。とあるが，次の略年表は，20世紀後半から21世紀初めにかけての，公害や環境問題に関する主な出来事についてまとめたものである。略年表中のA～Dのそれぞれの時期の出来事について述べているのは，下のア～エのうちではどれか。

西暦	公害や環境問題に関する主な出来事
1967	●公害対策基本法が制定される。
1971	●環境庁が設置される。
1982	●国連環境計画特別会合が開催される。
1992	●国連環境開発会議(地球サミット)が開催される。
2001	●環境省が設置される(環境庁から移行される)。

A　B　C　D

ア　欧州連合条約(マーストリヒト条約)が発効され，政治的・経済的な統合を目指して，ヨーロッパ諸国によって欧州連合(EU)が正式に創設された。

イ　田中角栄内閣総理大臣や大平正芳外務大臣が主導して中国との交渉が進められ，日中共同声明を発表し，中国との国交を正常化した。

ウ　東西両陣営の対立の象徴となっていたベルリンの壁がくずされ，地中海のマルタ島で行われた会談で米ソ首脳が冷戦の終結を宣言した。

エ　サンフランシスコ平和条約によってアメリカの施政下にあった小笠原諸島について，日米間で返還協定が締結され，日本に復帰した。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

道路の整備は，領土内の統一や人々の交通基盤の拡張などで重要な役割を果たしてきた。

(1)古代中国においては，紀元前３世紀に中国全土を統一した秦の始皇帝が，領土内の各地を巡るために馳道と呼ばれる幅 70 mほどの道路を整備した。馳道は，皇帝以外のいかなる人も通行することが許されていなかったとされている。近世の道路整備では，(2)江戸時代に江戸の日本橋を中心として五街道が整備されたことも重要な出来事である。

日本国内では，明治時代に入ると鉄道網の整備に重点が置かれ，道路網の補修・改良のための予算はさほど確保されなかったが，(3)1919 年に道路法が制定され，道路の種類や等級の認定，管理などについて規定された。外国の高速道路に目を向けると，ドイツでは，20 世紀前半にアウトバーンと呼ばれる自動車専用道路が整備された。現在，アウトバーンはドイツの人や貨物の移動を支える重要な交通インフラとなっている。(4)1967 年に開催された第十三回国際道路会議で，当時の西ドイツの公共事業省道路局長が，「高速道路の建設は国際的にならざるを得ない」と言及したことなどからも，各国を結ぶ道路網の整備が必要だった当時のヨーロッパの交通事情がうかがえる。

〔問１〕(1)古代中国においては，紀元前３世紀に中国全土を統一した秦の始皇帝が，領土内の各地を巡るために馳道と呼ばれる幅 70 mほどの道路を整備した。とあるが，秦で起こった出来事について述べているのは，次の**ア**～**エ**のうちではどれか。

ア　陸路や海路を通して，ヨーロッパや西アジアなどとの貿易を盛んに行い，都であった長安は 100 万人ほどの人口を有する国際都市として栄えた。

イ　軍備を強化する中で鉄器の使用が広がっていき，国家や社会を治めるために学問が盛んになって，孔子は儒教(儒学)の教えを説いた。

ウ　銅と錫の合金でつくられた青銅器の使用が始まり，占いなどの結果が亀甲や獣骨の上に小刀によって刻みつけられ，文字が生み出された。

エ　文字や貨幣のほか，ものさしやます，はかりを統一し，北方の遊牧民の国内への侵入を防ぐために，万里の長城と呼ばれる建造物を築城した。

〔問２〕(2)江戸時代に江戸の日本橋を中心として五街道が整備されたことも重要な出来事である。とあるが，次のⅠの略年表は，江戸時代などの道路に関する主な出来事についてまとめたものである。Ⅱの文章は，江戸時代に松尾芭蕉らが各地を訪れて著した紀行文について述べたものである。Ⅱの紀行文が刊行された時期に当てはまるのは，Ⅰの略年表中の**ア**～**エ**のうちの時期ではどれか。

Ⅰ

西暦	江戸時代などの道路に関する主な出来事	
1601	●徳川家康が五街道の整備を始める。	ア
1636	●日光街道(日光道中)が完成する。	イ
1716	●幕府が各街道の名称を定める。	ウ
1772	●甲州街道(甲州道中)が完成する。	エ
1863	●徳川家茂の上洛に際し，箱根の石畳を整備する。	

Ⅱ

この紀行文は「俳諧紀行文」とも呼ばれている。松尾芭蕉が弟子の河合曾良を連れて江戸の深川を出発し，奥州や北陸の各名所を巡り，伊勢へと向かう道中について著したもので，「行春や　鳥啼魚の　目は泪」や，「夏草や　兵どもが　夢の跡」など，様々な名句が収められている。

〔問３〕(3)1919年に道路法が制定され，道路の種類や等級の認定，管理などについて規定された。とあるが，次のア～エは，大正時代に起こった出来事について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア　25歳以上の男子すべてに選挙権を与える普通選挙法の制定と同時に，共産主義運動の取りしまりなどを目的として治安維持法が制定された。

イ　アメリカの呼びかけによりワシントン会議が開かれ，各国の海軍の軍備制限や，中国の独立と領土の保全が確認された。

ウ　日本政府は中国政府に対し，ドイツが山東省に持つ権利を日本にゆずることや，旅順・大連の租借と南満州鉄道の権益の期限を延長することなどを求める二十一か条の要求を出した。

エ　シベリア出兵などを見こした米の買い付けなどにより米価が急上昇すると，米の安売りを求めた民衆が米屋などをおそう事件が全国に広がった。

〔問４〕(4)1967年に開催された第十三回国際道路会議で，当時の西ドイツの公共事業省道路局長が，「高速道路の建設は国際的にならざるを得ない」と言及したことなどからも，各国を結ぶ道路網の整備が必要だった当時のヨーロッパの交通事情がうかがえる。とあるが，次の略年表は，1967年以降の世界と日本の主な出来事についてまとめたものである。略年表中のA～Dのそれぞれの時期に当てはまるのは，下のア～エのうちではどれか。

西暦	1967年以降の世界と日本の主な出来事
1967	●ヨーロッパ共同体(EC)が成立する。
	A
1979	●アメリカと中華人民共和国との国交が正常化する。
	B
1993	●ヨーロッパ連合(EU)が成立する。
	C
2009	●バラク・オバマが黒人として初めてアメリカ大統領に就任する。
	D
2021	●東京オリンピック・パラリンピックが開催される。

ア　長い間アメリカの統治下にあった沖縄が，佐藤栄作首相とアメリカのニクソン大統領との交渉を経て，日本への本土復帰を果たした。

イ　東日本大震災によって多くの死者・行方不明者が出て，多くの家屋が倒壊するなど，未曽有の被害をもたらした。

ウ　ソ連は政治や経済の立て直しを図っていたが，ロシア連邦をはじめとする各共和国が独立したことにより，ソ連を中心とする社会主義体制は崩壊した。

エ　日本と北朝鮮との間で日朝首脳会談が開催され，北朝鮮は日本人を拉致した事実を認め，拉致被害者のうち５人の日本への帰国が実現した。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

人類にとって，言葉と火の獲得は重要な出来事であった。人類は火の発見によって，光と熱のエネルギーを手に入れた。それ以降，人類は，(1)火以外にも牛や馬の力を利用して田畑を耕し，水車や風車によって水力や風力を利用して暮らしを豊かにしてきた。私たちの生活に必要なエネルギーは，長い間自然のエネルギーによって賄われてきた。

こうしたエネルギーの利用の様子を大きく変えたのは，産業革命である。石炭を利用した蒸気機関の発明は，工業化をもたらして，エネルギーの消費量も急増した。(2)いち早く産業革命を果たしたイギリスは，国力を強めアジアへ進出した。そして，(3)明治維新後に急速に近代化を進めた我が国でも，産業の発展につれて石炭や石油などのエネルギーの使用が急速に拡大した。

現在，私たちの生活は，電気などのエネルギーなしには成り立たない。しかし，(4)石炭や石油などの化石燃料の使用は，二酸化炭素などの排出の増加による地球温暖化をもたらし，異常気象などの原因となっていることから，現在，再生可能エネルギーが注目されている。

〔問１〕(1)火以外にも牛や馬の力を利用して田畑を耕し，水車や風車によって水力や風力を利用して暮らしを豊かにしてきた。とあるが，次の**ア**～**エ**は，明治時代以前のエネルギーに関する出来事について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア　牛や馬が農作業や荷物の運搬に利用され，牛馬による耕作が広まり，馬に荷を乗せて運搬する馬借や，牛などに車を引かせて荷を運搬する車借が活躍した。

イ　桓武天皇の皇子の良岑安世は，水田には水車による灌漑が必要であると提言し，諸国に水車をつくらせ，水車は田に水をくみ上げるために利用された。

ウ　アメリカは，アジアへの進出を目指すとともに，灯火用などに利用する鯨油をとるための捕鯨船の寄港地を求めて，ペリーを日本に派遣して幕府に開国を迫った。

エ　寛永通宝などの貨幣が流通し，農村では現金収入を得るため，綿や菜種などの商品作物の栽培が広まり，菜種は灯火用の油に加工され，人々は夜でも活動できるようになった。

〔問２〕(2)いち早く産業革命を果たしたイギリスは，国力を強めアジアへ進出した。とあるが，次のⅠの略年表は，イギリスの産業革命とアジア侵略に関する出来事についてまとめたものである。Ⅱの文章は，イギリスが産業革命を果たしたころの日本で，ある人物が行った政策について述べたものである。Ⅱの政策が行われた時期に当てはまるのは，Ⅰの略年表中の**ア**～**エ**の時期のうちではどれか。

Ⅰ

西暦	イギリスの産業革命とアジア侵略に関する出来事	
1765	●ワットが蒸気機関を改良する	**ア**
1814	●スティーブンソンが蒸気機関車を試運転する	**イ**
1840	●アヘン戦争が起こる	**ウ**
1857	●インド大反乱が起こる	**エ**
1877	●イギリスがインドを完全に支配する	

Ⅱ

年貢だけに頼る従来の政策を転換し，発展してきた商品の流通や生産から得る利益によって財政の立て直しを図った。商工業者に対しては，株仲間をつくることを奨励し，株仲間に特権を与える代わりに営業税を取った。さらに，蝦夷地の調査を行い俵物の輸出を拡大したほか，印旛沼の干拓も行おうとした。

〔問３〕(3)明治維新後に急速に近代化を進めた我が国でも，産業の発展につれて石炭や石油などのエネルギーの使用が急速に拡大した。とあるが，次の**ア**～**エ**は，明治維新以降の我が国の経済や産業の様子について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア　殖産興業政策を推し進める政府は，群馬県に富岡製糸場をつくり，フランスから機械類を輸入し，フランスの進んだ技術を導入して，生糸の増産や品質の向上を図った。

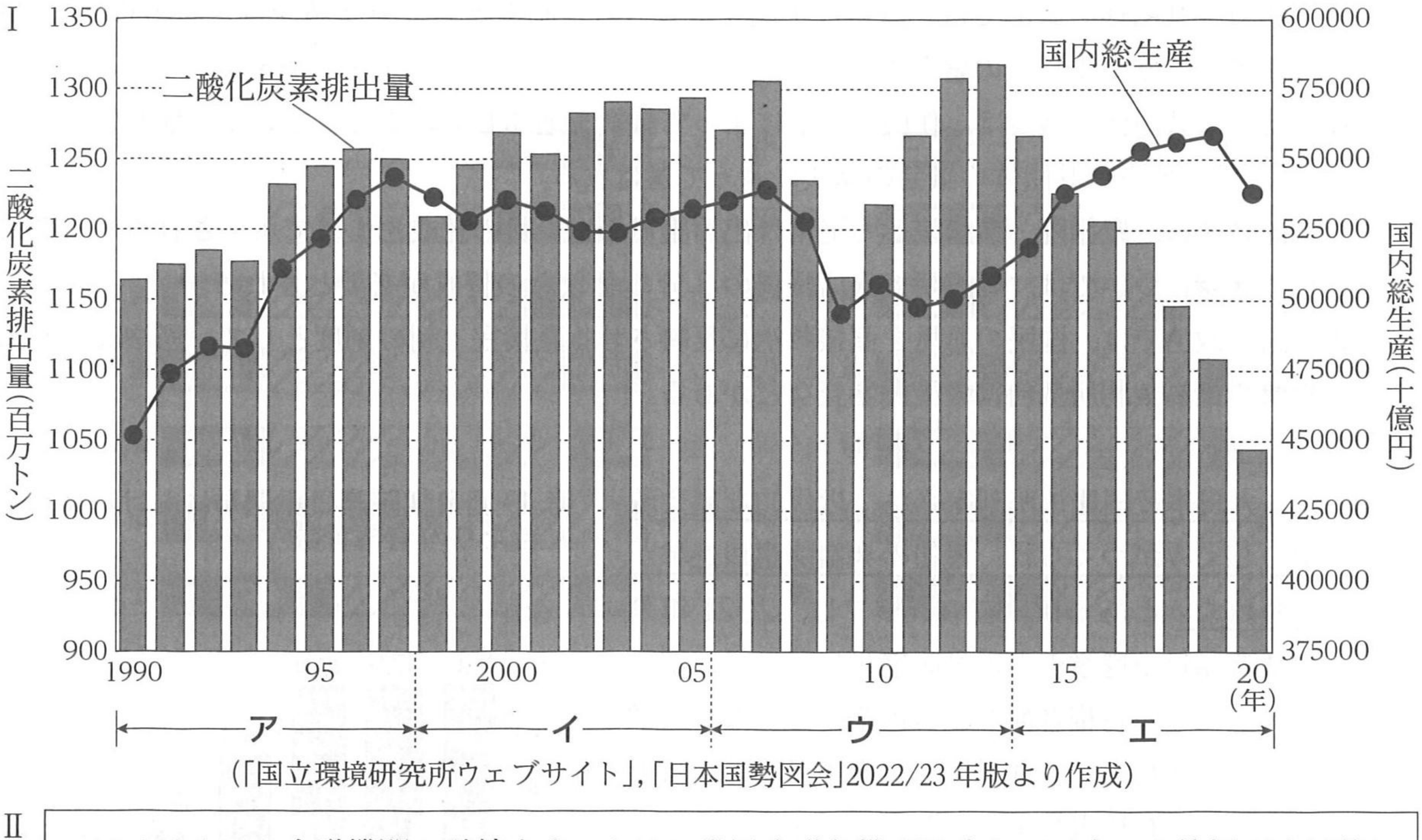
イ　アメリカで始まった世界恐慌によって日本も深刻な不況(不景気)となった。多くの企業が倒産し，失業者が増大する中で，民衆の中にも満州への進出による景気回復の期待が高まった。

ウ　オーストリア皇太子夫妻の暗殺をきっかけにヨーロッパで戦争が始まると，欧米との貿易が止まったアジア市場や戦争景気のアメリカとの貿易が拡大し，日本経済は好況(好景気)となった。

エ　日清戦争の賠償金を使って官営の八幡製鉄所がつくられ，中国から輸入された鉄鉱石や，筑豊炭田の石炭を使って鉄鋼の生産を始めた。

〔問４〕(4)石炭や石油などの化石燃料の使用は，二酸化炭素などの排出の増加による地球温暖化をもたらし，異常気象などの原因となっていることから，現在，再生可能エネルギーが注目されている。とあるが，次のⅠのグラフは，1990年から2020年までの，我が国の二酸化炭素排出量と国内総生産の推移を示したものである。Ⅱの文章は，Ⅰのグラフの**ア**～**エ**の**いずれか**の時期における，我が国の経済と二酸化炭素排出量についてまとめたものである。Ⅱの文章で述べている時期に当てはまるのは，Ⅰのグラフの**ア**～**エ**の時期のうちではどれか。

Ⅰ



(「国立環境研究所ウェブサイト」,「日本国勢図会」2022/23年版より作成)

Ⅱ

アメリカでの金融機関の破綻をきっかけに世界金融危機が発生し，日本でも株価が大暴落して，経済成長率は２年連続してマイナスとなった。この不景気によって経済活動は落ち込み，世界金融危機が発生する前年には13億トンをこえていた二酸化炭素排出量が大きく減少した。その後，世界金融危機から経済が持ち直す時期に東日本大震災が起こり，再び生産活動は低下したが，二酸化炭素排出量は増加し，世界金融危機以前の水準まで増加し続けた。この増加の要因には，震災時に起こった福島第一原子力発電所の事故により，全国で原子力発電所の停止が相次ぎ，火力発電の増加による化石燃料の消費量が増えたことがあげられる。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

中国は日本の隣国ではあるが，海によって隔てられているために，中国の政治や文化が日本の歴史に果たした役割について，あまり強く意識されていない現状がある。しかし実際は，(1)古代より中国と日本とのつながりは深く，日本は多大な影響を中国から受けている。また，(2)中国とのつながりは政治の面だけではなく，経済面でも古くから盛んに貿易を行ってきており，日本経済の発展に不可欠なパートナーでもあった。近代になると，日本は，いち早く欧米諸国に肩を並べようと急激な改革を行い，一方で帝国主義の波に巻き込まれていく。そして，(3)東アジアの一等国を目指して海外に領土を求め，隣国中国との軋轢（あつれき）を繰り返すようになった。第二次世界大戦後，(4)中国では毛沢東（もうたくとう）によって社会主義国の中華人民共和国が成立した。日本はこの新しく生まれ変わった隣国の中国との関係構築（マオツォトン）を，東西冷戦の緊張感の中で迫られることになった。

〔問１〕(1)古代より中国と日本とのつながりは深く，日本は多大な影響を中国から受けている。とあるが，次の**ア**～**エ**は，中国と日本とのつながりを示す資料の一部を示したものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア

私の祖先は，自らよろいを身に着け，東は 55 国，西は 66 国，さらに海を渡って 95 国を平定しました。しかし私の使いが陛下（へいか）の所に貢（みつ）ぎ物を持っていくのを高句麗（こうくり）がじゃまします。今度こそ高句麗を破ろうと思いますので，私に高い地位を与えて激励（コグリョ）してください。

イ

高麗（こうらい）は私の東方の属国である。日本は高麗に近く，ときどき中国に使いを送ってきたが，私の時代（コリョ）になってからは一人の使いもよこさない。…今後は互いに訪問し友好を結ぼうではないか。…武力を使いたくはないのでよく考えてほしい。

ウ

倭（わ）国王が使者を遣わして朝貢（ちょうこう）してきた。その手紙の中に，「日の昇るところの天子（てんし）が，日の沈むところの天子に手紙を送ります」と書かれていた。隋（ずい）の皇帝はこれを見て不快に思い，「今後，野蛮な国からの手紙で無礼なものがあれば，二度と私にとりつぐな」と語った。

エ

邪馬台国（やまたいこく）は，もともと男性の王が治めていたが，倭国が乱れ，何年も争い合うようになると，ひとりの女子を王とした。この国では，下戸（民衆）が大人（有力者）と道で会うと，草むらの中に後ずさりして道をゆずる。

〔問２〕(2)中国とのつながりは政治の面だけではなく，経済面でも古くから盛んに貿易を行ってきており，日本経済の発展に不可欠なパートナーでもあった。とあるが，次のⅠの略年表は，11 世紀から 16 世紀にかけての主な出来事についてまとめたものである。Ⅱの文章は，ある時期の日本と中国との貿易について述べたものである。Ⅱの文章で述べている貿易が始まった時期は，Ⅰの略年表中の**ア**～**エ**のうちではどれか。

Ⅰ

西暦	11 世紀から 16 世紀にかけての主な出来事	
1016	●藤原道長（ふじわらのみちなが）が摂政（せっしょう）となる。	**ア**
1192	●源頼朝（みなもとのよりとも）が征夷大将軍（せいいたいしょうぐん）となる。	**イ**
1334	●後醍醐天皇（ごだいご）が建武（けんむ）の新政を始める。	**ウ**
1467	●応仁（おうにん）の乱が起こる。	**エ**
1573	●室町幕府が滅亡する。	

Ⅱ

倭寇（わこう）の取り締まりを中国が求めてきたため，これに応じて貿易が始まった。この貿易では，正式な貿易船に勘合（かんごう）という証明書を持たせたので，この貿易を勘合貿易ともいう。

〔問３〕(3)東アジアの一等国を目指して海外に領土を求め，隣国中国との軋轢（あつれき）を繰り返すようになった。とあるが，下の**ア**～**エ**の略地図は，日本の領土の移り変わりを示したものである。次の文章で述べている戦争の講和条約によって領土を広げたときの日本の領土を示したものとして最も適切なのは，**ア**～**エ**のうちのどれか。

> １年余り戦いが行われて両国とも戦争の継続が困難になったため，アメリカ大統領の仲介によってアメリカのポーツマスで講和会議が開かれ，講和条約が結ばれた。この条約では，日本が賠償金を得ることができなかったため，国民は激しく政府を攻撃し，暴動事件も起こった。

ア



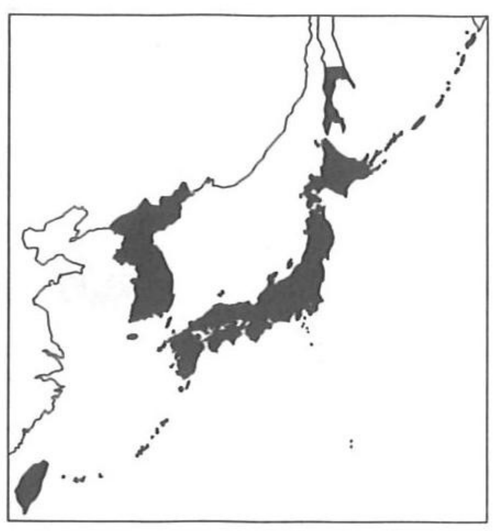
イ



ウ



エ



〔問４〕中国では毛沢東（もうたくとう）によって社会主義国の中華人民共和国が成立した。とあるが，次の略年表は，(4)1949 年以降の中華人民共和国（マオツォトン）に関する主な出来事についてまとめたものである。略年表中の **A** ～ **D** のそれぞれの時期に起こった出来事は，下の**ア**～**エ**のうちではどれか。

西暦	中華人民共和国に関する主な出来事	
1949	● 中華人民共和国が成立する。	
1950	● 朝鮮戦争に義勇軍を派遣する。	
1955	● アジア・アフリカ会議に参加する。	**A**
1962	● インドとの間で国境をめぐる紛争が起こる。	
1964	● 原子爆弾による核実験に成功する。	
1966	● 文化大革命が始められる。	
1971	● 国際連合の代表権を獲得し，安全保障理事会の常任理事国となる。	**B**
1972	● 日中共同声明が発表され，日本との国交を正常化する。	
1978	● 日中平和友好条約が結ばれる。	
1989	● 天安門事件が起こる。	**C**
1997	● 香港がイギリスから返還される。	
1999	● マカオがポルトガルから返還される。	
2008	● 北京で夏季オリンピック・パラリンピック大会が開催される。	**D**
2010	● 国内総生産(GDP)が日本を抜いて世界第２位となる。	
2022	● 北京で冬季オリンピック・パラリンピック大会が開催される。	

ア　アメリカで同時多発テロが発生し，これを理由にアメリカがアフガニスタンを攻撃する。

イ　日本が 48 か国との間でサンフランシスコ平和条約を結び，独立を回復する。

ウ　アメリカとソ連の首脳が地中海のマルタ島で会談し，冷戦の終結を宣言する。

エ　第四次中東戦争がきっかけとなって，オイル・ショック(石油危機)が起こる。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

我が国の歴史の中で，仏教の性質が大きく変わった時代がある。

それは，仏教が国家や貴族だけのものという立ち位置から，広く民衆を救済するものという立ち位置に変質し，(1)浄土真宗や時宗，日蓮宗などの新しい宗派が次々に生まれ，広く人々に信仰されるようになった時代である。その背景には，難しい理論や厳しい修行の代わりに，誰もが実践しやすく親しみやすい教義の存在があった。(2)もともと仏教は国家支配のための精神的支柱として出発し，それが鎮護国家思想と結び付いて僧侶も国の統制を受けていた。しかし，(3)戦乱や飢饉が続く不安定な世の中で，庶民の心のよりどころとして念仏思想などが広まったのは当然のことであり，僧侶の活動は画期的な広がりを見せた。

(4)仏教は日本に伝えられて以降，いつの時代も政治と深い関係を持ち，ある時は国家統治を補完するものであり，ある時は国家の迫害を受け，ある時は国家の保護を受けてきた。その意味では，我が国の歴史を俯瞰する上で仏教史という視点は欠くことができない。

〔問１〕(1)浄土真宗や時宗，日蓮宗などの新しい宗派が次々に生まれ，広く人々に信仰されるようになった時代である。とあるが，浄土真宗や時宗，日蓮宗などの宗派が次々に生まれた時代における朝廷の動きについて述べているのは，次の**ア**～**エ**のうちではどれか。

ア　天皇が死去すると，そのあとつぎをめぐって天皇の弟と子の間で対立が深まり，それぞれを支持する勢力に分かれて戦乱が起こったが，弟が勝利し天武天皇として即位した。

イ　後三条天皇の後をついで天皇となった白河天皇は，位を子に譲って上皇となった後も，上皇の御所である院で政治を行い，摂政や関白の力をおさえて引き続き権力を握った。

ウ　幕府の混乱や内紛を見た後鳥羽上皇は，その機に乗じて政権回復をくわだて，西国の武士らに倒幕のための挙兵を呼びかけたものの，幕府の大軍により打ち破られた。

エ　自然災害の多発や天然痘などの伝染病(感染症)の流行，貴族による反乱が横行する中，聖武天皇は，国の平穏を願い，国ごとに国分寺と国分尼寺を建てることを命じた。

〔問２〕(2)もともと仏教は国家支配のための精神的支柱として出発し，それが鎮護国家思想と結び付いて僧侶も国の統制を受けていた。とあるが，次のⅠの略年表は，古代の仏教に関する主な出来事についてまとめたものである。Ⅱの文章は，ある僧侶について述べたものである。Ⅱの文章で述べている僧侶が活動した時期に当てはまるのは，Ⅰの略年表中の**ア**～**エ**のうちではどれか。

Ⅰ

西暦	古代の仏教に関する主な出来事	
6世紀半ば	●この頃，百済の聖明王から仏教の経典と仏像が日本におくられた。	ア
607	●現在の奈良県斑鳩の地に法隆寺が建立され，薬師如来像が安置された。	イ
798	●坂上田村麻呂が，清水寺の仏殿を建立した。	ウ
1053	●藤原頼通が宇治に，豪華な阿弥陀堂である平等院鳳凰堂を建立した。	エ
12世紀前半	●この頃，仏教説話を中心に多くの説話を集めた今昔物語集が成立した。	

Ⅱ

数度にわたり日本への渡航を試みるも，度重なる航海の失敗により果たせず，その労苦の中で失明してしまった。しかし，戒律の伝承への情熱がとだえることはなく，ついに遣唐使にともなわれて来日を果たし，天皇から大和上の称号を受けて，唐招提寺を建立した。

〔問３〕(3)戦乱や飢饉が続く不安定な世の中で，庶民の心のよりどころとして念仏思想などが広まったのは当然のことであり，僧侶の活動は画期的な広がりを見せた。とあるが，次の文章は，ある時期の社会の様子を述べた落書の一部を分かりやすく示したものである。この時期より後に海外で起こった出来事に当てはまるのは，下の**ア**～**エ**のうちではどれか。

> このごろ都ではやっているものは，夜襲，強盗，天皇のにせの命令。囚人，急ぎの使いを乗せた早馬，たいしたこともないのに起こる騒動。生首が転がり，僧が俗人にもどり，俗人が勝手に僧になり，急に低い身分から大名になる者がいるかと思えば，路頭に迷う者が出てきて，領地の保護や恩賞を得るために，架空の戦争がつくられもする。…

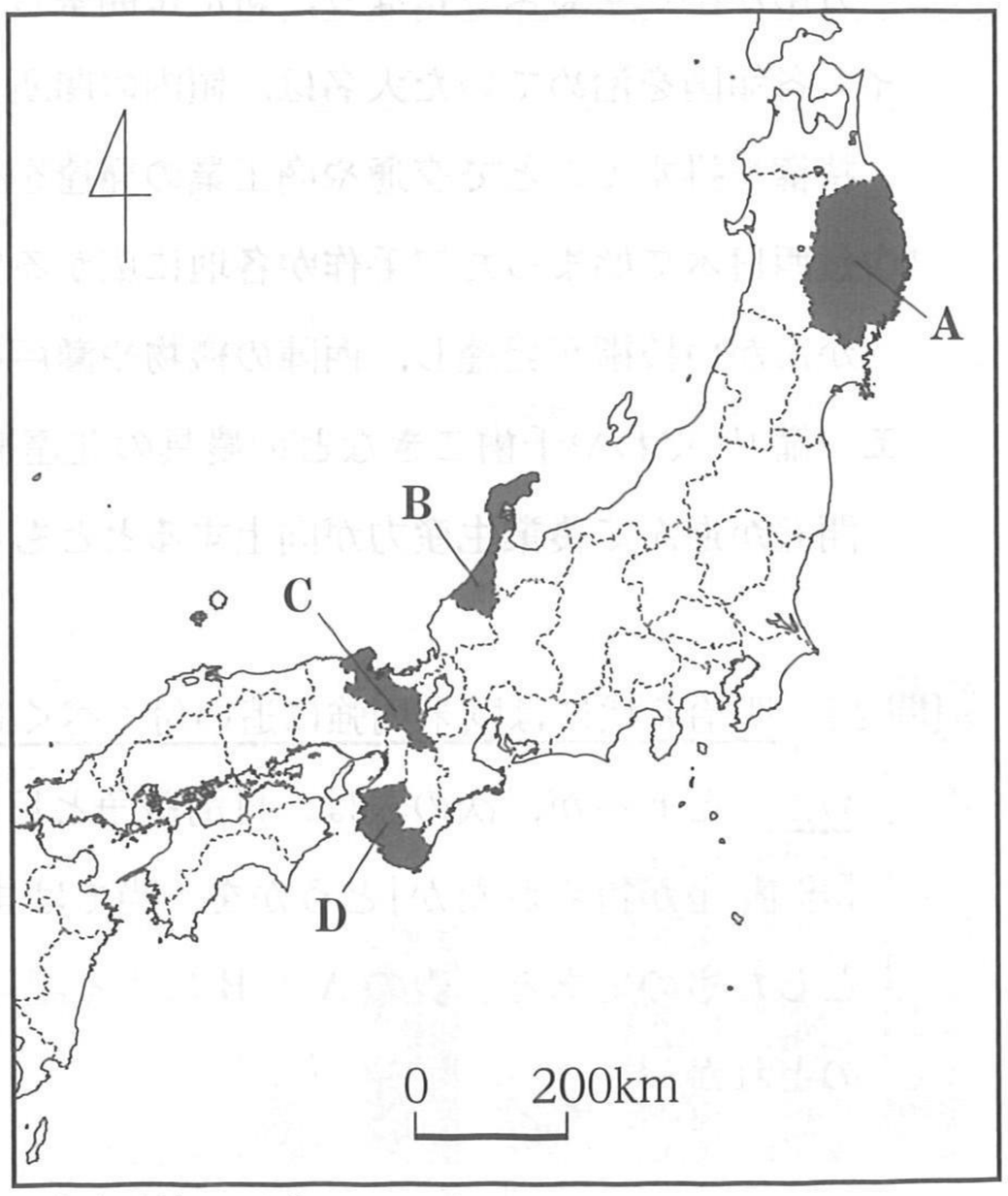
ア　元に服属していた高麗の支配力が低下すると，倭寇討伐に功をあげた李成桂が高麗を倒して朝鮮国(朝鮮)を建国し，ハングルという文字をつくるなど独自の文化が発達した。

イ　アテネやスパルタなどのポリスと呼ばれる都市国家が地中海沿岸に建設され，アテネでは，市民全員が参加して国の方針を決定する民会を中心に民主政が行われた。

ウ　聖地エルサレムがイスラム教徒に奪われ，巡礼がさまたげられたことに危機感を強めたカトリック教会は，ローマ教皇の呼びかけの下で十字軍を数度にわたり派遣した。

エ　アラビア半島に生まれたムハンマドがメッカの地でイスラム教を開くと，地域一帯の他教徒らを退け，アラビア半島のほぼ全域をイスラム信仰の下で統一した。

〔問４〕(4)仏教は日本に伝えられて以降，いつの時代も政治と深い関係を持ち，ある時は国家統治を補完するものであり，ある時は国家の迫害を受け，ある時は国家の保護を受けてきた。とあるが，次の**ア**～**エ**は，我が国における仏教に関する出来事について述べたものである。右の略地図中の**A**～**D**は，**ア**～**エ**の**いずれか**の出来事が起こった場所が位置している現在の府県を示したものである。**A**～**D**のそれぞれの府県で起こった出来事に当てはまるのは，**ア**～**エ**のうちではどれか。



※都府県境は，現在のものである。

ア　禅宗寺院の建築様式を武家の住居に取り入れた書院造が生まれ，室町幕府８代将軍の足利義政は，東山に銀閣を建てた。

イ　中国で密教を学んで帰国した空海は，高野山に金剛峯寺を建てて，山奥の寺で学問や修行を行うことを重んじた。

ウ　末法思想が広がり社会不安が高まる中，阿弥陀仏にたより死後に極楽浄土に往生することを願う信仰に基づき，奥州藤原氏が中尊寺金色堂を建てた。

エ　講と呼ばれる信仰の拠点で団結力を強めた一向宗の信者や地元の農民らによる大規模な一向一揆が起こり，その後およそ100年にわたり自治を行った。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

我が国は，他の地域の人々との関わりを持ちながら歴史を築いてきた。

古代から近世にかけては，大陸から日本に渡ってくる人々が多く見られ，我が国の歴史や文化に(1)大きな影響を与えた。

近世の江戸時代には，200 年ほど鎖国(さこく)の体制がとられたが，それでも限られた国との交流は行(2)われていた。

江戸時代の終わりに開国し，明治時代に入ると，我が国の政府は，周辺諸国との間で国境の確定(3)を行っていった。第二次世界大戦後には，GHQ の統治下に置かれた時期もあったが，国際連合への加盟を認められてからは国際社会へと復帰し，1964 年には，アジアで初めての夏季(4)オリンピック・パラリンピック大会が東京で開催された。

〔問１〕 古代から近世にかけては，大陸から日本に渡ってくる人々が多く見られ，我が国の歴史や文化に(1)大きな影響を与えた。とあるが，次の**ア**～**エ**は，古代から近世にかけて，我が国に渡ってきた人物について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア 無学祖元(むがくそげん)は，８代執権(しっけん)北条時宗(ほうじょうときむね)の招きにより我が国に渡ってきた僧で，北条氏一門や御家人(ごけにん)たちに仏教のうちの臨済宗(りんざいしゅう)の教えを説き，円覚寺(えんがくじ)の開祖となった。

イ フロイスは，我が国に渡ってきたイエズス会の宣教師(せんきょうし)で，織田信長(おだのぶなが)の保護を受け，畿内や九州で布教にあたり，その活動を記録した「日本史」を著した。

ウ 菩提僊那(ぼだいせんな)は，南インド出身で唐(とう)で活動していたが，遣唐使(けんとうし)の要請により我が国に渡ってきた僧で，東大寺(とうだいじ)の盧舎那仏(るしゃなぶつ)が完成した際に導師として眼を描き入れた。

エ 洪致中(ホンチジュン)は，朝鮮国(李氏朝鮮(りし))の文官で，第９回の朝鮮通信使の正使として我が国に渡ってきて，鞆(とも)の浦(うら)(広島県)の対潮楼(たいちょうろう)などで対馬藩の雨森芳洲(つしまのあめのもりほうしゅう)らと交流を深めた。

〔問２〕 近世の江戸時代には，200 年ほど鎖国(さこく)の体制がとられたが，それでも限られた国との交流は(2)行われていた。とあるが，次のⅠの略年表は，江戸時代に我が国に渡ってきた人物についてまとめたものである。Ⅱの文章は，ある時期に起こった出来事について述べたものである。Ⅱの出来事が起こった時期に当てはまるのは，Ⅰの略年表中の**ア**～**エ**の時期のうちではどれか。

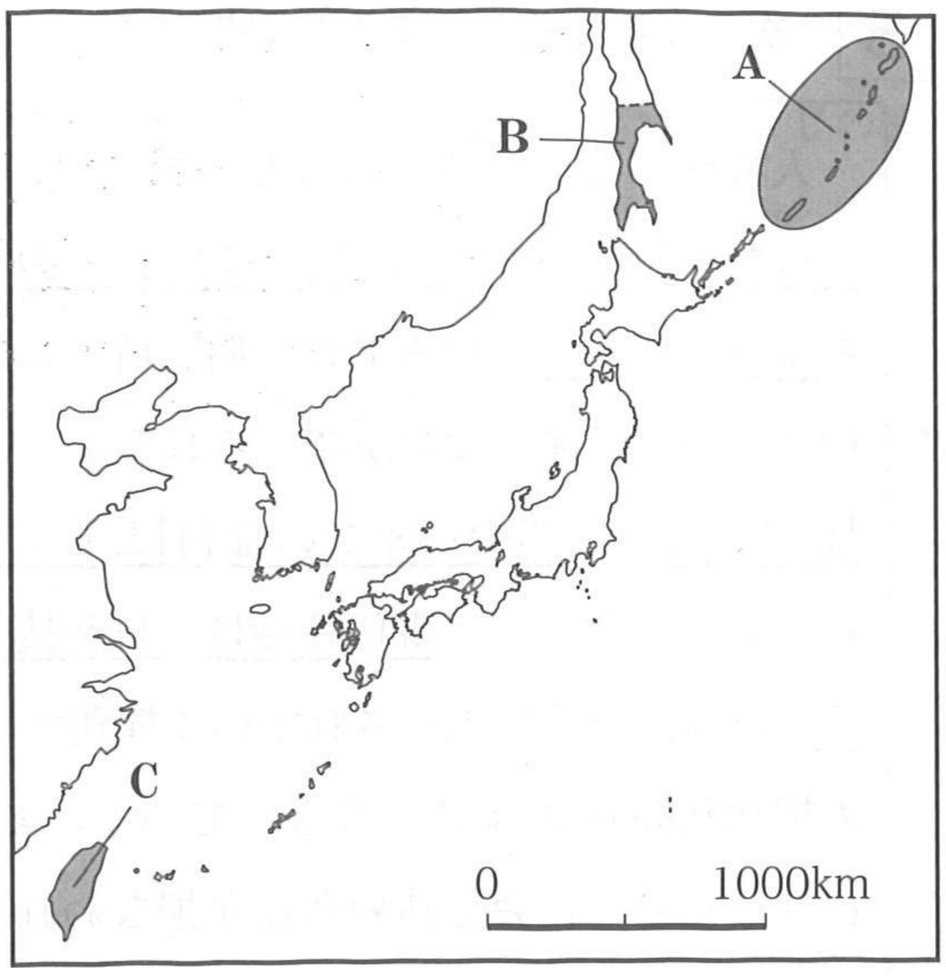
Ⅰ

西暦	我が国に渡ってきた人物	
17 世紀末	●ケンペルがオランダ商館での出来事などを「日本誌」にまとめた。	ア
1775	●ツンベルクがオランダ商館に来て植物の研究を行った。	イ
1792	●ラクスマンが根室に来航して我が国との通商を求めた。	ウ
1824	●シーボルトが出島の外に鳴滝塾を開設して蘭学教育を始めた。	エ
1853	●ペリーが浦賀に来航して我が国との通商を求めた。	

Ⅱ

幕府は，異国船打払令(いこくせんうちはらいれい)を出して我が国に近づく外国船の撃退を命じた。その結果，通商を求めて接近したアメリカ船を砲撃する事件が起こり，渡辺崋山(わたなべかざん)と高野長英(たかのちょうえい)は，この事件を批判する書物を書いたため，幕府から厳しく処罰された。

〔問３〕 明治時代に入ると，我が国の政府は，周辺諸国との間で国境の確定を行っていった。(3) とあるが，次のア～ウは，明治時代に日本の領土となった場所について述べたものである。略地図中のA～Cは，ア～ウのいずれかの領土を示したものである。ア～ウについて，日本の領土となった時期の古いものから順に記号を並べよ。また，略地図中のBに当てはまるのは，次のア～ウのうちではどれか。



ア　下関（しものせき）条約によって日本の領土となった。

イ　ポーツマス条約によって日本の領土となった。

ウ　樺太（からふと）・千島（ちしま）交換条約によって日本の領土となった。

〔問４〕 国際連合への加盟を認められてからは国際社会へと復帰し，1964年には，アジアで初めての夏季オリンピック・パラリンピック大会が東京で開催された。(4) とあるが，次の略年表は，1964年以降に開催された夏季オリンピック・パラリンピック大会についてまとめたものである。略年表中のW～Zのそれぞれの時期に当てはまるのは，下のア～エのうちではどれか。

西暦	1964年以降の夏季オリンピック・パラリンピック大会	
1964	●我が国の東京で開催された。	W
1968	●メキシコのメキシコシティで開催された。	
1972	●西ドイツのミュンヘンで開催された。	
1976	●カナダのモントリオールで開催された。	
1980	●ソビエト連邦のモスクワで開催された。	X
1984	●アメリカ合衆国のロサンゼルスで開催された。	
1988	●韓国のソウルで開催された。	
1992	●スペインのバルセロナで開催された。	Y
1996	●アメリカ合衆国のアトランタで開催された。	
2000	●オーストラリアのシドニーで開催された。	
2004	●ギリシャのアテネで開催された。	Z
2008	●中国の北京で開催された。	
2012	●イギリスのロンドンで開催された。	
2016	●ブラジルのリオデジャネイロで開催された。	
2021	●新型コロナの影響を受け，１年延期されて我が国の東京で開催された。	

ア　冷戦の象徴であったベルリンの壁が市民によって取りこわされ，アメリカ合衆国とソビエト連邦の首脳がマルタ島で冷戦の終結を宣言した。

イ　ベトナム戦争に対して若者を中心に反戦運動が高まる中，アメリカ軍がベトナムから撤退してベトナム戦争が終結した。

ウ　イスラム過激派にハイジャックされた民間航空機が，ニューヨークの高層ビルなどに突入する同時多発テロ事件が発生した。

エ　国連サミットで，持続可能な開発目標（SDGs）が採択され，貧困の撲滅，男女平等，平和と公正などの17のグローバル目標が掲げられた。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

貨幣の発行と流通の促進は，中央集権国家にとって経済を仕切るという点で大変に重要な意味を持つ。(1)我が国も，古代の律令国家において，中国にならって貨幣を発行したが，あまり流通せず，中世になって産業活動が活発化し，中国との貿易で大量の貨幣が輸入されるようになってから，貨幣が国内で流通するようになった。一方で，(2)領地を質に入れて借金をし，返済できずに土地を手放すなど，貨幣経済に巻き込まれて困窮する武士も現れてきた。近世では，(3)天下統一が進むのにあわせて貨幣の発行も権力者が統一的に行うようになり，江戸時代には，産業の発達とともに貨幣経済が一層進展して，両替商や札差などの金融業を専門に行う商人も現れた。

明治時代になり，近代国家を目指して様々な改革が進められる中，貨幣に関しても，政府が主導して，円・銭・厘を単位とする統一的な貨幣制度を定めたり，日本銀行を設立したりするなどして近代的な金融体制が構築されていった。また，(4)幕末の開国以降，外国との貿易が拡大し，世界経済との関わりが深まっていくと，世界情勢の変化にともなう様々な困難な事態に直面するようになり，その対応を迫られることとなった。

〔問１〕(1)我が国も，古代の律令国家において，中国にならって貨幣を発行したが，あまり流通せず，とあるが，次の**ア**～**エ**は，古代の我が国において起こった出来事について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア　日本最初の女性の天皇である推古天皇の摂政となった聖徳太子(厩戸皇子)は，家柄に関係なく能力のある人を取り立てるために冠位十二階の制度を定めるなどした。

イ　仏教勢力の政治への介入などにより乱れた律令政治を立て直そうとした桓武天皇は，都を平安京に移したり，行われなくなっていた班田収授の実行に力を入れたりした。

ウ　伝染病の流行などによる災いを，仏教の力によって取り除こうとした聖武天皇は，国ごとに国分寺と国分尼寺を建て，都には東大寺を建てて金銅の大仏を安置した。

エ　天智天皇のあとつぎをめぐる壬申の乱に勝利して天皇となった天武天皇は，律令や歴史書をまとめることを命じるなどして，天皇の力を高めることに努めた。

〔問２〕(2)領地を質に入れて借金をし，返済できずに土地を手放すなど，貨幣経済に巻き込まれて困窮する武士も現れてきた。とあるが，次のⅠの略年表は，中世に起こった主な戦乱についてまとめたものである。Ⅱの文章は，これらの**いずれか**の戦乱の影響や領地の分割相続などにより困窮した御家人を救済しようとして定められたある法令の一部を分かりやすく書き改めたものである。Ⅱの法令が定められた時期に当てはまるのは，Ⅰの略年表中の**ア**～**エ**の時期のうちではどれか。

Ⅰ

西暦	中世に起こった主な戦乱	
1159	●平治の乱が起こり，源義朝を破った平清盛が朝廷の実力者となった。	ア
1221	●後鳥羽上皇が幕府を倒そうとして挙兵し，承久の乱が起こった。	イ
1281	●元と高麗の連合軍が再び博多湾に襲来し，弘安の役が起こった。	ウ
1336	●後醍醐天皇が吉野に逃れて南朝を開き，南北朝の争いが始まった。	エ
1467	●将軍家のあとつぎ問題などが原因となって応仁の乱が起こった。	

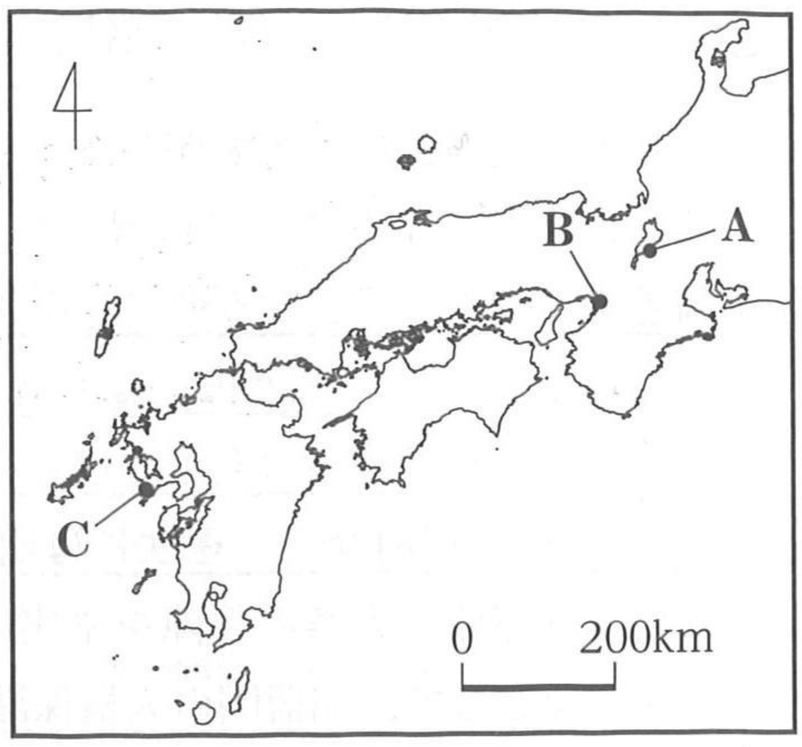
Ⅱ

一　質入れや売買した土地について

所領を質に入れて流したり，売買したりすることは，御家人たちが落ちぶれるもとであるので，今後はいっさいやめよ。

…御家人以外の武士や一般の者が御家人から買った所領は，20年以上たっていても，返すこと。

〔問３〕 天下統一が進むのにあわせて貨幣の発行も権力者が統一的に行うようになり，江戸時代には，産業の発達とともに貨幣経済が一層進展して，両替商や札差などの金融業を専門に行う商人も現れた。(3) とあるが，次の**ア**～**ウ**は，近世の経済活動に関することがらについて述べたものである。略地図中の**A**～**C**は，**ア**～**ウ**の**いずれか**に当てはまる場所を示したものである。**ア**～**ウ**について，出来事が起こった時期の古いものから順に記号を並べよ。また，略地図中の**B**の場所に当てはまるのは，次の**ア**～**ウ**のうちではどれか。



ア　人工島の出島がつくられてオランダの商館が移され，外国との交易が行われた。

イ　商工業の発展のため，城下町が楽市・楽座とされ，自由な商業活動が認められた。

ウ　堂島に米市場がつくられるなど商業が盛んになり，元禄文化の中心地となった。

〔問４〕 幕末の開国以降，外国との貿易が拡大し，世界経済との関わりが深まっていくと，世界情勢の変化にともなう様々な困難な事態に直面するようになり，その対応を迫られることとなった。(4) とあるが，次の略年表は，幕末の開国以降の我が国と世界との関わりに関する主な出来事についてまとめたものである。略年表中の**W**～**Z**のそれぞれの時期に当てはまるのは，下の**ア**～**エ**のうちではどれか。

西暦	幕末の開国以降の我が国と世界との関わりに関する主な出来事	
1854	●日米和親条約が結ばれた。	**W**
1871	●岩倉具視を団長とする遣欧使節団が派遣された。	
1875	●樺太・千島交換条約が結ばれ，樺太がロシア領，千島列島が日本領となった。	
1894	●イギリスとの間で日英通商航海条約が結ばれ，治外法権の撤廃に成功した。	**X**
1902	●日英同盟が結ばれた。	
1911	●アメリカとの間で日米通商航海条約が結ばれ，関税自主権の完全な回復に成功した。	
1914	●日英同盟に基づいて，第一次世界大戦に連合国側で参戦した。	**Y**
1920	●国際連盟に常任理事国として加盟した。	
1933	●国際連盟を脱退した。	**Z**
1940	●日独伊三国同盟が結ばれた。	
1951	●サンフランシスコ平和条約が結ばれた。	
1956	●日ソ共同宣言が発表され，国際連合に加盟した。	

ア　辛亥革命が起こり，民族主義，民権主義，民生主義の「三民主義」を唱えた孫文を臨時大総統とする中華民国が建国され，アジアで最初の共和国が誕生した。

イ　「鉄血宰相」と呼ばれたビスマルク首相のもと，経済力や軍事力を高めたプロイセン王国が，オーストリアやフランスとの戦争に勝利して，ドイツ帝国を築いた。

ウ　アメリカやイギリス，フランスなどの西側諸国が北大西洋条約機構(NATO)を結成し，東側諸国はワルシャワ条約機構という軍事同盟を結成した。

エ　ワシントン会議が開かれ，戦艦などの海軍の軍備の縮小を定めた条約や，中国の主権の尊重や各国の中国での経済活動の自由を定めた条約などが結ばれた。

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

歴史の流れを考える視点の一つに，支配者に対する被支配者の動きというものがある。

中世は武家政権が支配した時代だが，(1)それは，古代社会で支配者であった貴族に対し，地方で武士が力をつけ，ついに権力を奪取したという流れがある。その後，民衆が力をつけて各地で自治が行われるようになったが，近世社会では幕府や藩が武士を頂点とする身分制度に基づいて全国を支配した。しかし，農民や町人は，ききんのときなどに百姓一揆や打ちこわしを起こし，(2)幕府や藩はその対応に追われた。

明治維新により近代的な中央集権国家体制が構築されていったが，その中で，(3)国民が政治に参加する権利を求める自由民権運動が起こった。この運動は政府による弾圧などで衰えていったが，憲法の制定や議会の開設に寄与したことは間違いない。昭和に入り，(4)大陸進出をし続けた結果，太平洋戦争に突入したが，戦争が激しくなると，軍需品の生産が優先され国民生活は制限された。言論の統制も厳しくなり，戦争に反対する声をあげることは難しくなっていった。

〔問１〕 (1)中世は武家政権が支配した時代だが，とあるが，次のⅠの略年表は，中世の武家政権に関する主な出来事についてまとめたものである。Ⅱの文章は，ある時期に出された法令の一部を分かりやすく書き改めたものである。Ⅱの法令が出された時期に当てはまるのは，Ⅰの略年表中の**ア**～**エ**の時期のうちではどれか。

Ⅰ

西暦	中世の武家政権に関する主な出来事	
1167	● 平清盛が武士として初めて太政大臣となる。	ア
1221	● 承久の乱が起こり，幕府軍が朝廷軍を破る。	イ
1338	● 足利尊氏が征夷大将軍となる。	ウ
1392	● 足利義満が南北朝を合一する。	エ
1467	● 将軍の後継ぎ問題などから応仁の乱が起こる。	

Ⅱ

○諸国の守護の職務は，御所の警備と謀反や殺人などの犯罪人の取り締まりに限る。

○武士が20年間，その土地を支配しているならば，その者の所有を認める。

〔問２〕 (2)幕府や藩はその対応に追われた。とあるが，次の**ア**～**エ**は，江戸幕府が行ったことがらについて述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア 商人に株仲間の結成を奨励し，特権を与える代わりに営業税を納めさせた。また，蝦夷地の調査を行ったり，印旛沼の干拓を始めたりした。

イ 凶作やききんに備えて米を蓄えさせたり，江戸に出てきていた農民を故郷の村に帰したりした。また，昌平坂学問所を設置し，朱子学を学ばせた。

ウ 物価の上昇を抑えるために株仲間を解散させた。また，厳しい倹約令や風紀を乱す書物の出版を禁止にするなど，風俗の取り締まりを行った。

エ 裁判の基準となる公事方御定書を定めたり，民衆の意見を取り入れる目安箱を設けたりした。また，大名に対し１万石につき100石の米を幕府に上納させた。

〔問３〕 国民が政治に参加する権利を求める自由民権運動(3)が起こった。とあるが，次の文章は，自由民権運動が行われている時期に，天皇が発表したものの一部を分かりやすく書き改めたものである。この文章の発表によって起こった出来事について述べているのは，下の**ア**～**エ**のうちではどれか。

> 私は祖先以来2500年余りの皇統を受け継ぎ，…政治の統一権力を一手に握り，また早くから立憲政体をたて，後世子孫が継承する事業を達成しようと考えた。…今ここに，明治23年(1890年)を期して，議員を召して国会を開き，それによって私の初志を達成したいと思う。…その組織や権限については私自ら裁断を下して時が来たら公布するであろう。…

ア　征韓論(せいかんろん)に敗れて郷里の鹿児島に帰っていた西郷隆盛(さいごうたかもり)が，不平士族にかつがれて西南戦争を起こしたが，徴兵制度で組織された政府軍に敗れて自害した。

イ　板垣退助(いたがきたいすけ)が，民撰議院(みんせんぎいん)設立の建白書を提出して，少数の有力者による専制政治をやめ，国会を開いて人民の代表を政治に参加させることを主張した。

ウ　不平等条約の改正交渉を行うことや，欧米諸国の政治制度や産業の様子などを視察する目的で，岩倉具視(いわくらともみ)を団長とする使節団が欧米に派遣された。

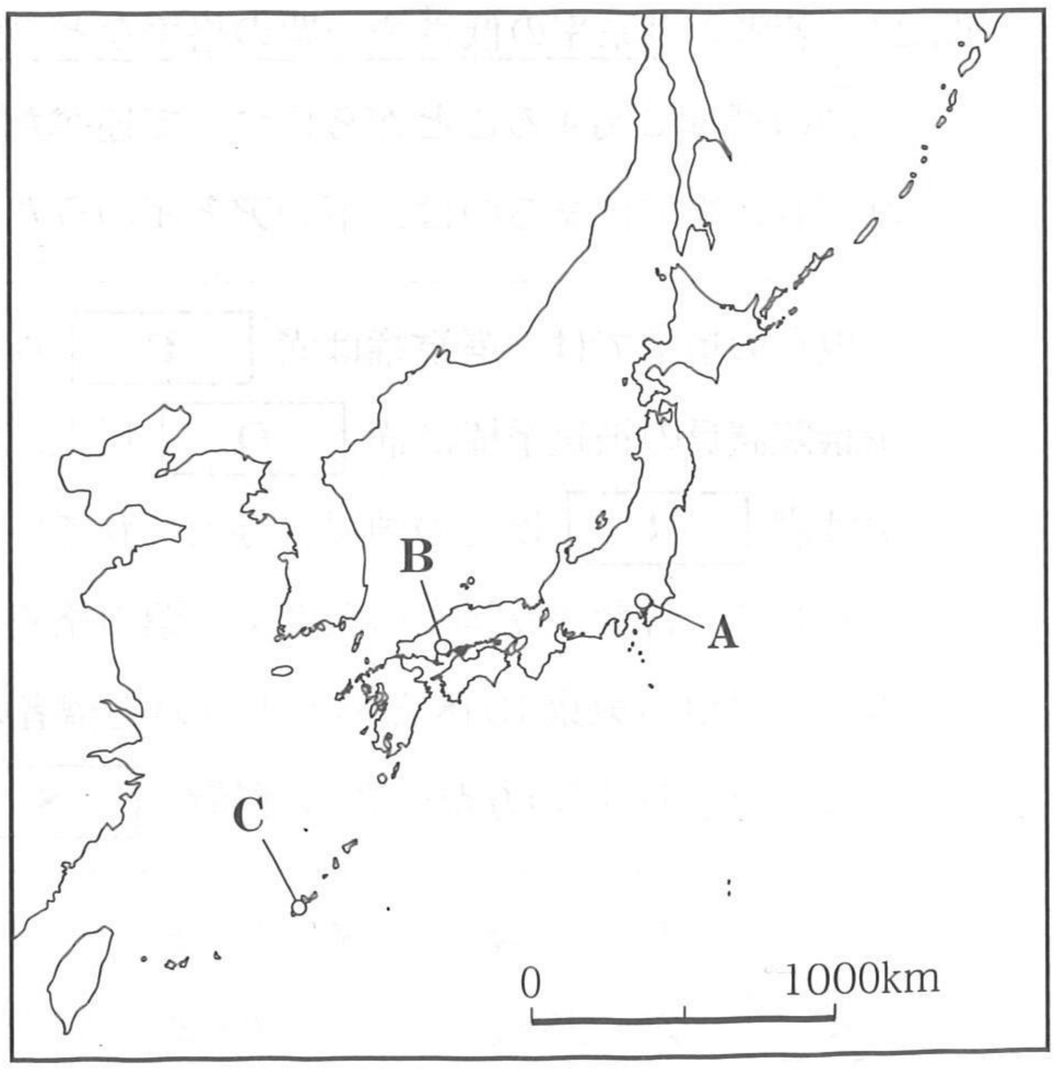
エ　板垣退助が，フランス流の急進的な自由主義に基づく自由党を結成し，大隈重信(おおくましげのぶ)が，イギリス流の穏健的な立憲主義に基づく立憲改進党を結成した。

〔問４〕 大陸進出をし続けた結果，太平洋戦争に突入したが，戦争が激しくなると，軍需品の生産が優先され国民生活は制限された。(4)とあるが，次の**ア**～**ウ**は，太平洋戦争末期に市民を含む多くの犠牲者が出た出来事について述べたものである。略地図中の **A** ～ **C** は，**ア**～**ウ**の**いずれか**の出来事が起こった場所を示したものである。**ア**～**ウ**について，出来事が起こった時期の古いものから順に記号を並べよ。また，略地図中の **B** に当てはまるのは，次の**ア**～**ウ**のうちではどれか。

ア　サイパン島から飛来した大型爆撃機による焼夷弾を使った無差別爆撃を受け，一般市民を中心に一夜で約10万人が犠牲になった。

イ　アメリカ軍が上陸作戦を始めると，中学生や女学生も兵士や看護要員として動員されて激しい戦闘に巻き込まれ，約12万人の死者がでた。

ウ　ポツダム宣言を無視した日本に対し，世界で初めて原子爆弾が投下され，被爆後の死者もあわせると20万人以上が犠牲となった。



4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

鉱産資源は，我が国の社会の発展に大きな影響を与えてきた。(1)古代には新しい都の造営が始まった年に武蔵国秩父郡で銅が産出され，朝廷に献上されたのを受けて和同開珎が鋳造された。東北地方では砂金が豊富に産出され，地域の支配者の権力基盤を固めることに寄与した。戦国時代には，(2)各地の戦国大名が積極的に金・銀・銅の鉱山開発を進め，近世には佐渡金山が幕府の直轄地となり，貨幣鋳造とともに幕府の財政基盤を支えた。

(3)近代になると鉱山は官営化され，海外の技術を導入して生産を拡大し，その一方で外国との戦争に勝利する中で海外の鉱山の支配権をも獲得していった。長い戦争が終わった後，(4)我が国の主要なエネルギー源として戦後復興を支えた石炭はやがて石油にとってかわられることとなった。かつて資源を輸出するほどの資源大国であった我が国は，現在では世界有数の資源輸入国として，資源の確保によって国の趨勢が左右されかねないという立場に至っている。

〔問１〕(1)古代には新しい都の造営が始まった年に武蔵国秩父郡で銅が産出され，とあるが，この新しい都で政治が行われていた時代の外交の様子について述べているのは，次の**ア**～**エ**のうちではどれか。

ア　周辺各国が中国に使節を送り朝貢関係を結ぶ中，日本は対等な立場での外交関係を目指して小野妹子らを使節として中国に派遣し，進んだ制度や文化を取り入れようとした。

イ　中国への正式な使節の派遣が停止された後も，大宰府による一定の統制の下で日本と中国の民間商人による貿易は続けられ，日本からは銀や織物などが輸出された。

ウ　鉄を安定して確保するべく，朝廷は朝鮮半島にたびたび派兵するとともに，中国の南朝に使節を送り，皇帝の権威を借りて朝鮮半島諸国に対し優位に立とうとした。

エ　使節の一員として中国に渡った阿倍仲麻呂は，中国にとどまり玄宗皇帝に仕え，帰国する際に鑑真を伴って出航したが，海上で遭難し中国に戻って一生を終えた。

〔問２〕(2)各地の戦国大名が積極的に金・銀・銅の鉱山開発を進め，近世には佐渡金山が幕府の直轄地となり，貨幣鋳造とともに幕府の財政基盤を支えた。とあるが，次のⅠの略年表は，中世から近世にかけての鉱産資源に関する主な出来事についてまとめたものである。Ⅱの文章は，ある時期に行われた政策について述べたものである。Ⅱの文章で述べている政策が行われた時期に当てはまるのは，Ⅰの略年表中の**ア**～**エ**の時期のうちではどれか。

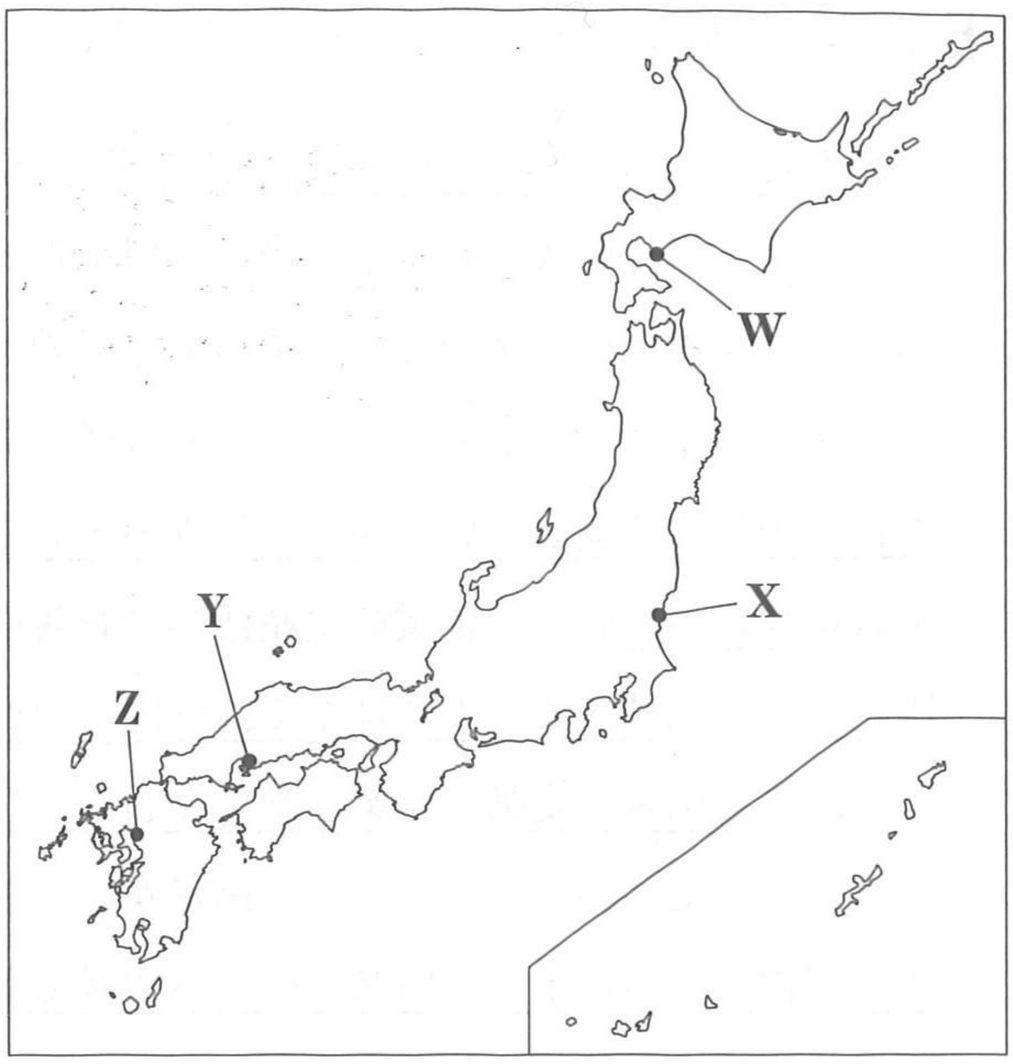
Ⅰ

西暦	鉱産資源に関する主な出来事	
1404	●日明貿易が始まると，日本からは銅や硫黄が輸出された。	ア
1527	●博多商人の神屋寿禎が石見銀山の本格的な採掘を始めた。	イ
1603	●江戸幕府直轄の天領として，佐渡に佐渡奉行所が置かれた。	ウ
1772	●田沼意次が老中に就任すると，銅・鉄などの専売制を進めた。	エ
1859	●外国との貿易が開始されると，金・銀の交換比率の違いから金が流出した。	

Ⅱ

長崎貿易では，日本から海外に大量の金・銀が流出していた。徳川家宣・家継に仕えた新井白石は，国内の金銀の産出が限界に達しているとして海舶互市新例(長崎新令)を出して，長崎に入港する船舶数や貿易額を制限した。それとともに，前将軍の治世時に金の含有量を下げた貨幣を発行して経済を混乱させたのを受け，金の含有率を上げた貨幣を発行した。

〔問３〕(3)近代になると鉱山は官営化され，海外の技術を導入して生産を拡大し，その一方で外国との戦争に勝利する中で海外の鉱山の支配権をも獲得していった。とあるが，右の略地図のW～Zは，戦争に深く関係している産業活動が行われていた場所を示したものである。W～Zのそれぞれの場所に当てはまるのは，次のア～エのうちではどれか。



ア　隣接する県の銅山とともに，戦前の我が国有数の銅の産出量を誇った銅山と，電気機器の工場が立地しており，戦時下には軍需工場として稼働していたため本土空襲の標的となった。

イ　明治時代に官営炭鉱となり後に民間に払い下げられ，近隣の官営製鉄所の原料供給地として発展したが，戦時中には多くの朝鮮人や中国人が強制的に連行され働かされた。

ウ　明治時代に軍港がつくられて海軍工廠（こうしょう）が置かれ，大戦景気時には造船業振興で好況に湧いたが，本土空襲の標的により市内は荒廃し，同じ県内の都市には原子爆弾が投下された。

エ　明治時代初頭に屯田兵（とんでんへい）が入植すると地域の開発が始まり，日露戦争後に国産兵器生産が急務となると，近隣地域で豊富に産出する石炭と鉄鉱石を原料として製鉄所が操業を開始した。

〔問４〕(4)我が国の主要なエネルギー源として戦後復興を支えた石炭はやがて石油にとってかわられることとなった。とあるが，次の文章は，第二次世界大戦後のある時期に出された「経済白書」を発表する際における経済企画庁長官の声明の一部を分かりやすく書き改めたものである。文章で述べている内容をもたらしたと考えられる出来事に当てはまるのは，下のア～エのうちではどれか。

> 戦後10年，日本経済は目ざましい復興を遂げた。終戦直後のあの荒廃した焼土のうえに立って，生産規模や国民生活がわずか10年にしてここまで回復すると予想したものは恐らく一人もあるまい。国民所得は，戦前の五割増の水準に達し，一人当たりにしても戦前の最高記録であった昭和14年の水準を超えた。工業生産も戦前の２倍に達し，軍需を含めた戦時中の水準をはるかに上回っている。

ア　鳩山一郎（はとやまいちろう）内閣がソ連との交渉の末に日ソ共同宣言に調印して，両国の間の戦争状態の終了を宣言し，国交を回復したため日本の国際連合への加盟が実現した。

イ　日本による植民地支配から解放された朝鮮は，米ソにより分割支配されてそれぞれ国家が成立したが，北朝鮮が統一を目指して韓国に侵攻し，外国が支援する大規模な戦争が勃発した。

ウ　アメリカ合衆国がベトナム戦争に本格的に介入すると，当時アメリカ施政下にあった沖縄は，爆撃機の出撃基地となった一方で，特需景気に湧き返った。

エ　池田勇人（いけだはやと）内閣が国民所得倍増計画を発表すると，安保闘争による政治的対立に疲弊していた国民に広く受け入れられ，「政治の季節から経済の季節へ」と言われた。